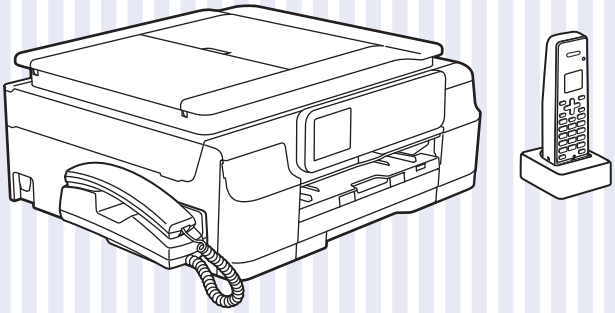
brother

PRIVIO

MFC-J980DN-B/W
MFC-J980DWN-B/W
ユーザーズガイド
－基本編－



CD-ROM収録のユーザーズガイドもご活用ください

付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク編

3ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 **第8章「こんなときは」で調べる** 155ページ

2 サポート ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 デジカメプリント
第8章 こんなときは
第9章 付録（索引）

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた ⇒ 3 ページ
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.7.x 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法を説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
Wi-Fi Direct™ ガイド（PDF 形式） Wi-Fi Direct™ 対応の携帯端末と本製品を無線 LAN アクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。	
モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属の CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク編

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。
スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX*1］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

Windows® 8 をお使いの方は下記をご覧ください。

⇒ 4 ページ「Windows® 8 をお使いの方へ」

*1「XXXX」は、モデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

> トップメニューの画面が表示されないときは、［コンピューター（マイ コンピュータ）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする

3 ［画面で見るマニュアル　PDF ／ HTML 形式］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

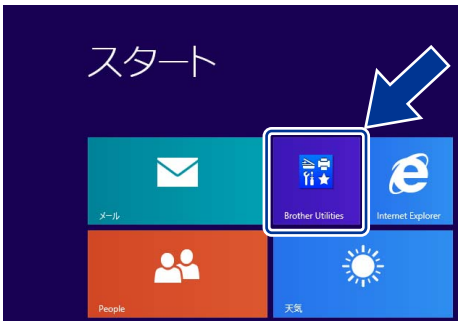
4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

Windows® 8 をお使いの方へ

Windows® 8 搭載タブレットをご使用の場合は、パソコンに本製品のプリンタードライバーをインストールすると、スタート画面およびデスクトップ画面に［Brother Utilities］アイコンが表示されます。［Brother Utilities］は、本製品のユーザーズガイドを見たり、さまざまな機能を実行したりできるソフトウェアです。

(1) 画面上の［Brother Utilities］アイコンをクリックする



◆［Brother Utilities］ダイアログボックスが表示されます。

(2) モデル名を選択する

(3) ナビゲーションバーのメニューから［サポート］をクリックする

◆ナビゲーションバーのメニューからは、他のさまざまな機能がお使いになれます。

(4) ［ユーザーズガイド］をクリックする

(5) 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 ［ユーザーズガイド］をダブルクリックする

3 ［ユーザーズガイド］をクリックする

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

目次

マニュアルの構成 2
CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは 3
目次 5
本書の見かた 9
編集ならびに出版における通告 9
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします 9

使ってみよう ＜基本編＞ 10

電話をかける / 受ける 10
　電話のかけ方 10
　電話の受け方 10
ファクスを送る 11
ファクスを受ける 12
コピーする 13
写真や動画をプリントする 14
プリンターとして使う 16
はがき（年賀状）に印刷する 18
記録ディスクに印刷する（レーベルプリント） 20
スキャンする 21
　スキャンしたデータをパソコンに保存する 21
　付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使ってスキャンする 22
NFC 機能を使って印刷 / スキャンする 24
　NFC（近距離無線通信）で印刷する 24
　NFC（近距離無線通信）でスキャンする 24
パソコンからファクスを送る / 受信する 25
　パソコンからファクスを送る 25
　パソコンでファクスを受信する 26
こんなこともできます 27

第 1 章　ご使用の前に 29

必ずお読みください

各部の名称とはたらき 30
　外観図 30
　子機 32
　操作パネル（本体） 33
　待ち受け画面 34
　メニュー 35
　画面の操作方法 36
　電源ボタンについて 37
　操作パネル（子機） 38
はじめに設定する 41
　回線種別を設定する 41
　日付と時刻を設定する 42
　送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 43
電話とファクスの受信設定 45
　お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき 45
　電話・ファクスの受けかたを変更する 46
　ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信） 49
　呼出ベル回数を設定する 50
　再呼出の設定をする 51
　電話会社の有料サービス利用の有無を設定する ... 52
音量を設定する 53
　親機の音量を設定する 53
　子機の音量を設定する 54
着信音と保留音を設定する 55
　親機の着信音・保留音を選ぶ 55
　子機の着信音を選ぶ 56
スリープモードに入る時間を設定する 57
お気に入りを登録する 58
　お気に入りに機能や設定条件を登録する 58
　登録したお気に入りを呼び出す 60
　お気に入りを編集する 60
記録紙のセット 61
　使用できる記録紙 61
　専用紙・推奨紙 62
　記録紙の印刷範囲 63
　トレイの種類 63
　最大排紙枚数について 64
　記録紙トレイにセットする 64
　スライドトレイにセットする 68
　記録紙の種類を設定する 70
　記録紙のサイズを設定する 70
原稿のセット 71
　ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿 ... 71
　原稿の読み取り範囲 71
　原稿をセットする 72
記録ディスクをセットする 74
　記録ディスクをセットする 74
　記録ディスクを取り出す 75

第 2 章　電話 77

基本

電話をかける / 受ける 78
　電話をかける 78
　電話を受ける 78
　電話帳からかける 79
　通話を保留にする 79
　通話を録音する 80
　録音した通話を再生 / 消去する 80
　いろいろな電話のかけかた 82
通話中の各種操作 83

電話を取り次ぐ 84
親機から子機へ電話を取り次ぐ 84
子機から親機へ電話を取り次ぐ 84
子機から子機へ電話を取り次ぐ 85
用件を伝えずに電話を取り次ぐ 85
内線通話をする 87
親機から子機へかける 87
子機から親機へかける 87
子機から子機へかける 88
3 人で同時に話す 88
かかってきた電話を拒否する 90
通話前に電話を拒否する 90
通話中に電話を拒否する 90
キャッチホンで電話を受ける 91
キャッチホンで電話を受けた場合 91
キャッチホンでファクスを受けた場合 91

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する ... 93
ナンバー・ディスプレイサービスとは 93
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能 93
電話番号表示機能 94
着信履歴を利用する 94
着信鳴り分けを設定する 96
迷惑電話指定する 97
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する 98
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する 99

第 3 章　ファクス 101

基本

ファクスを送る 102
ファクス送信時の画面とボタンについて 102
ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る ... 103
原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき） 104
原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき） 105
電話帳を使ってファクスを送る 106
設定を変えてファクスするには 107
ファクスを受ける 110
自動的に受ける 110
電話に出てから受ける 110
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 111
ファクスの見かた 112
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 112
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する） 115
ファクスの便利な受けかた 116
ファクスをメモリーで受信する 116
メモリー受信したファクスを印刷する 116
ファクスメッセージをメモリーから消去する 117
メモリー受信をやめる 117

通信管理

通信状態を確かめる 118
送信待ちファクスを確認・中止する 118

第 4 章　電話帳 119

電話帳

親機の電話帳に登録する 120
電話帳に登録する 120
親機の電話帳を子機へ転送する 122
電話帳リストを印刷する 122
子機の電話帳に登録する 123
電話帳に登録する 123

第 5 章　留守番機能 125

留守番機能

留守番機能を設定する 126
留守番機能で設定できること 126
メッセージの録音時間を設定する 127
応答メッセージを録音する 127
留守録モニターを設定する 128
出かけるとき 129
留守番機能をセットする 129
留守応答メッセージを選ぶ 129
帰ってきたとき 130
留守番機能を解除する 130
メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する ... 130

第 6 章　コピー 133

基本

コピーに関するご注意 134
コピーする 135
コピーモード時の画面とボタンについて 135
コピーする 135
設定を変えてコピーするには 136

第 7 章　デジカメプリント 139

デジカメプリント

写真をプリントする前に 140
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 141
動画プリントについて 143
写真をプリントする 144
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする 144
設定を変えてプリントするには 146
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 149

PictBridge とは 149
デジタルカメラで行う設定 149
写真をプリントする 150

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する 151
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 151

第 8 章　こんなときは 155

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 156
タッチパネルを清掃する 156
本製品の外側を清掃する 156
スキャナー（読み取り部）を清掃する 157
給紙ローラーを清掃する 158
排紙ローラーを清掃する 159
本体内部を清掃する 160
子機と充電器を清掃する 161
インクがなくなったときは 162
インクカートリッジを交換する 163
インク残量を確認する 165
受話器（親機）を使用しないときは 166
子機のバッテリーを交換するときは 167

困ったときは

紙が詰まったときは 169
記録紙が詰まったときは 169
ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは 175
ディスクが詰まったときは 177
ディスクが前面に詰まったときは 177
ディスクが背面に詰まったときは 177
印刷品質が良くないときは 179
定期メンテナンスについて 179
プリントヘッドをクリーニングする 179
記録紙のうら面が汚れるときは 180
印刷テストを行う 180
画面にメッセージが表示されたときは 183
エラーが発生したときのファクスの転送方法 190
子機のメッセージ 191
故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に） 192
動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 213
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する 214
特別な回線に合わせて設定する 214
回線状況に応じて設定する 214
安心通信モードに設定する 215
ダイヤルトーン検出の設定をする 216
現在の電話回線状態を確認する 216
初期状態に戻す 217
機能設定を元に戻す 217
ネットワーク設定を元に戻す 217
RSS 設定を元に戻す 218
電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する 218
すべての設定を元に戻す 219
子機の個人情報を消去する 220
こんなときは 221
インターネット上のサポートの案内を見るときは 221
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは 222
子機を増設する / 登録抹消する 223
停電になったときは 223
本製品のシリアルナンバーを確認する 224
本製品の設定内容や機能を確認する 224
本製品を輸送するときは 225
本製品を廃棄するときは 225

第 9 章　付録 227

文字の入力方法 228
親機 228
子機 230
機能一覧 232
親機 232
子機 251
仕様 253
使用環境 260
索引 261
リモコンアクセスカード 267
関連製品のご案内 269
innobella 269
消耗品 269
消耗品などのご注文について 271
インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内 271
アフターサービスのご案内

付属の CD-ROM に収録
「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第 1 章　お好みで設定する

画面の設定を変更する
自動電源オフ時間を設定する
（DCP-J552N/J752N/J952N のみ）
ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する
（MFC-J870N/J980DN/J980DWN のみ）
おやすみモードを設定する
（MFC-J980DN/J980DWN のみ）

第 2 章　ファクス
（MFC-J870N/J980DN/J980DWN のみ）

ファクスの便利な送りかた
ファクスの便利な受けかた
通信状態を確かめる

第 3 章　電話帳
（MFC-J870N/J980DN/J980DWN のみ）

電話帳を利用する
子機の電話帳を利用する（MFC-J980DN/J980DWN のみ）
パソコンを使って電話帳に登録する

第 4 章　転送・リモコン機能
（MFC-J870N/J980DN/J980DWN のみ）

外出先から本製品を操作する
外出先に転送する

第 5 章　コピー

いろいろなコピー

第 6 章　デジカメプリント

写真や動画をプリントする

第 7 章　RSS

RSS 機能とは
ネットワークの接続を確認する
RSS の設定をする
RSS を閲覧する
RSS の設定を変更する
RSS の取得状態を確認する

第 8 章　付録

用語解説
索引

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡あるいは重傷に至る可能性があり、かつその切迫の度合いが高い内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重 要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J980DN、MFC-J980DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では製品の説明に、MFC-J980DN のイラストを使用しています。また、操作パネルの説明には、MFC-J980DN-B のイラストを使用しています。
お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

©2013 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 222 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

電話をかける / 受ける

基本的な電話のかけ方および受け方です。電話の操作方法や応用的な使用方法について詳しくは、第2章をご覧ください。

電話のかけ方

1 受話器台から受話器を取り、操作パネルのダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

相手が出たら話します。
保留にするときは、♪保留/子機 を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器を取ります。保留が解除されます。

2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

電話の受け方

1 着信音が鳴ったら、受話器を取る

かけてきた相手と話します。
子機に電話を取り次ぐときは、♪保留/子機 を押し、操作パネルのダイヤルボタンで子機の内線番号を押します。子機の相手が応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて受話器を戻します。子機が応答しない場合は、♪保留/子機 を押して、外線の相手との通話を再開します。

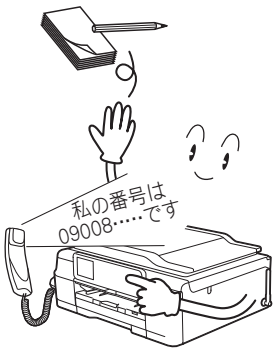
2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

こんなこともできます

●電話帳や履歴から電話をかける

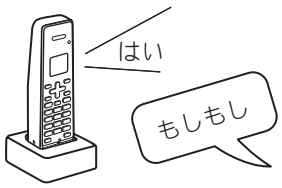
79 ページ
82 ページ

●通話を録音する



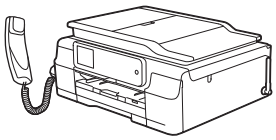
80 ページ

●受話器を持たずに電話をかける



82 ページ

●通話中のいろいろな機能



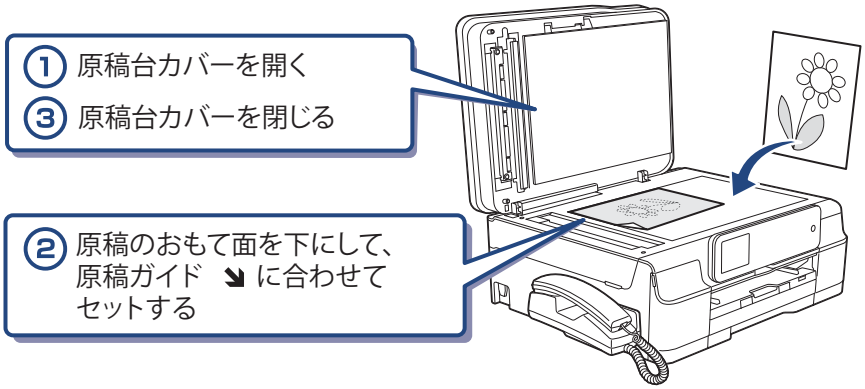
・迷惑電話を拒否する
・スピーカーホンに切り替える
・プッシュホンサービスを利用する
・受話音質を調節する
・内緒話モードにする

90 ページ
83 ページ

ファクスを送る

ファクスをモノクロで送ります。

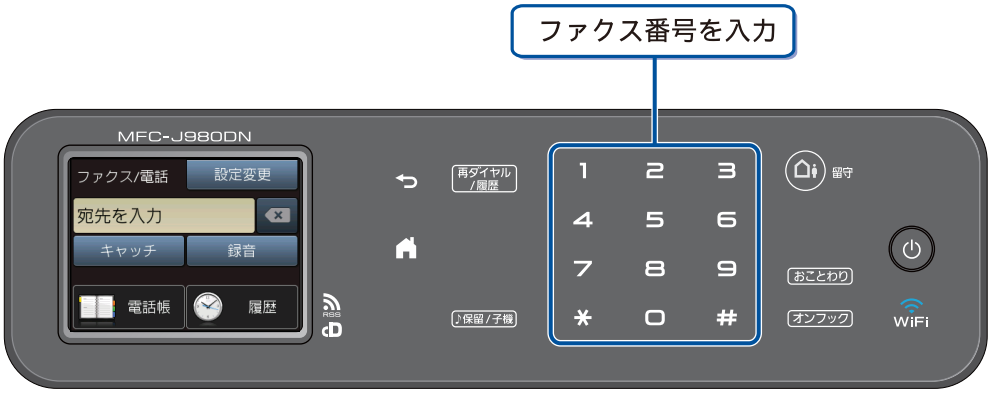
1 原稿をセットする



2 待ち受け画面の ファクス を押す

みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合は、手順 2 の後に【ファクス送信】を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する



4 【スタート】を押す

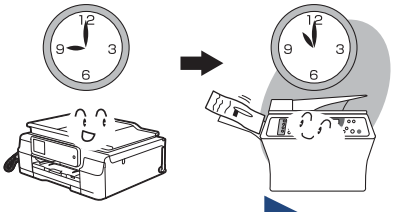
ファクスが送られます。

こんなこともできます

● 電話帳から相手を選んで送る

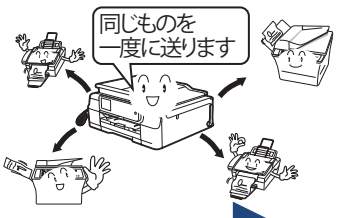
106 ページ

● 時間を指定して送る



応用編（CD-ROM）

●一度の操作で複数の相手に送る



応用編（CD-ROM）

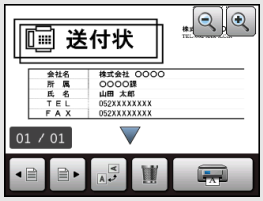
ファクスを受ける

「みるだけ受信」が設定されていれば、画面でファクスを確認できます。
「みるだけ受信」では、受信したファクスはメモリーに保存され、自動的に印刷されません。内容を確認してから印刷したり、印刷せずに消したりできます。
⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

1 画面に【新着ファクス：XX】と表示されたら、【確認】を押す

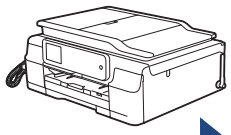
2 確認したいファクスを選ぶ

ファクスの内容が表示されます。



こんなこともできます

●着信音を鳴らさずにファクスを受ける

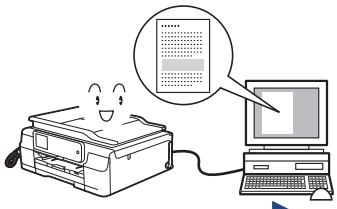


49 ページ

●ファクスを受信後、自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

115 ページ

●パソコンに転送する

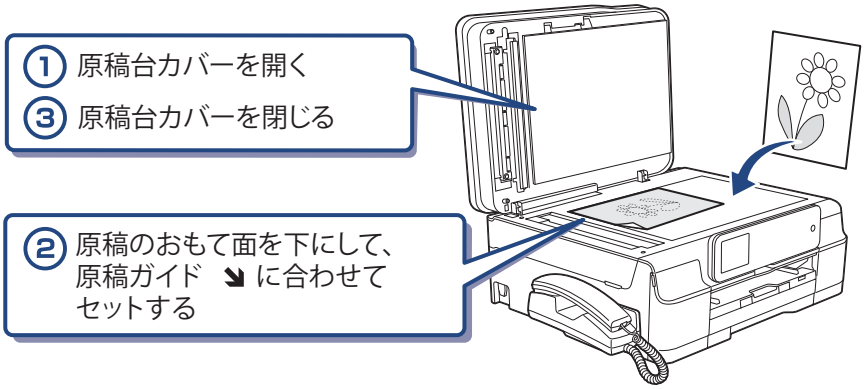


応用編（CD-ROM）

コピーする

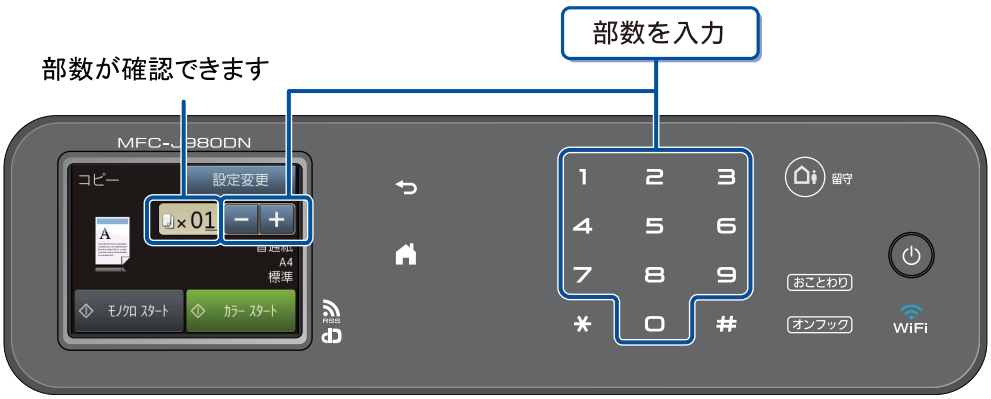
モノクロ / カラーでコピーします。

1 原稿をセットする



2 待ち受け画面の コピー を押す

3 操作パネルのダイヤルボタンまたは【−】/【+】で部数を入力する

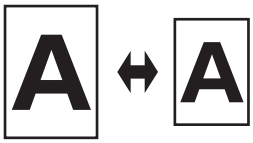


4 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーが開始されます。

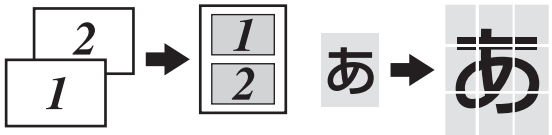
こんなこともできます

●拡大・縮小コピー



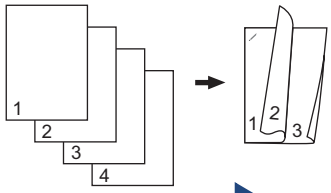
138 ページ

●N in 1 コピー／ポスターコピー



応用編（CD-ROM）

●両面コピー



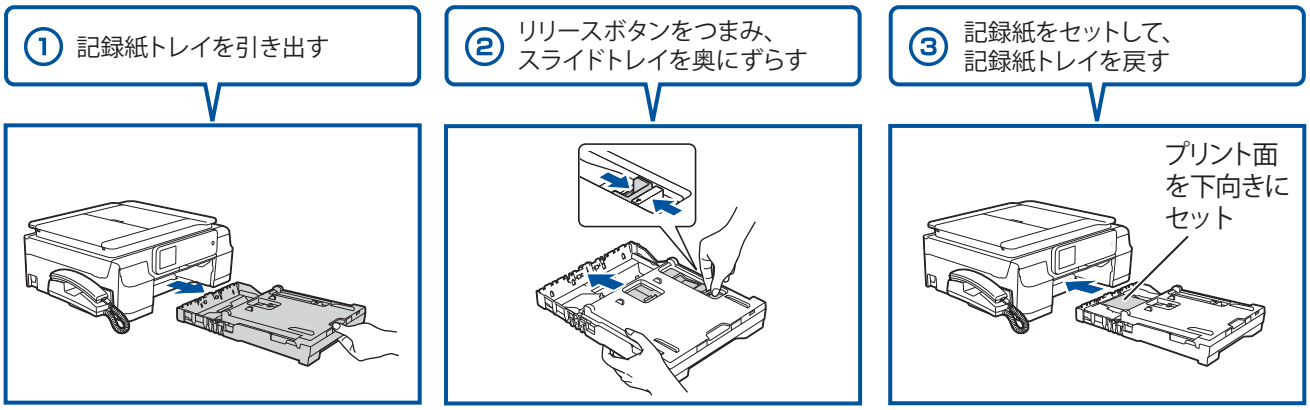
応用編（CD-ROM）

写真や動画をプリントする

メモリーカードやUSB フラッシュメモリーなどメディアに保存された写真や動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

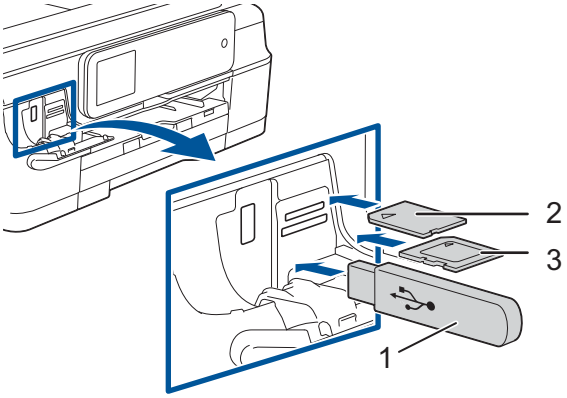
1 記録紙をスライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）にセットする

※L 判の記録紙をセットする場合を説明します。
⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」



2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを入れる



1. USBフラッシュメモリー
2. メモリースティック デュオ™、
   メモリースティック PRO デュオ™
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、
   SDXCメモリーカード、マルチメディアカード、
   マルチメディアカード plus

※ miniSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/
microSDHCカード/
メモリースティック マイクロ™（M2™）/
マルチメディアカード mobileも使用できます。
本製品にセットするときはアダプターが必要です。

4 【デジカメプリント】を押す

5 【かんたん印刷】を押す

6 プリントする画像と枚数を設定する

※複数の写真をプリントするときは、①②③を繰り返します。
※動画は、ファイルを 9 分割して、それぞれ最初のシーンが縦 3 ×横 3 に配置されます。

7 【OK】を押す

8 【スタート】を押す

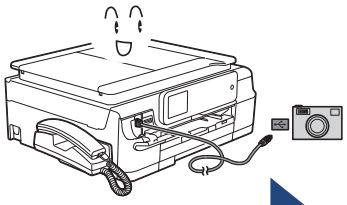
選択した画像がカラーでプリントされます。

こんなこともできます

●スライドショー

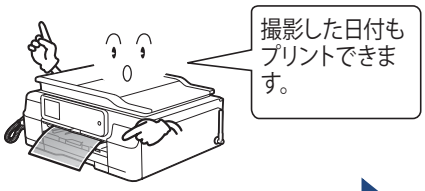
応用編（CD-ROM）

●デジタルカメラから直接プリントする（PictBridge）



149 ページ

● 日付印刷



147 ページ

プリンターとして使う

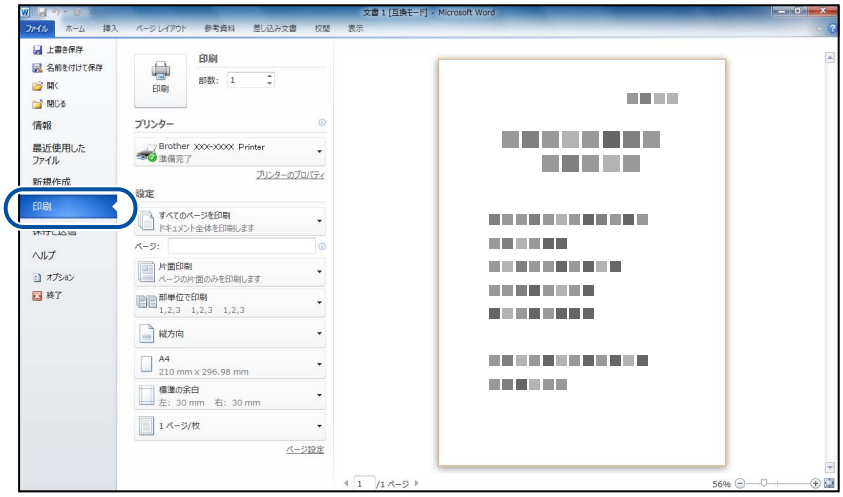
本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

お願い

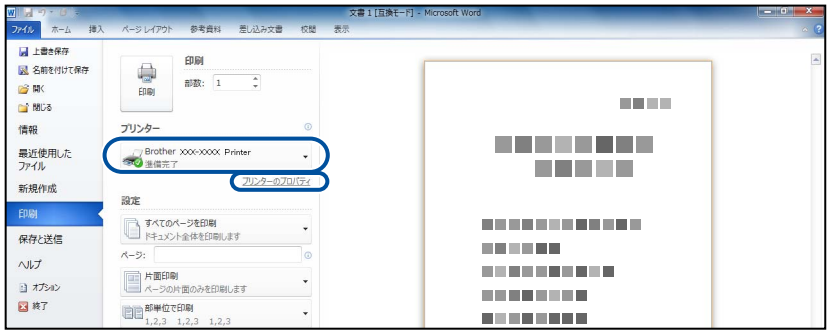
■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



2 ［印刷］ダイアログボックスの［プリンター］で、接続している本製品を選び、［プリンターのプロパティ］をクリックする



3 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、［OK］をクリックする

サイズは［基本設定］、カラーは［拡張機能］タブから設定します。

4 ［印刷］をクリックして印刷を実行する

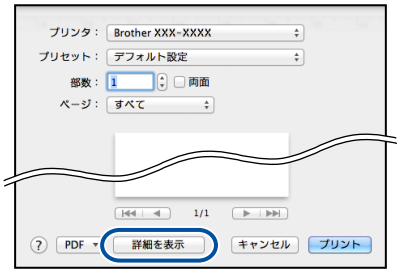
Macintosh の場合

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

2 ［対象プリンタ］で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

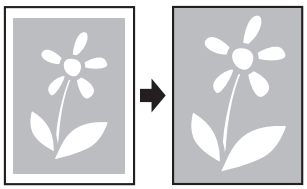
4 ［詳細を表示］をクリックする



5 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、［プリント］をクリックする

こんなこともできます

●ふちなし印刷

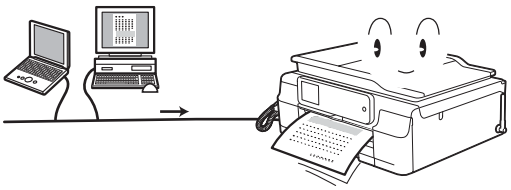


パソコン活用編（CD-ROM）

●おまかせ印刷

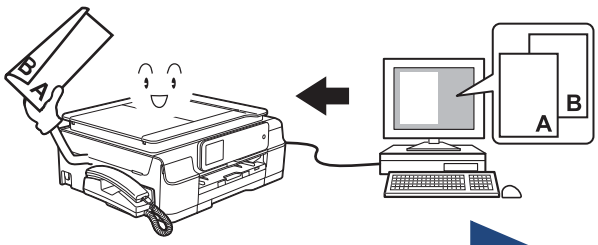
パソコン活用編（CD-ROM）

●ネットワークプリンター



ネットワーク編（CD-ROM）

●自動両面印刷



パソコン活用編（CD-ROM）

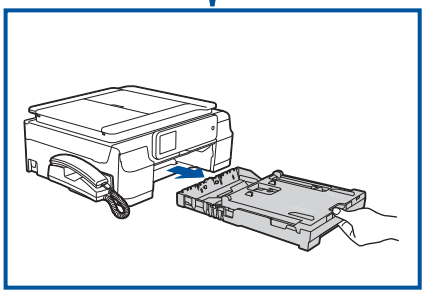
はがき（年賀状）に印刷する

スライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）を使って、はがきや年賀状に印刷します。
操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

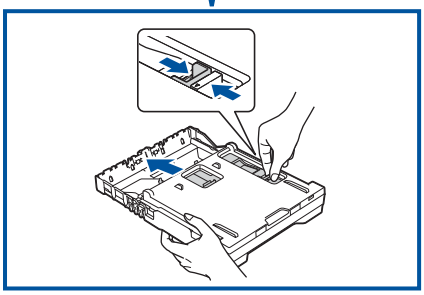
1 はがきをスライドトレイにセットする

⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」

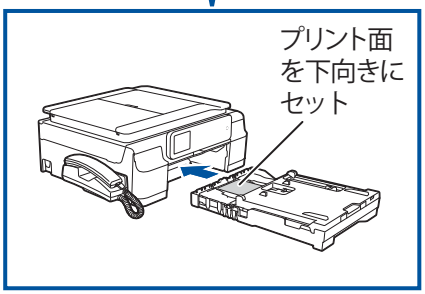
① 記録紙トレイを引き出す



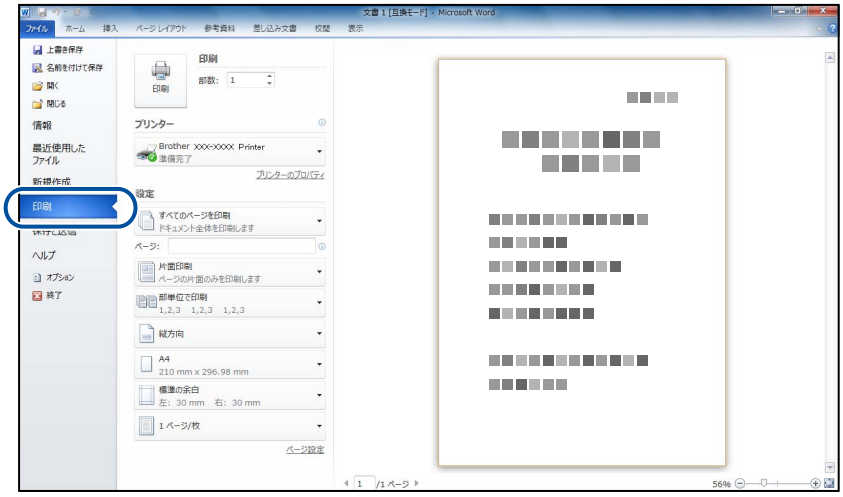
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



③ 記録紙をセットして、記録紙トレイを戻す

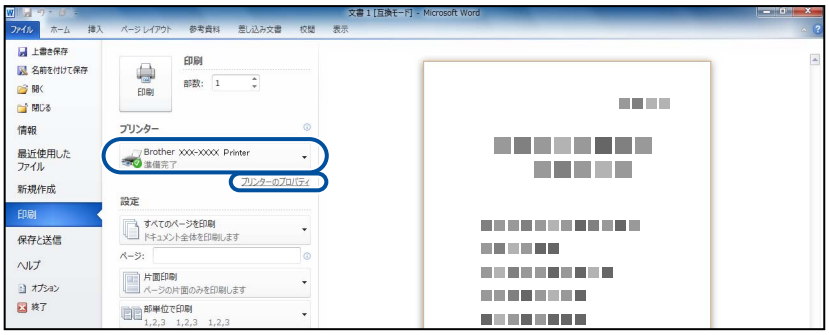


2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



※上図は、アプリケーションに Microsoft® Word を使用した例です。
Microsoft® Word ではがきを作成する場合は、Microsoft® Word のページ設定で、用紙サイズを［ハガキ］に設定してください。

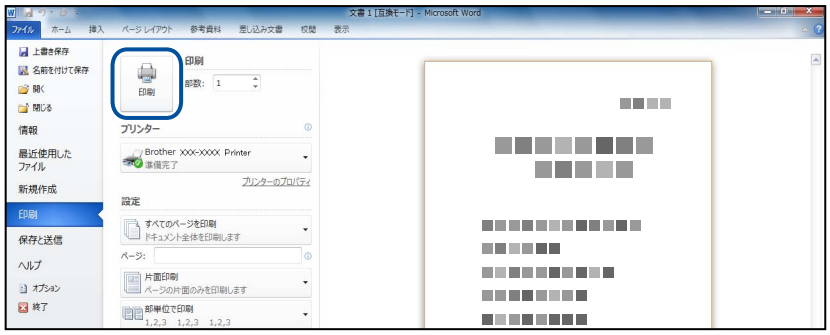
3 ［印刷］ダイアログボックスの［プリンター］で、接続している本製品を選び、［プリンターのプロパティ］をクリックする



4 ［基本設定］項目の中から［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきの通信面に印刷する場合
　［用紙種類］を［インクジェット紙］に設定します。
　［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。

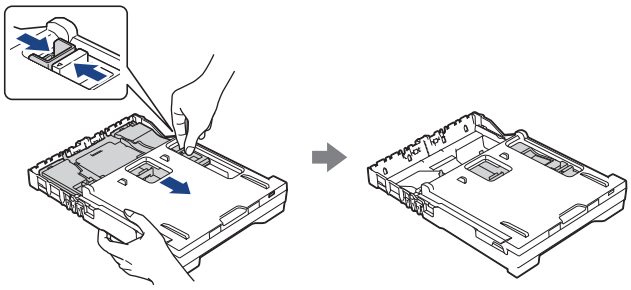
5 ［印刷］をクリックする



印刷が開始されます。

お願い

■ 印刷後、はがき・L 判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、
- リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



- プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

記録ディスクに印刷する（レーベルプリント）

本製品は、記録ディスク（CD-R/RW、DVD-R/RW、Blu-ray Disc™）のレーベル面へ直接印刷やコピーをすることができます。ここでは、NewSoft CD Labeler を使って、パソコン（Windows® の場合）から印刷する方法を簡単に説明します。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ ユーザーズガイド　パソコン活用編「レーベルプリント」

お願い

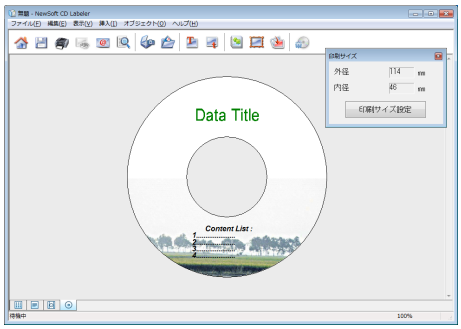
■ NewSoft CD Labeler をご使用いただくには、付属の CD-ROM に収録されている NewSoft CD Labeler をインストールする必要があります。インストール方法は、下記をご覧ください。
⇒ かんたん設置ガイド

1 パソコンのスタートメニューから［すべてのプログラム］－［NewSoft CD Labeler］－［NewSoft CD Labeler］を選ぶ

Windows® 8 の場合は、[NewSoft CD Labeler］アイコンをクリックします。

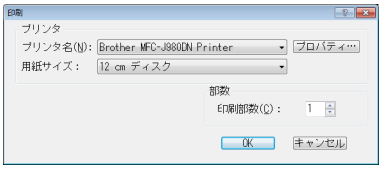
2 [プログラムを開始] をクリックする

3 ディスクレーベルの画像を作成し、［ファイル］－［印刷］をクリックする



4 [プリンタ名] と [用紙サイズ] を設定して、［OK］をクリックする

［プリンタ名］を本製品のモデル名に、［用紙サイズ］を 12cm ディスクに設定します。



5 本製品のタッチパネルに表示されるメッセージに従って、操作を続ける

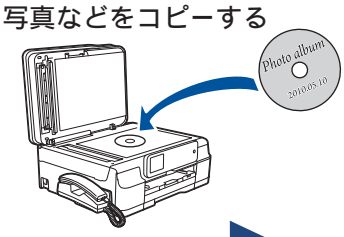
記録ディスクのセット方法については、⇒ 74 ページ「記録ディスクをセットする」をご覧ください。

こんなこともできます

● レーベルPCプリント（Macintoshの場合）

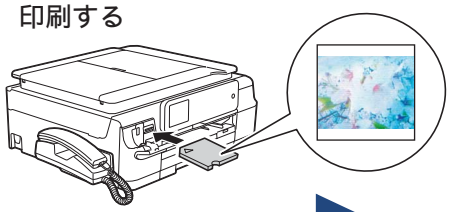
パソコン活用編（CD-ROM）

● ディスクレーベルや写真などをコピーする



パソコン活用編（CD-ROM）

● メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーからデータを選んで印刷する



パソコン活用編（CD-ROM）

スキャンする

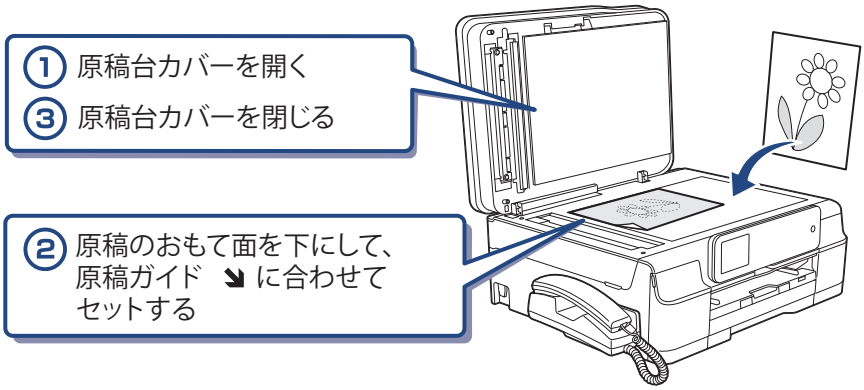
本製品でスキャンしたデータを接続されているパソコンに送ります。

お願い

■ パソコンとの接続や、ドライバーおよびアプリケーションのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

1 原稿をセットする



2 待ち受け画面の スキャン を押す

3 【ファイル】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。

4 スキャンした画像を保存するパソコンを選ぶ

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB でも接続している場合は、【< USB >】とパソコン名が両方表示されています。）

5 【スタート】を押す

スキャンが開始されます。

付属のアプリケーションソフトControlCenterを使ってスキャンする

Windows® の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter4 を使ったスキャンの方法です。ControlCenter4 には、［Home モード］と［Advanced モード］の 2 種類のモードが用意されています。ここでは、［Home モード］を選択した手順で説明しています。

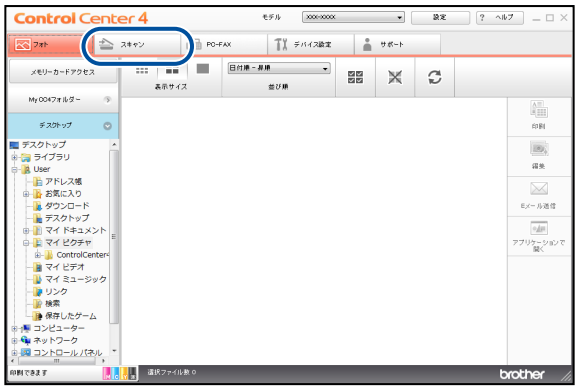
1 パソコンのスタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXXXX*1］－［ControlCenter4］を選ぶ

初回起動時のみ［Home モード］を選択してください。

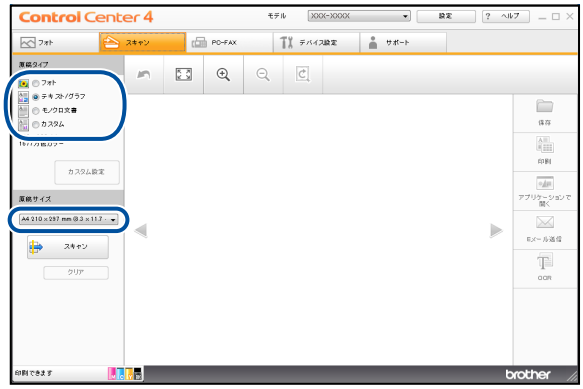
*1「XXXXXX」はモデル名です。

Windows® 8 の場合は、［Brother Utilities］アイコンをクリックして、［Brother Utilities］ダイアログボックスを開き、［スキャンする］－［ControlCenter4］をクリックします。

2 ［スキャン］タブをクリックする



3 ［原稿タイプ］および［原稿サイズ］を選ぶ



4 原稿をセットする

5 ［スキャン］、［保存］の順にクリックする

6 ［ファイル形式］、［ファイル名］および［保存先フォルダー］を設定する

7 ［OK］をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ControlCenter4 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編（CD-ROM）をご覧ください。

Macintosh の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter2 を使ったスキャンの方法です。

1 ［Finder］のメニューから［移動］－［アプリケーション］を選択し、［アプリケーション］フォルダ内の［Brother］から［ControlCenter］アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

2 メニューバーの をクリックして、［開く］を選ぶ

3 原稿をセットする

4 ［ファイル］を選ぶ

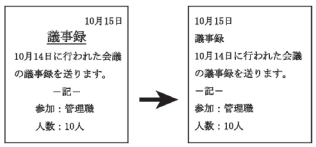
設定ダイアログが表示されます。内容を確認し、必要があれば設定を変更します。

5 ［スキャン開始］をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ファイル形式や保存フォルダー、解像度など、好みや用途に合わせて設定が変えられます。ControlCenter2 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編（CD-ROM）をご覧ください。

こんなこともできます

● テキストデータとしてスキャンする

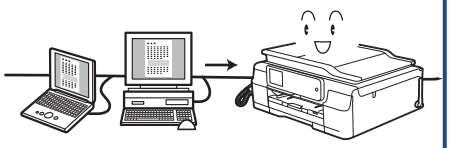


パソコン活用編（CD-ROM）

●複数枚の原稿を一度にスキャンしてメディアに保存する（おまかせ一括スキャン）

153 ページ

● ネットワークスキャナーとして使う

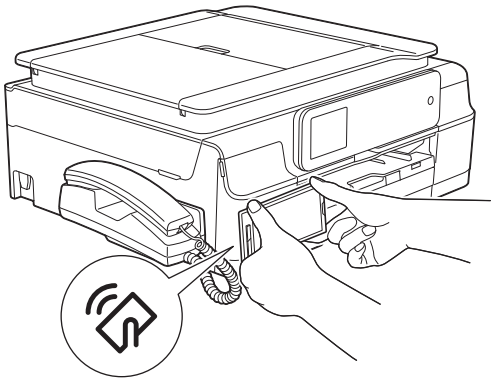


ネットワーク編（CD-ROM）

NFC 機能を使って印刷 / スキャンする

NFC（近距離無線通信）で印刷する

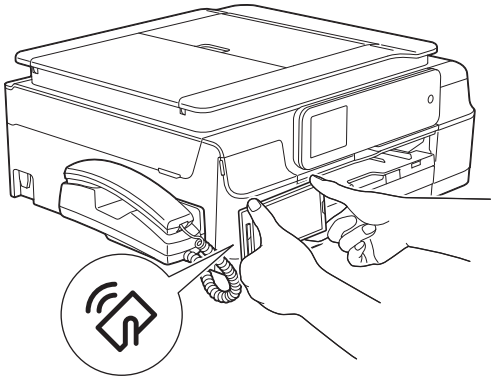
NFC 機能に対応している Android™ 端末を本製品正面の左下にある NFC ロゴマークに当てると、Android™ 端末上のデータ（写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページおよび電子メールメッセージ）を印刷することができます。



本機能を使用するためには、Android™ 端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント＆スキャンガイド」－「第 1 章 Android™ 編」をご覧ください。

NFC（近距離無線通信）でスキャンする

NFC 機能に対応している Android™ 端末を本製品正面の左下にある NFC ロゴマークに当てると、本製品でスキャンした写真や書類を Android™ 端末に送ることができます。



本機能を使用するためには、Android™ 端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント＆スキャンガイド」－「第 1 章 Android™ 編」をご覧ください。

NFC（近距離無線通信）機能を備えていれば、至近距離にある 2 つの装置のあいだで、簡単なデータ処理やデータ交換および無線接続が可能になります。

パソコンからファクスを送る / 受信する

PC-FAX を利用すると、パソコン上で作成したファイルをファクスとして送信したり、受信したファクスメッセージをパソコンで見ることができます。
詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX」をご覧ください。

パソコンからファクスを送る

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 プリンターの選択で［Brother PC-FAX v.X］を選び、［印刷］をクリックする

PC-FAX 送信画面が表示されます。

4 テンキーでファクス番号を入力する

5 **を押して、番号を確定する**

6 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

パソコンでファクスを受信する

PC-FAX 受信を設定する / 受信したファクスを見る

1 パソコンから PC-FAX 受信を起動する

パソコンのスタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 受信］－[PC-FAX 受信を起動］の順に選びます。

Windows® 8 の場合は、［Brother Utilities］アイコンをクリックして、［Brother Utilities］ダイアログボックスを開き、［パソコンでファクスを受信する］－［PC-FAX 受信を起動］をクリックします。

2 PC-FAX 受信ダイアログのメッセージ内容を確認して、［OK］をクリックする

3 本製品の待ち受け画面の 【メニュー】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

8 【OK】を押す

9 ファクスを印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 を押して設定を終了する

本製品が PC-FAX 受信モードとなります。

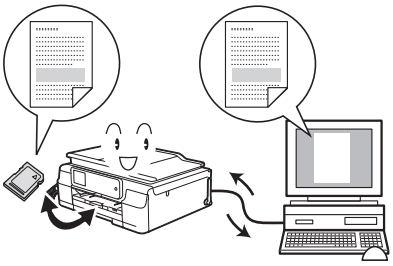
11 パソコンのタスクトレイに表示された、PC-FAX アイコンをダブルクリックする

12 ファイルをダブルクリックしてファクスの内容を見る

こんなこともできます

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する
(リムーバブルディスクドライブ)

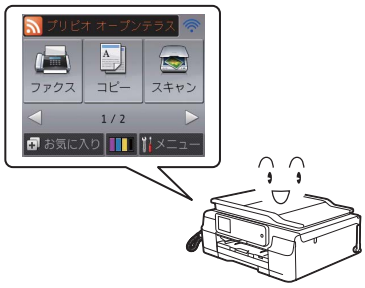
本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、パソコン上で［リムーバブル ディスク］として使用できます。



142 ページ

● RSS を楽しむ

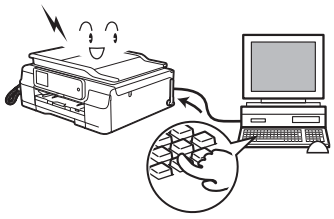
ウェブサイトの更新情報の見出しや要約記事などの RSS を、本製品の画面上で読むことができます。
指定された更新間隔で自動的に新しい情報を取得して表示します。



応用編（CD-ROM）

● 本製品の設定をパソコンから変更する
(リモートセットアップ)

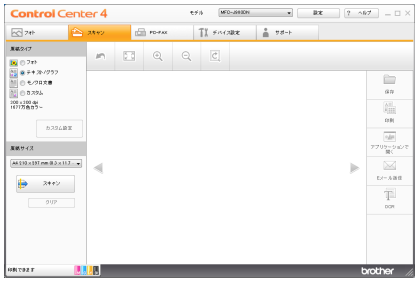
パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。



パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡単に起動する
(ControlCenter)

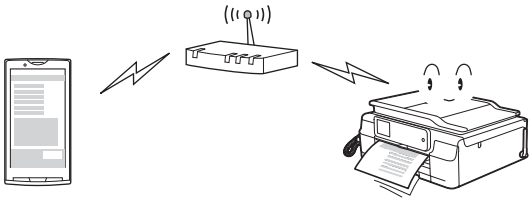
スキャナーやメモリーカードアクセス機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。



パソコン活用編（CD-ROM）

● モバイルプリント機能

Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷したり、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送することができます。



モバイルプリント&スキャンガイド

Memo

第１章

ご使用の前に

必ずお読みください

各部の名称とはたらき 30
外観図 30
外面図 30
内面図 31
子機 32
操作パネル（本体） 33
待ち受け画面 34
メニュー 35
画面の操作方法 36
操作例 36
電源ボタンについて 37
電源をオフにする 37
電源をオンにする 37
操作パネル（子機） 38
画面（子機） 40

はじめに設定する 41
回線種別を設定する 41
日付と時刻を設定する 42
親機の場合 42
子機の場合 43
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 43

電話とファクスの受信設定 45
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき 45
在宅モード：留守番機能がセットされていないとき ... 45
留守モード：留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき 45
電話・ファクスの受けかたを変更する 46
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信） 49
呼出ベル回数を設定する 50
再呼出の設定をする 51
電話会社の有料サービス利用の有無を設定する ... 52
ナンバー・ディスプレイ機能を設定する 52
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する 52

音量を設定する 53
親機の音量を設定する 53
子機の音量を設定する 54
着信音量を設定する 54
ボタン確認音を設定する 54
スピーカー音量を設定する 54
受話音量を設定する 54

着信音と保留音を設定する 55
親機の着信音・保留音を選ぶ 55
子機の着信音を選ぶ 56

スリープモードに入る時間を設定する 57

お気に入りを登録する 58
お気に入りに機能や設定条件を登録する 58
登録したお気に入りを呼び出す 60
お気に入りを編集する 60
お気に入りの登録名を変更する 60
お気に入りの設定条件を変更する 60
登録したお気に入りを削除する 60

記録紙のセット 61
使用できる記録紙 61
専用紙・推奨紙 62
記録紙の印刷範囲 63
トレイの種類 63
記録紙トレイ 63
スライドトレイ 63
給紙トレイマーカーの見かた 63
最大排紙枚数について 64
記録紙トレイにセットする 64
スライドトレイにセットする 68
記録紙の種類を設定する 70
記録紙のサイズを設定する 70

原稿のセット 71
ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿 ... 71
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項 71
原稿の読み取り範囲 71
原稿をセットする 72
原稿台ガラスに原稿をセットする 72
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 72

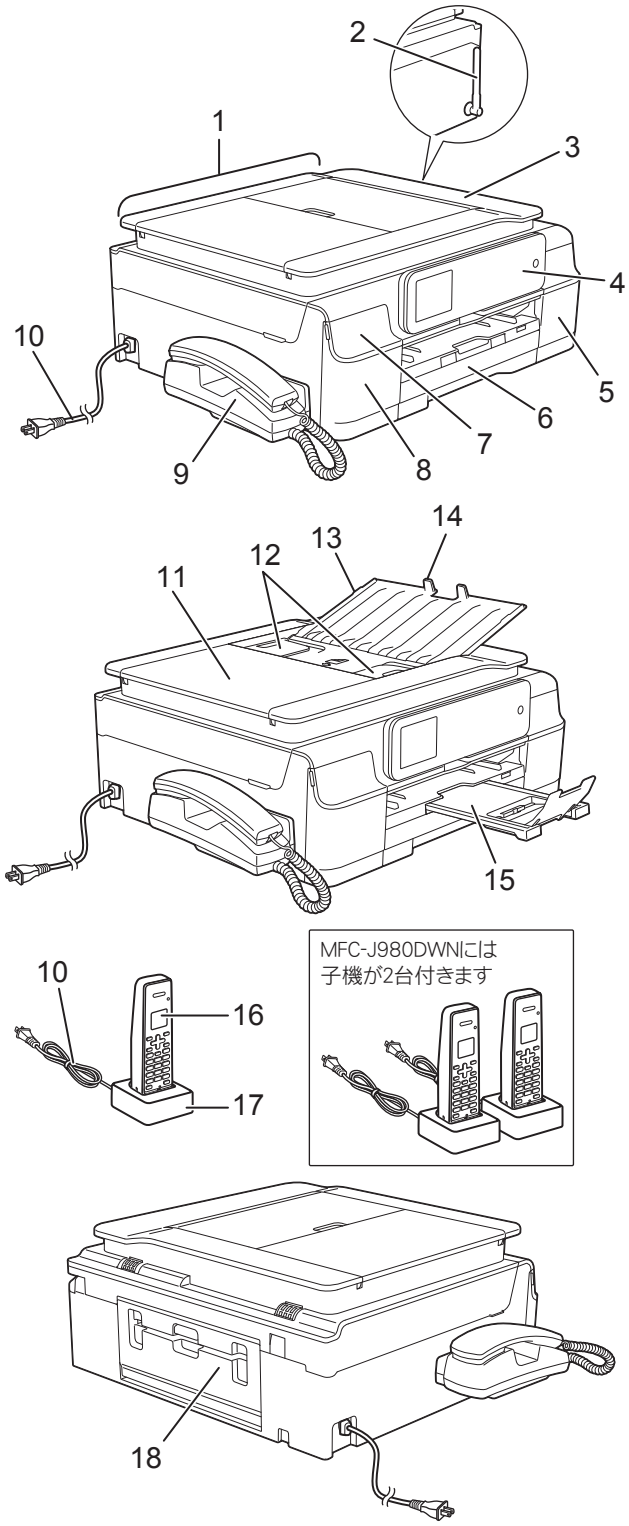
記録ディスクをセットする 74
記録ディスクをセットする 74
記録ディスクを取り出す 75

各部の名称とはたらき

必ずお読みください

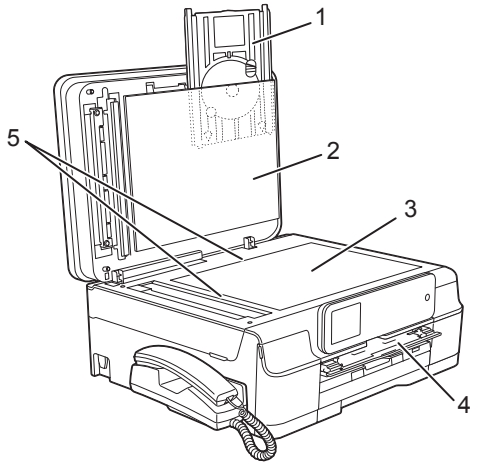
外観図

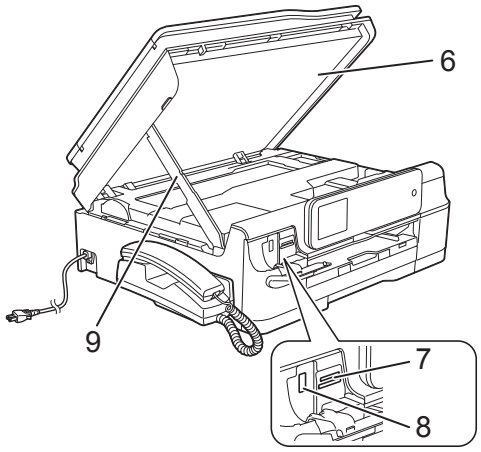
外面図

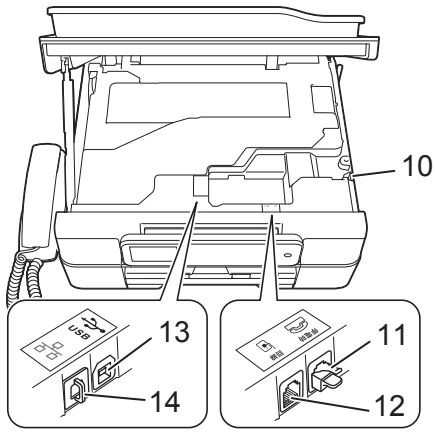


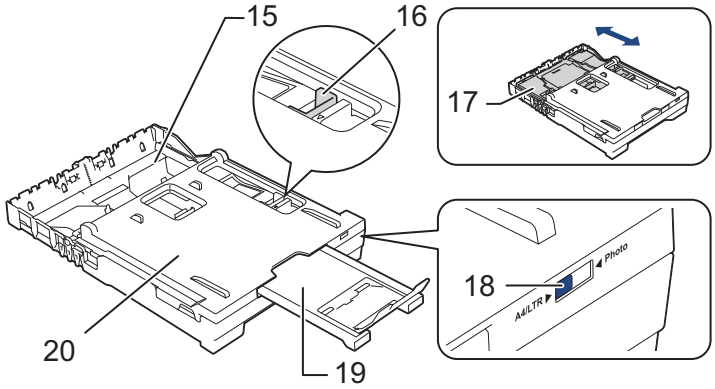
1	ADF（自動原稿送り装置）
2	アンテナ
3	原稿台カバー
4	操作パネル
5	インクカバー（インク挿入口）
6	記録紙トレイ
7	メディアスロットカバー
8	NFC（近距離無線通信）マーク
9	受話器（親機）
10	AC 電源コード
11	ADF カバー
12	ADF ガイド
13	ADF 原稿トレイ
14	ADF 原稿ストッパー
15	記録紙ストッパー
16	子機
17	子機充電器
18	紙づまり解除カバー

内面図



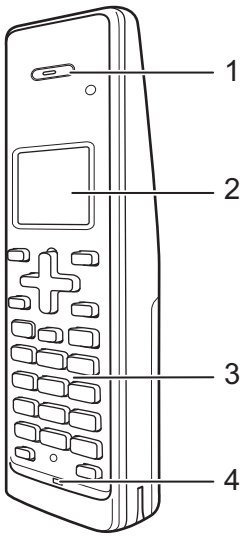


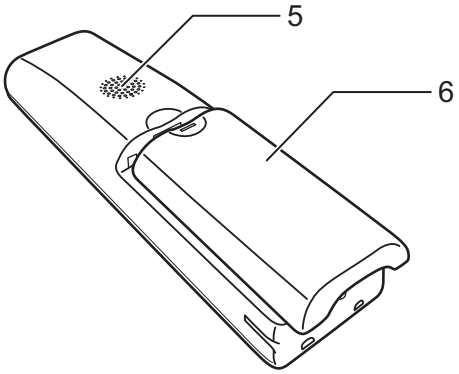




1	ディスクトレイ
2	原稿台カバー
3	原稿台ガラス
4	ディスクガイド レーベルプリントを行うときに引き出して、ディスクトレイをセットします。ディスクトレイを正しい位置に引き込むための装置です。
5	原稿ガイド
6	本体カバー
7	カードスロット
8	PictBridge ケーブル差し込み口 /USB フラッシュメモリー差し込み口
9	本体カバーサポート
10	電話回線出し口
11	停電時（電話）接続端子
12	回線接続端子
13	USB ケーブル差し込み口
14	LAN ケーブル差し込み口
15	記録紙トレイ
16	リリースボタン
17	スライドトレイ L 判光沢紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでトレイを奥に移動させます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。
18	給紙トレイマーカー 記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかを示します。
19	記録紙ストッパー
20	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。

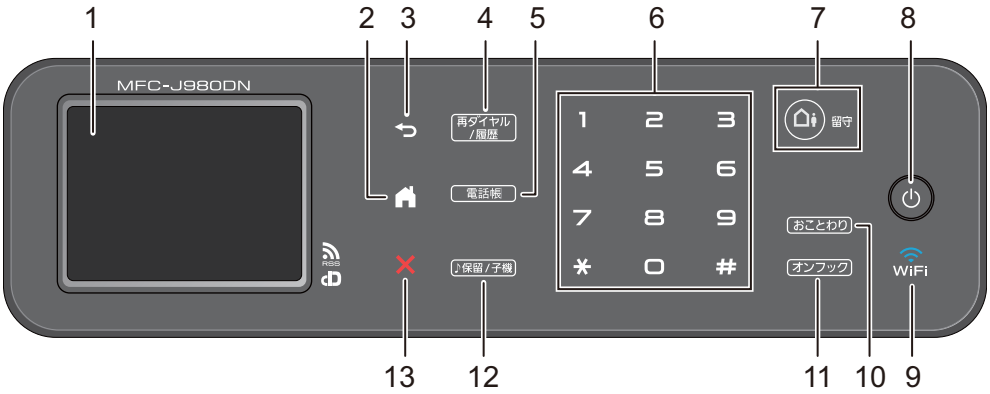
子機





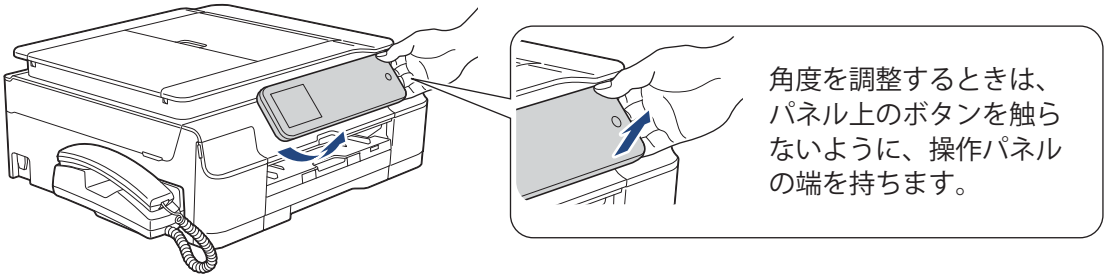
1	受話口
2	画面
3	ダイヤルボタン
4	マイク（送話口）
5	スピーカー
6	バッテリーカバー

操作パネル（本体）



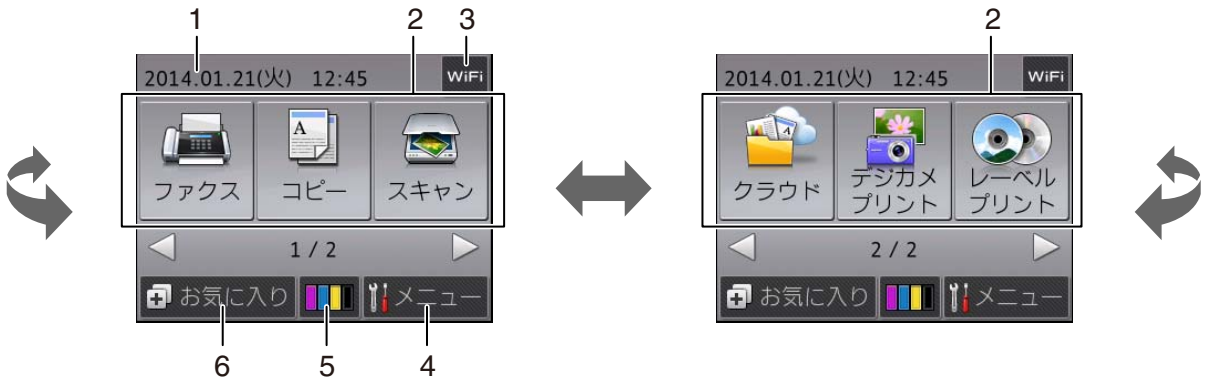
1	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ 36 ページ「画面の操作方法」
2	ホームボタン	設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。
3	戻るボタン	１つ前の画面に戻すときに押します。
4	再ダイヤル / 履歴ボタン	再ダイヤルするとき、発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」 ダイヤル中は、ポーズを入力するときに押します。
5	電話帳ボタン	登録されているあて先や短縮ダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。 ⇒ 79 ページ「電話帳からかける」 ⇒ 120 ページ「電話帳に登録する」
6	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。
7	留守ボタン	留守モードにするときに押します。 ⇒ 129 ページ「留守番機能をセットする」
8	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。
9	Wi-Fi ランプ	本製品上で接続方法を無線 LAN に切り替えると点灯します。
10	おことわりボタン	かかってきた電話を受けたくない場合に拒否メッセージを再生し、回線を切断します。 ⇒ 90 ページ「かかってきた電話を拒否する」
11	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときに使用します。押すだけで、受話器を取る / 置く、と同じ役割を果たします。天気予報や各種自動音声案内など、通話が不要なときに受話器を上げずにダイヤルして、そのまま聞いたり、案内に従ってダイヤル操作をしたりすることが可能です。
12	保留 / 子機ボタン	通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。
13	停止ボタン	処理中の動作を中止するときに押します。

■ 操作パネルは使いやすい角度に調整してください



待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などを確認でき、【メニュー】などよく使用するボタンが並んでいます。



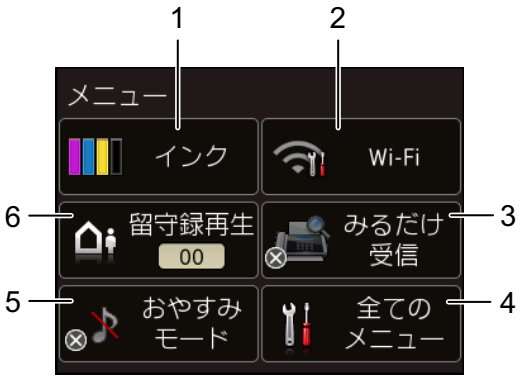
1	日時表示 / メッセージ表示		現在の日時が表示されます。 ファクスの着信があった場合やエラーが発生した場合などは、アイコンとともにメッセージが表示されます。 メッセージが重複した場合は交互に表示します。
		!	エラーが発生したり、保守の必要がある場合は、このアイコンとともにメッセージが表示されます。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。 ⇒ 183 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。✕ を押すと待ち受け画面に戻ります。
		i	本製品に下記の変化があった場合に、このアイコンとともにそれぞれ件数が表示されます。 ・みるだけ受信やメモリ保持など、ファクスをメモリーに保存する設定にしているときに、ファクスを受信した。（【確認】を押すと受信したファクスの確認画面に進めます。） ・留守モード時に、録音された新着メッセージがあった。（【再生】を押すと新着メッセージが確認できます。） ・不在着信があった。（操作パネル上の 再ダイヤル/履歴 を押すと着信履歴が表示されます。）
		RSS	【RSS】を【オン】に設定すると常時表示されます。画面の最上部には、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが流れて表示されます。
2	モードボタン	ファクス / コピー / スキャン / クラウド / デジカメプリント / レーベルプリントの各モードに切り替えます。	
3	Wi-Fi 設定ボタン / 無線 LAN 電波状態	WiFi	Wi-Fi® 設定を行うときに押します。（Wi-Fi 接続されていることを示す表示ではありません。）
			無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階（0 1 2 3）で表示します。
4	メニューボタン		メニューを表示させるときに押します。 ⇒ 35 ページ「メニュー」
5	インク残量表示 / インクメニューボタン		マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクメニューが表示されます。
6	お気に入りボタン		お気に入り画面を表示させるときに押します。 ⇒ 58 ページ「お気に入りを登録する」 ⇒ 60 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

重 要

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。先のとがったもの、ペンなどを使用するとタッチパネルの損傷や汚れの原因になります。

メニュー

待ち受け画面の【メニュー】を押すと表示されるメニューです。



1	インク残量表示 / インクメニューボタン	マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すと下記のインクメニューが表示されます。 テストプリント / ヘッドクリーニング / インク残量
2	Wi-Fi 接続・電波状態表示 /Wi-Fi 設定ボタン	無線 LAN 設定のオン / オフが表示されます。押すと、Wi-Fi 設定の画面に飛びます。無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階（0 1 2 3）で表示します。
3	みるだけ受信オン・オフ表示 / みるだけ受信設定ボタン	現在のファクスの見かたが表示されており、押すとみるだけ受信の設定ができます。 ・オン（チェックマーク）：受信したファクスは印刷されず、画面上で確認します。 ・オフ（×マーク）：受信したファクスは印刷されます。
4	全てのメニューボタン	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下の 8 つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。 基本設定 / お気に入り設定 / ファクス / ネットワーク /RSS/ レポート印刷 / 製品情報 / 初期設定 ⇒ 233 ページ「全てのメニューボタン」
5	おやすみモードオン・オフ表示 / おやすみモード設定ボタン	おやすみモードのオン / オフが表示されます。押すと、おやすみモードの設定ができます。 おやすみモードがオンの場合は、電話やファクスの着信音は鳴らずに留守電になります。
6	音声件数 / 留守録再生ボタン	メモリーに保存されている音声メッセージの件数が表示されます。 押すと、保存されているメッセージの一覧画面および音声再生メニューが表示されます。

画面の操作方法

画面に表示された項目やボタンを指で軽く押して使用します。画面上に▼/▲/◀/▶ が表示されているときは、▼/▲/◀/▶ を押すとその方向に画面が送られます。

◀/▶ を押して画面を送ります。

項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

ボタンを押すと設定が有効になります。

キーボードを押して入力します。

入力値を確定します。

◀/▶ を押して、目的のメニューアイコンを中央に移動させます。

目的のメニューアイコンを押します。

灰色表示は、続きがないことを示します。

重 要

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

お願い

■ 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあとすぐには、操作パネルに触れないでください。エラーを引き起こすおそれがあります。本製品の操作は待ち受け画面が表示されてから行ってください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

メニュー画面が表示されます。

操作パネル上の を押すと、1 つ前の画面に戻すことができます。

2 【全てのメニュー】を押す

3 【基本設定】を押す

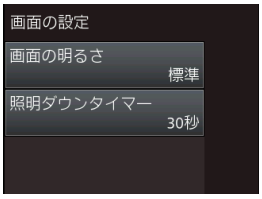
次の階層が表示されます。

4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 目的の明るさを押す

ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン / オフできます。
なお、本製品は、電源をオフにした場合でも、印刷品質を保つため、定期的にヘッドクリーニングを行う必要があります。ヘッドクリーニングを定期的に行なうためには、電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。

- 電源ボタンで電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。
- 本体の電源がオフのときは、電話機コードが接続されていても電話はつながりません。電源がオフの場合に使用できない機能は以下のとおりです。
  - ファクス
  - 電話
  - 親機 / 子機操作
  - パソコンからの印刷
  - デジカメプリント
  - コピー
  - スキャン
  - レーベルプリント
  - レポート印刷
  - RSS
  - クラウド
- ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。
- ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 を 2 秒以上押す

画面に【電源をオフにします　オフ後はファクス / 電話 / 子機が使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

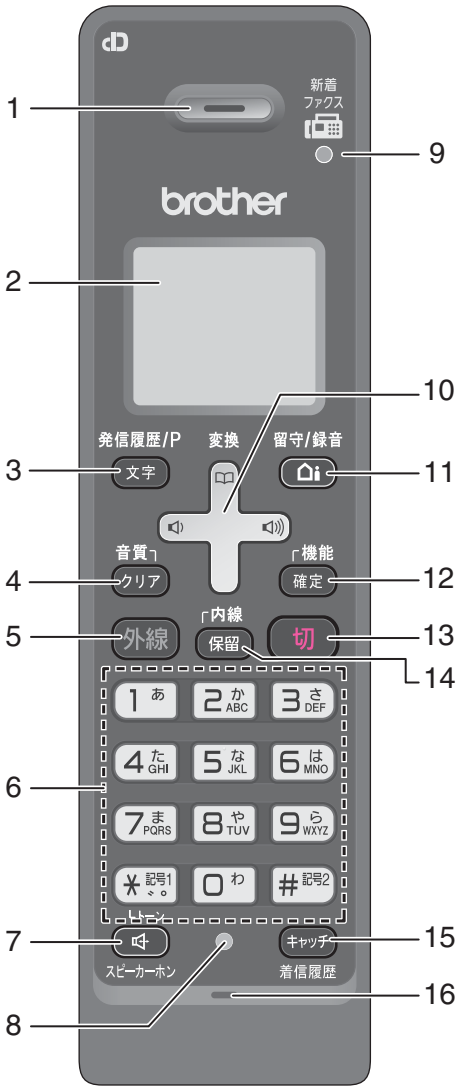
- 親機の電源をオフにすると子機に【電源 Off】と表示されます。

電源をオンにする

1 を押す

【子機が【電源 Off】表示の時は子機の「外線」を押すと使えるようになります】というメッセージが表示され、電源がオンになります。

操作パネル（子機）

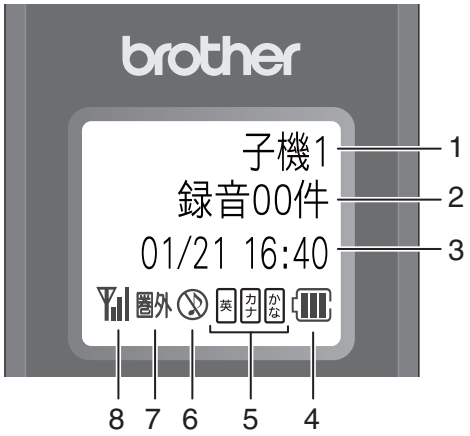


1	受話口		相手の声が聞こえます。
2	画面		子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
3	再ダイヤル / 発信履歴 / 文字切替 / ポーズ入力ボタン	待機中	最近かけた相手（最大 10 件）を検索し、ダイヤルします。
		文字入力中	入力文字の種類（英・カナ・かな）を切り替えます。
		ダイヤル中 / 電話帳登録中	ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入力します。
		通話中	「ツー音」が鳴っているときに押して、最後にかけた相手に発信します。（リダイヤル）

4	クリア / 音質ボタン	文字入力中	文字を消します。
		通話中	相手の声の聞こえかたを調整することができます。長押しすると内緒話モードになり、小さい声での会話が可能になります。
		メニュー操作中	【再生 / 消去】メニューおよび【留守番設定】メニューの操作中に押すと、1 つ前の画面に戻ることができます。
5	外線ボタン		電話をかけるときや受けるときに押します。電話がかかってくると点滅します。
6	ダイヤルボタン		ダイヤルするときや文字や記号を入力するときに押します。
		＊ 記号1 トーン	一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）に切り替えることができます。
7	スピーカーホンボタン		子機を持たずに通話したいときに押します。通話中に押すと通常の通話に切り替わります。
8	充電ランプ		充電中は点灯します。
9	ファクス受信ランプ		ファクスを受信すると点滅して知らせます。
10	マルチセレクトボタン	機能設定中	「上下」を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン	待機中	「上下」を押して電話帳を開きます。
		文字入力中	「上下」を押すと漢字変換ができます。
	音量ボタン		「左右」を押して着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整します。
		文字入力中	カーソルを移動します。
11	留守 / 録音ボタン	待機中（電話がかかってきたときに受話器を取る前を含む）	留守モードのオン / オフを切り替えます。留守モードの解除時、留守中に入ったメッセージが自動的に再生されます。 留守モード中は点灯、留守中に録音されたメッセージがあるときは点滅して知らせます。
		外線通話中	会話の録音を開始します。
12	機能 / 確定ボタン	待機中	子機のメニュー操作（機能設定）を開始するときと、設定内容を確定するときに押します。
		着信中	電話を取る前に押すと、相手と話さずに通話拒否（おことわり）ができます。
		通話中	通話拒否（おことわり）またはファクス受信をするときに押します。
13	切ボタン		電話を切るとき、メニュー操作を中止するときに押します。
14	内線 / 保留ボタン		内線通話、外線保留にするときに押します。
15	キャッチ / 着信履歴ボタン		キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。 （それぞれ、電話会社との別途契約が必要です。）
16	マイク（送話口）		子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

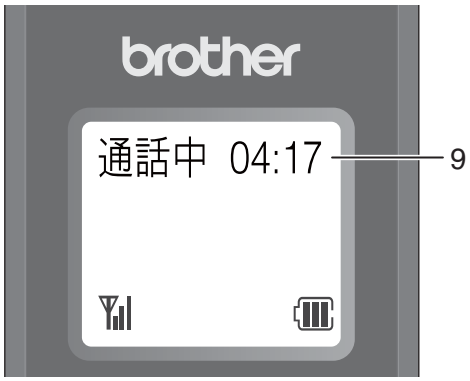
画面（子機）

ー非接続中/各種設定中ー



※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

ー外線接続中ー



1	内線番号（子機名）	
2	メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数を表示します。	
3	日時表示	
4		バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリ残量の目安〉 ：20%以上　：20%未満 ：10%未満　：要充電
5	英 カナ かな	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は 発信履歴/P 文字 を押して切り替えます。 かな：**ひらがな（全角）**と、変換キーを使用することにより**漢字**および**記号**が入力できます。 カナ：**カタカナ（半／全角）**および**記号**が入力できます。 英：**アルファベット（大／小文字）、記号**および**数字**が入力できます。
6		着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7	圏外	電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8		通話中の電波の状態が表示されます。の数が多いほど、電波状態が良好です。
9	外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の 外線 を押してからの経過時間）	

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が既に完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは、設定し直してください。

回線種別を設定する

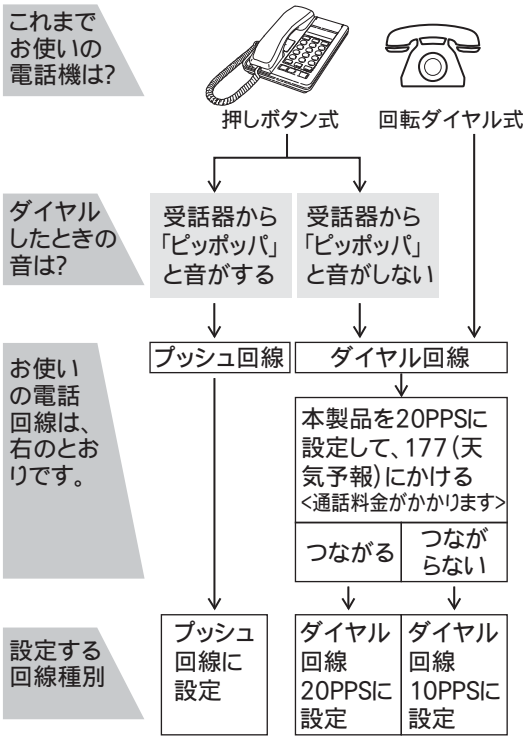
[回線種別設定]

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 受話器を取り「ツー」という音が聞こえることを確認して、受話器を戻す

- 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。(⇒かんたん設置ガイド)
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 回線種別を確認する



3 【メニュー】を押す

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 回線種別を選ぶ

> 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
>
> ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

6 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

> 子機からも回線種別を設定することができます。
> ⇒ 251 ページ「子機」

日付と時刻を設定する

［時計セット］

親機の場合

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

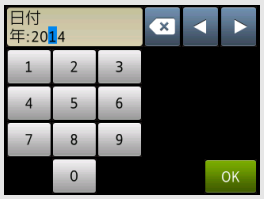
1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



4 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

2014 年の場合は、【1】【4】を押します。

> 日付や時刻を間違って入力したときは、を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】を押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】を押します。

7 【時刻】を押す

時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、【OK】を押す

午後 0 時 45 分の場合は、
【1】【2】【4】【5】を押します。

日付と時刻が設定されます。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

> 時間の経過により、設定した時刻に誤差が生じてきます。また、長期間電源プラグを抜いたままでいると、お買い上げ時の設定に戻ります。時計は、定期的に設定し直すことをお勧めします。
>
> 発信元登録をしていない場合は、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

子機の場合

子機の日付と時刻を設定します。

1 機能 確定 を押す

2 ✥ で「時計設定」を選び、機能 確定 を押す

3 日付を入力し、機能 確定 または ✥ を押す

例：2014 年 1 月 21 日の場合

1 4 0 1 2 1 と押します。

4 時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、機能 確定 を押す

例：12 時 45 分の場合

1 2 4 5 と押します。

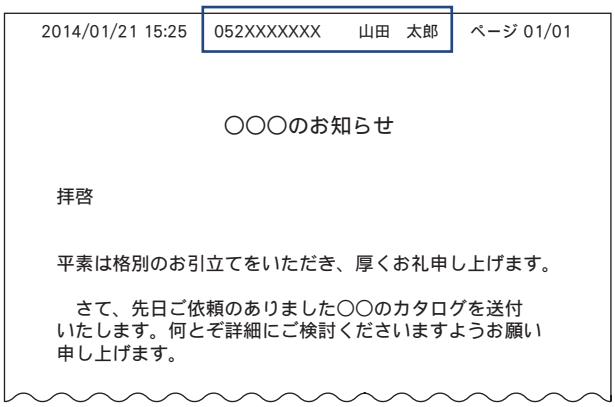
5 切 を押して設定を終了する

- 数字を入れ間違えたときは、✥ で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。



- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

3 【ファクス】を押す

4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力し、【OK】を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

- ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

5 【名前】を押す

6 画面に表示されているキーボードで名前を入力し、【OK】を押す

16 文字まで入力できます。
⇒ 228 ページ「文字の入力方法」

7 を押して設定を終了する

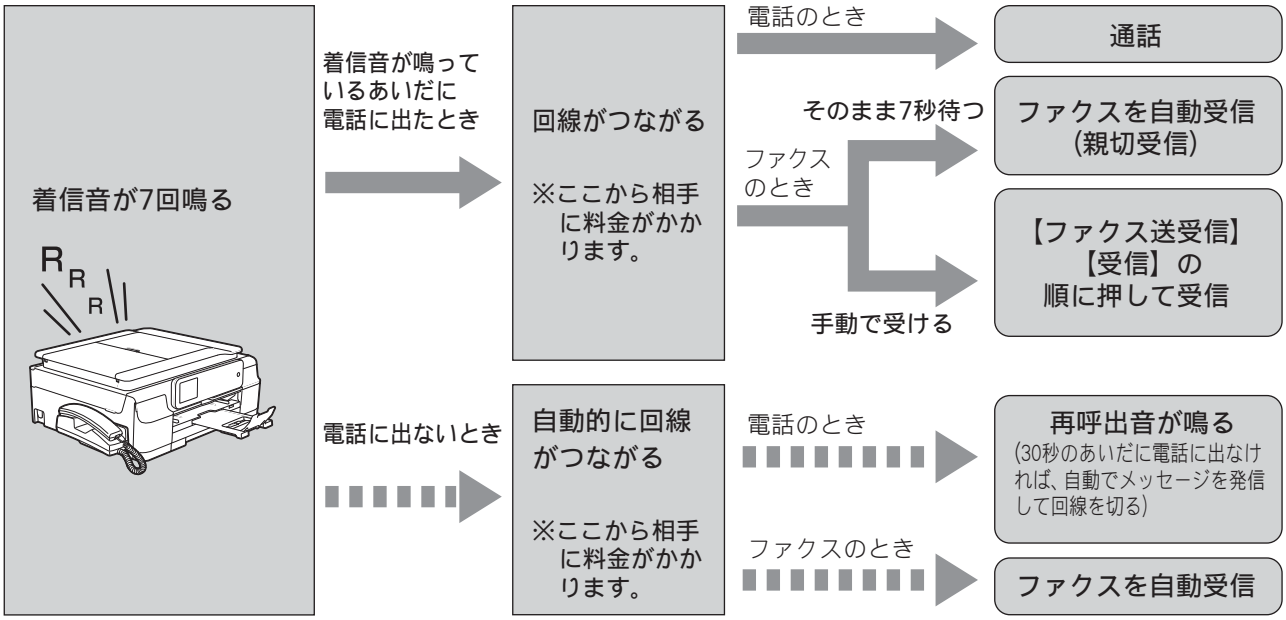
発信元登録を削除するときは
(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」（43 ページ）の手順 1 ～ 3 を行う
(2) を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す
(3) を押して操作を終了する

電話とファクスの受信設定

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

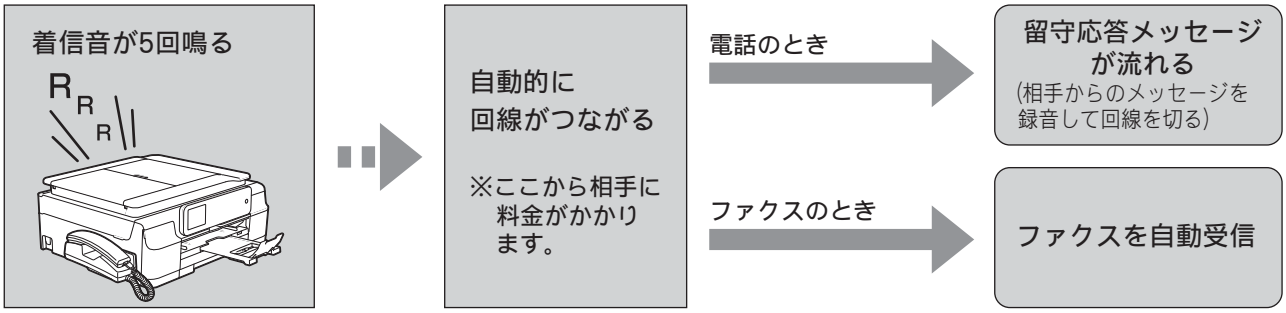
お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。46 ページから 51 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

在宅モード：留守番機能がセットされていないとき



- 着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。
- 7 回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。30 秒のあいだ電話に出ないでいると、「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを流して、数秒後に回線が切れます。

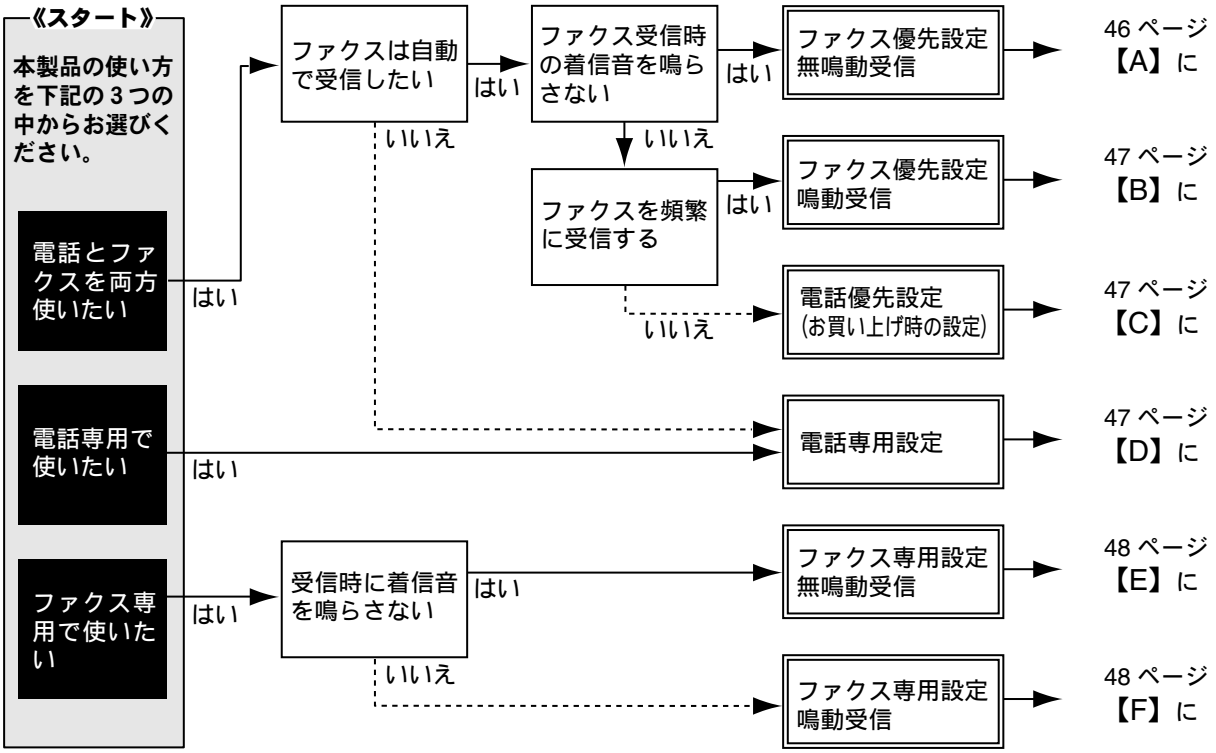
留守モード：留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき



- 5 回の着信音が鳴ったあとに自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話しください。ファクスの方はそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

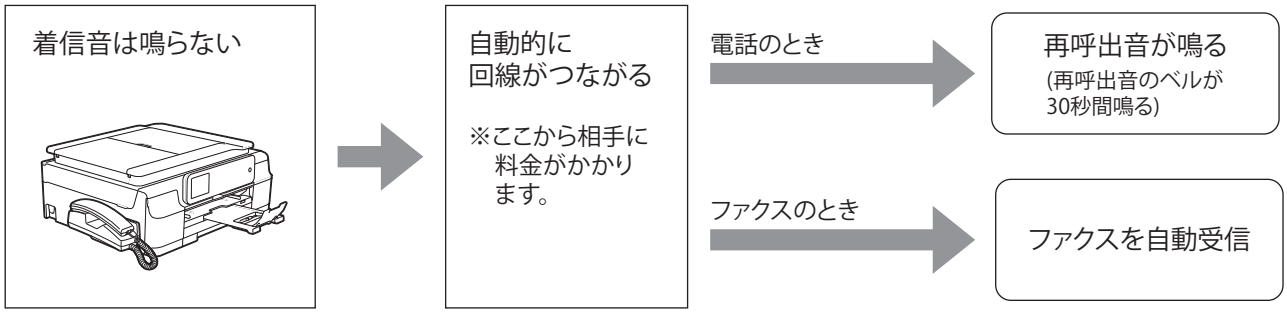
電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



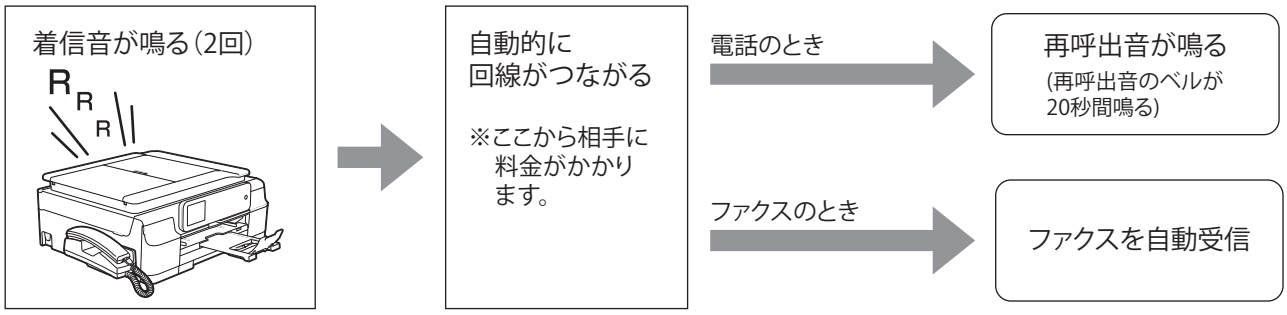
【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 0 回にし、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】【相手にベル】【30 秒】にします。
⇒ 49 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）」



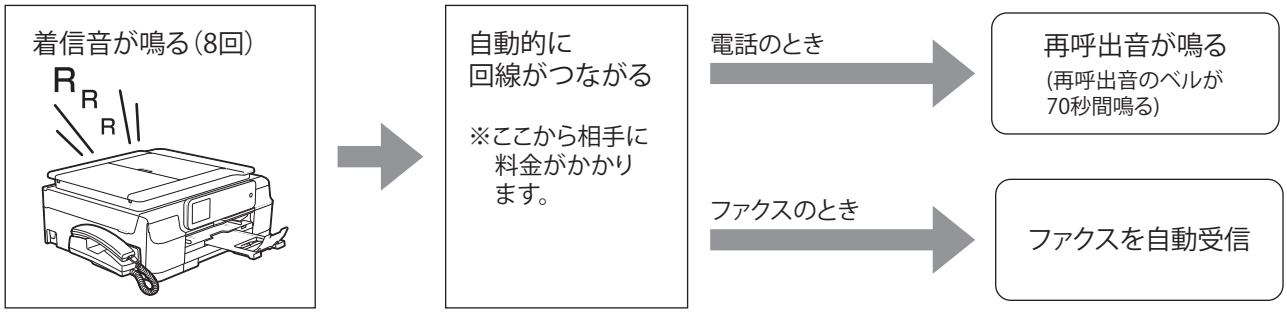
【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】にします。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」
⇒ 51 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出ベル回数を2回、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】【相手にベル】【20秒】に設定した場合



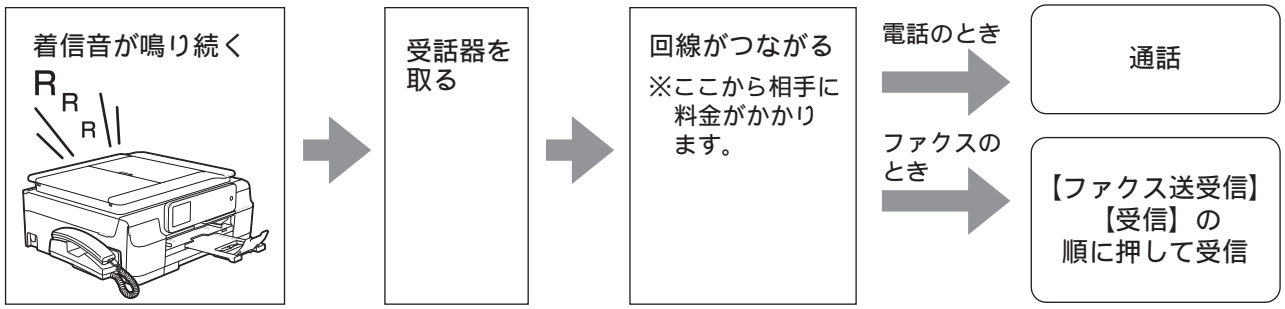
【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信音の呼出ベル回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】にします。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」
⇒ 51 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出ベル回数を8回、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】【相手にベル】【70秒】に設定した場合



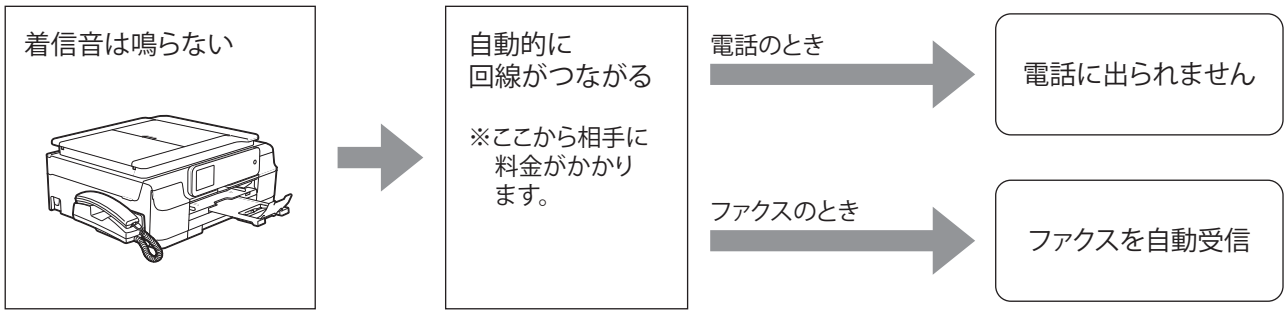
【D】電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信音の呼出ベル回数を無制限にします。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」



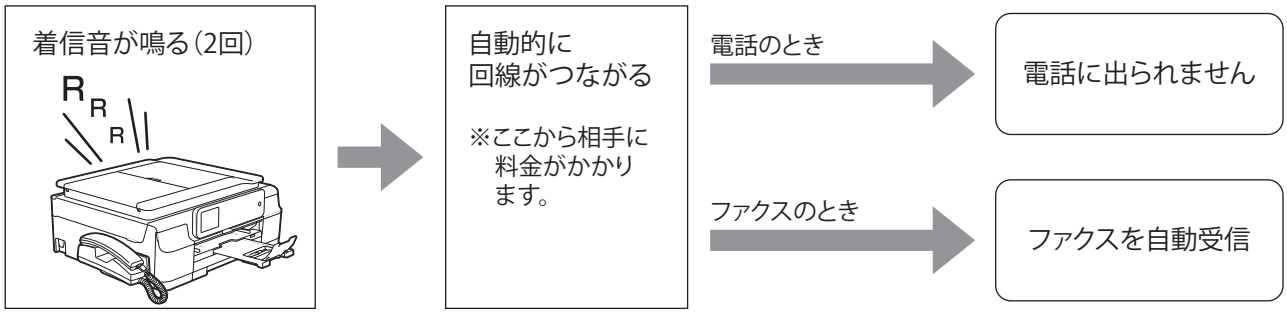
【E】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 0 回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】にします。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」
⇒ 51 ページ「再呼出の設定をする」



【F】本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信音の呼出ベル回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】にします。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」
⇒ 51 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出ベル回数を 2 回、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】に設定した場合



ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

[ファクス無鳴動受信]

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。お買い上げ時は、【しない】に設定されており、電話、ファクスともにかかってきたときには着信音が鳴ります。

- 無鳴動受信を有効にすると、電話のときはベル音が鳴ります。このベル音はメロディなどに変更できません。
- 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話を取らなくても相手側には通話料金が発生します。
- 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【ファクス無鳴動受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し　電話のときは再呼出音が鳴り　留守モードのときは留守応答メッセージが流れる設定にします／する／しない】と表示されます。

3 【する】を押す

【する】に設定すると、ファクスのときはベルが鳴らずにすぐ受信を開始し、電話のときの再呼び出し動作が、次のように設定されます。

- 再呼出方法：オン（相手にベル）
- 再呼出時間：30 秒

【しない】に設定すると、7 回の呼び出しのあと、ファクスのときは受信を開始し、電話のときの再呼び出し動作が、次のように設定されます。

- 再呼出方法：オン（相手にベル）
- 再呼出時間：30 秒

4 を押して設定を終了する

呼出ベル回数を設定する

[呼出ベル回数]

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを区別する）までに鳴る着信音の回数を設定します。
お買い上げ時は「在宅モード 7 回」、「留守モード 5 回」に設定されています。

0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。また、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。）

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【呼出ベル回数】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **【在宅モード（消灯）】または【留守モード（点灯）】を選ぶ**

4 **呼出ベル回数を選ぶ**

A）【在宅モード（消灯）】のとき

【0 ～ 15（回）／無制限】から選びます。目的の呼出ベル回数が表示されていないときは、▼/▲を押して表示させます。

- 【0 ～ 15（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】：
  受話器を取るまで着信音が鳴り続けます。受話器を取ると回線がつながります。

B）【留守モード（点灯）】のとき

【0 ～ 7（回）／トールセーバー】から選びます。目的の呼出ベル回数が表示されていないときは、▼/▲を押して表示させます。

- 【0 ～ 7（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】：
  外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
  ⇒ 50 ページ「トールセーバーを利用する」

5 **を押して設定を終了する**

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出ベル回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

[再呼出ベル設定]

在宅モードで、呼出音（⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」）が鳴ったあとの本製品の動作（再呼出）の設定をします。ファクスは自動的に受信します。
お買い上げ時は、【オン（電話呼び出し）】【相手にベル】【30 秒】に設定されています。

【再呼出ベル設定】で設定した時間を過ぎると、電話が自動的に切れます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【再呼出ベル設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

3 【再呼出ベル設定】を選ぶ

- 【オン（電話呼び出し）】：
  電話とファクスの両方を使うときに選びます。
  電話のときは再呼出音が鳴ります。
  ファクスは自動的に受信します。
  ⇒手順 4 へ
- 【オフ（ファクス専用）】：
  本製品をファクス専用として使うときに選びます。
  電話は受けられません。
  ファクスは自動的に受信します。
  ⇒手順 6 へ

4 【再呼出方法】を選ぶ

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音を選びます。

- 【相手にベル】：
  「トゥルルルルルル」という音が相手に流れます。
- 【相手にメッセージ】：
  在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
  在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
  ⇒127ページ「応答メッセージを録音する」

5 【再呼出時間】を選ぶ

再呼出音を鳴らす時間を設定します。
【20 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 70 秒】から選びます。
目的の再呼出時間が表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

6 を押して設定を終了する

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する

電話会社と下記の有料サービスを契約している場合に設定します。電話会社と契約するだけでは、正しく動作しない場合がありますので、契約の有無に従って設定を行ってください。

- ナンバー・ディスプレイ機能
- キャッチホン・ディスプレイ機能

本製品はキャッチホン機能、ボイスワープ機能にも対応していますが、特に設定を必要としません。

本製品はネーム・ディスプレイ機能には対応していません。

ナンバー・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【あり】に設定されています。契約されていない場合は、【なし】に設定してください。ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の上、【あり】に設定しているときは、各種のオプション機能が利用できます。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 93 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

■ ナンバー・ディスプレイ機能を契約されている場合は、必ず【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **契約状況、設置環境に合わせて設定する**

- 【あり】
  本製品の画面に相手の電話番号が表示されます
- 【なし】
  ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。

4 **を押して設定を終了する**

ナンバー・ディスプレイ機能を利用するときは、呼出ベル回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。

⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【なし】に設定されています。
キャッチホン・ディスプレイ機能を契約されている場合は、下記の手順で【あり】に設定してください。キャッチホン・ディスプレイについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 99 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【キャッチディスプレイ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **契約状況、設置環境に合わせて設定する**

- 【あり】
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

4 **を押して設定を終了する**

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

親機の音量を設定する

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 変更したい音量を選ぶ

- 【着信音量】
  着信時のベルやメロディの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
  操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】
  オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。
- 【受話音量】
  受話器を持って通話するときの音量を調整します。

4 目的の音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

> 受話音量には【切】はありません。

5 必要に応じて手順3、4を繰り返し、他の音も調整する

6 を押して設定を終了する

> 着信音量は着信中に表示されるでも調整できます。
>
> スピーカー音量は、オンフックを押し、「ツー」という音が聞こえているときにを押して表示されるを押しても調整できます。
>
> スピーカー音量を【切】に設定していても、下記の場合は【小】の音量で音が鳴ります。
> - 留守ボタンを押したときの応答メッセージ再生音
> - 留守録再生ボタンを押したときの録音メッセージ再生音
>
> 着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。
> - 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音
> - 内線呼出音
>
> ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通話中に受話音量を変える

電話をかけたとき

(1) 【音量】を押す（または、を押す）

(2) を押す

電話を受けたとき

(1) を押す

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

お買い上げ時は、【■■■□】（3 段階目）に設定されています。

1 ✚を繰り返し押して音量を選ぶ

音量はオフ【□□□□】を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面に🔕が表示されます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の【ON ／ OFF】を設定します。お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

1 機能確定を押す

2 ✚で【鳴動音設定】を選び、機能確定を押す

3 ✚で【3. ボタン確認音】を選び、機能確定を押す

4 ✚で【ON】または【OFF】を選び、機能確定を押す

5 切を押して設定を終了する

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

スピーカーホン を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 スピーカーホン を押す

2 ✚を繰り返し押して音量を選ぶ

スピーカー音量は 4 段階から選べます。

3 通話中の変更であれば、そのまま通話を続け、通話中でなければ、切 を押して設定を終了する

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げて使用してください。

受話音量を設定する

受話口から聞こえる相手の声の大きさが調整できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 通話中に✚を押して音量を選ぶ

受話音量は 4 段階から選べます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げて使用してください。

着信音と保留音を設定する

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本製品には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は【ベル 1】、保留音は【花のワルツ】に設定されています。

お願い

- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- 呼出ベル回数を 0 回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出ベル回数を 3 回以上に設定してください。
  ⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

4 種類のベル音と下記のメロディを着信音や保留音として設定できます。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【メロディ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

3 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ

4 メロディを選び、【OK】を押す

現在選択されているメロディが流れます。【OK】を押すとメロディが止まります。

> ベル音は保留メロディには設定できません。

5 を押して設定を終了する

> 構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル 2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル 1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。
>
> 再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定できます。
⇒ 96 ページ「着信鳴り分けを設定する」

子機の着信音を選ぶ

子機の着信音はベル音 1 種類と下表にある 6 曲の中から選べます。お買い上げ時は、ベル音に設定されています。
子機の個体それぞれで好みの着信音に設定できます。

曲名	
1	アヴェ・マリア
2	大きな古時計
3	ガボット
4	きらきら星
5	四季より「春」
6	花のワルツ

1 機能 確定 を押す

2 ✚ で【鳴動音設定】を選び、機能 確定 を押す

3 ✚ で【1. 着信音】を選び、機能 確定 を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 ✚ で着信音を選び、機能 確定 を押す

5 切 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。お買い上げ時は【5 分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

4 を押して設定を終了する

- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが装着されているときは、スリープモードに切り替わりません。
- 使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

お気に入りを登録する

「お気に入り」としてお好みの設定条件を登録することができます。
お気に入りには「1」～「3」があります。登録するときは「1」にファクス、「2」にコピー、「3」に「スキャン」というような機能別にしたり、「1」「2」「3」を使用者ごとに割り当てるなどして、あとでわかりやすいようにご利用ください。
お気に入り画面から選択できるメニューおよび設定条件は次の通りです。設定条件を変更すると、さらに細かくお気に入りを登録できます。

機能	第 1 選択項目（メニュー）	第 2 選択項目（設定条件）
コピー	コピー画質、記録紙タイプ、記録紙サイズ、拡大 / 縮小、コピー濃度、スタック / ソート、レイアウトコピー、両面コピー、便利なコピー設定	各項目の設定値については、下記ページをご覧ください。⇒ 136 ページ「設定を変えてコピーするには」
ファクス	相手先の電話番号	ファクス画質、原稿濃度、同報送信、みてから送信、カラー設定、リアルタイム送信、海外送信モード
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、ADF 長尺原稿モード、ファイル名、おまかせ一括スキャン、地色除去
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。 詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	

お気に入りに機能や設定条件を登録する

1 待ち受け画面の お気に入り を押す

2 ＋未登録 を押す

3 登録したい機能を選ぶ

【コピー／ファクス／スキャン／クラウド】から選びます。

コピーを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 コピーメニューを選ぶ

6 必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

ファクスを選んだ場合

4 【OK】を押す

同報送信をお気に入り登録する場合は、このあと【設定変更】、【同報送信】を順に押し、送信先をすべて選択後、手順 7 に進みます。

5 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

【電話帳】または【履歴】から選ぶ場合は、相手先を選んで表示された画面で、【ファクス送信】を押します。

- 設定条件を変更する場合は、【設定変更】を押す
- 設定条件を変更しない場合は、⇒手順 7 へ

6 設定条件を変更し、【OK】を押す

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは▼/▲を押して画面を送ります。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル /OCR/ イメージ /E メール添付：保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ
- メディア：
  ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ

クラウドを選んだ場合

クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

✕ を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは▼/▲を押して画面を送ります。

6 アカウントを選択して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードを入力し、【OK】を押してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 8 へ

7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

8 画面に表示されているキーボードで名前を入力して、【OK】を押す

⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り 01 など）はいったん消してください。
⇒ 228 ページ「文字の入力方法」

【ファクス】を登録した場合は、登録した相手先が電話帳（⇒ 120 ページ）にも反映されるため【ヨミガナ】の編集画面が表示されます。必要に応じて読みがなを編集し、【OK】を押してください。

お気に入り名は、あとで変更することもできます。
⇒ 60 ページ「お気に入りの登録名を変更する」

9 【OK】を押して登録を終了する

登録したお気に入りを呼び出す

1 待ち受け画面の お気に入り を押す

2 呼び出したいお気に入りを押す

呼び出したお気に入りの設定画面が表示されます。機能を実行する場合はスタートキーを押します。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

1 待ち受け画面の お気に入り を押す

2 名前を編集したいお気に入りを２秒以上押す

【メニュー】、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から編集対象のお気に入りを選ぶこともできます。

3 【お気に入り名の編集】を押す

4 を押して古い名前を消去する

長押しすると登録名は一度に消去されます。

5 画面に表示されているキーボードで名前を再入力して、【OK】を押す

6 を押して設定を終了する

お気に入りの設定条件を変更する

クラウドは設定変更できません。クラウドの設定を変更したいときは、いったん削除してあらためて登録してください。

1 変更したいお気に入りを呼び出す

⇒ 60 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

2 設定条件を変更する

機能により、変更画面が違います。
⇒ 58 ページ「お気に入りを登録する」

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

3 【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

4 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて保存してください。

5 【OK】を押して設定を終了する

登録したお気に入りを削除する

1 待ち受け画面の お気に入り を押す

2 削除したいお気に入りを２秒以上押す

【メニュー】、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から削除対象のお気に入りを選ぶこともできます。

3 【消去】を選ぶ

4 【はい】を押す

5 を押して設定を終了する

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。
記録紙をセットしたときは、本製品で【記録紙タイプ】を設定してください。
⇒ 70 ページ「記録紙の種類を設定する」
パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」または「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	坪量（厚さ）	一度にセットできる枚数	サイズ			参照
			コピー	デジカメプリント	プリンター	
普通紙	64g/m² ～ 120g/m² (0.08mm ～ 0.15mm)	100*1	A4 B5（JIS） A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6	⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
インクジェット紙	64g/m² ～ 200g/m² (0.08mm ～ 0.25mm)	20	A4 B5（JIS） A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6	
光沢紙	220g/m² 以下 (0.25mm 以下) *2	20	A4 B5（JIS） A5	A4		
OHP フィルム	(0.13mm 以下)	10	A4 B5（JIS） A5	－		
封筒	75g/m² ～ 95g/m²	10	－	－	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒	
インデックスカード (127mm×203.2mm)	120g/m² 以下 (0.15mm 以下)	30	－	－	インデックスカード	
往復はがき (折っていないもの)	220g/m² 以下 (0.25mm 以下)	20	－	－	往復ハガキ	
2L 判 *3 (127mm×178mm)	220g/m² 以下 (0.25mm 以下)	20	2L 判	2L 判	2L 判	
ポストカード (101.6mm×152.4mm)	(0.25mm 以下)	20	－	－	ポストカード	⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」
L 判 *3	220g/m² 以下 (0.25mm 以下) *2	20	L 判	L 判	L 判	
はがき *3	220g/m² 以下 (0.25mm 以下)	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	

*1 80g/m² の記録紙を使用した場合の目安です。

*2 ブラザーBP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m² ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

*3 普通紙、インクジェット紙、光沢紙に対応しています。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

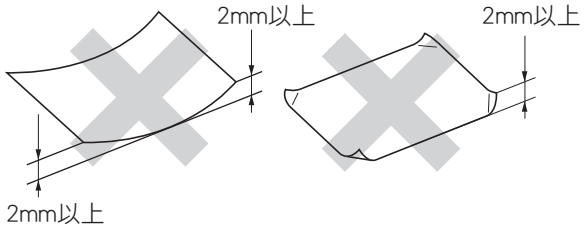
重 要

- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用しないでください。めくれたラベルが内部に貼り付き、故障の原因となることがあります。

お願い

- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

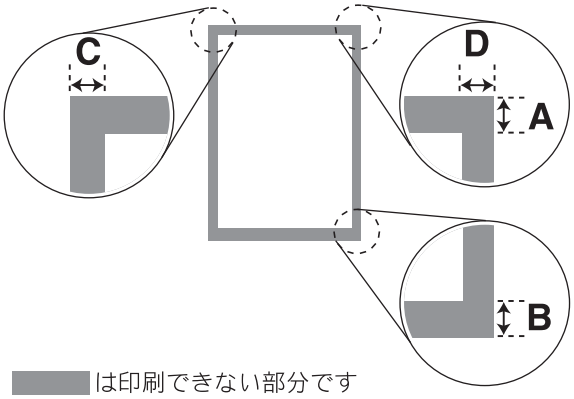
- OHP フィルムやブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。
- カールしている記録紙について
  特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
  カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を選択すると、印刷できない部分（余白）は、基本的に「0」になりますが、お使いのパソコンの OS によっては、完全に「0」にならない場合もあります。



（単位：mm）

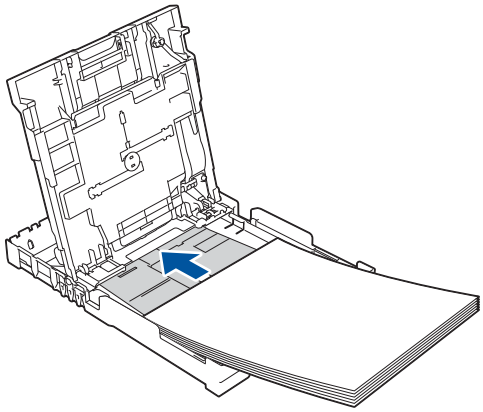
記録紙	A	B	C	D
A4/A5/A6/B5（JIS） レター / エグゼクティブ 2L 判 /L 判 インデックスカード ポストカード はがき	3	3	3	3
長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。この数値はお使いの記録紙によっても変わることがあります。

トレイの種類

記録紙をセットするトレイは、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類があります。

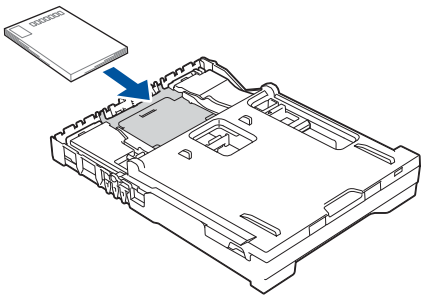
記録紙トレイ



L 判、はがき、ポストカード以外の記録紙と、封筒をセットします

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L 判記録紙とはがき、ポストカードをセットします。

⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」

給紙トレイマーカーの見かた

記録紙トレイ正面右側の給紙トレイマーカーで、現在、記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかがわかります。スライドトレイの位置によって、青色のマーカーが自動的に切り替わります。A4/LTR 側：記録紙は記録紙トレイから供給されます。Photo 側:記録紙はスライドトレイから供給されます。

最大排紙枚数について

坪量 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙トレイ上に保持できます。大量の印刷を行うときは、記録紙があふれないように、順次排紙トレイから取り出してください。
写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

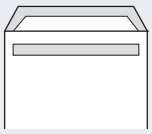
記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- 光沢紙
- OHP フィルム
- 封筒
- インデックスカード
- 往復はがき

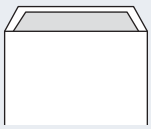
L 判記録紙およびはがき、ポストカードは、スライドトレイにセットしてください。
⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」

重 要

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
- 窓付き封筒
- エンボス加工がされたもの
- 留め金のついたもの
- 内側に印刷がほどこされているもの
- ふたにのりが付いているもの



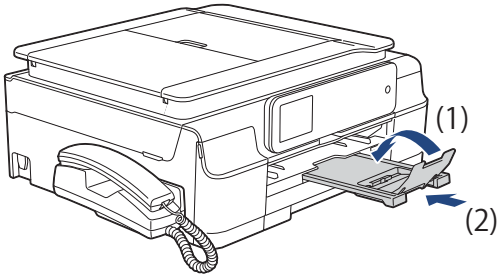
- 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



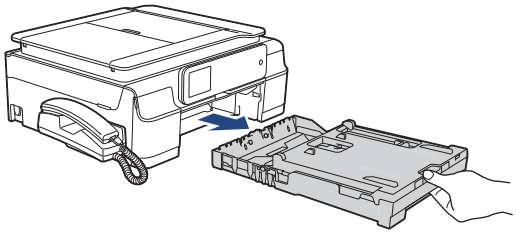
お願い

■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。

1 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2）

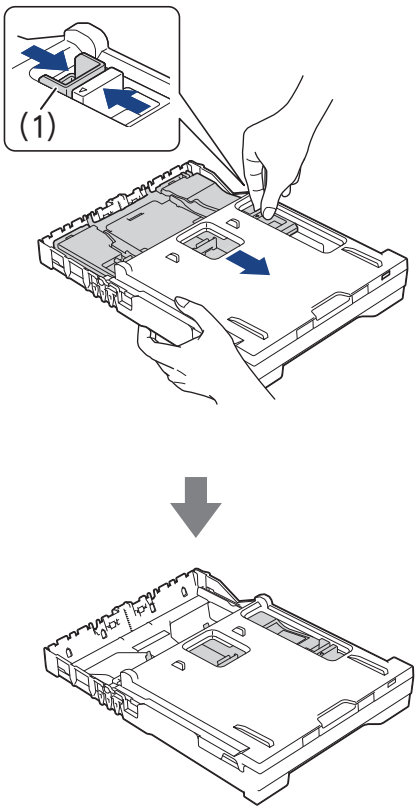


2 記録紙トレイを引き出す



お願い

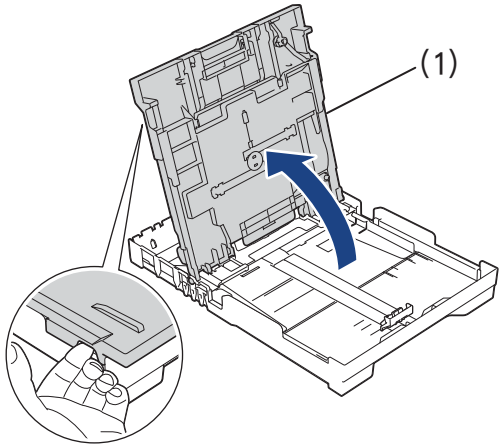
■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。
リリースボタン（1）をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



3 トレイカバー（1）を開く

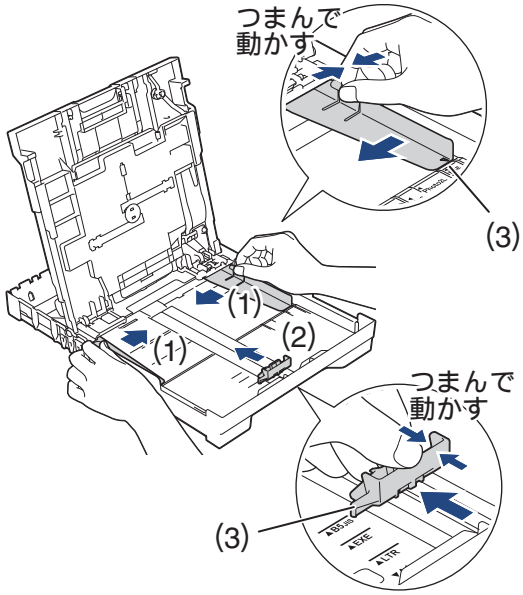
⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる

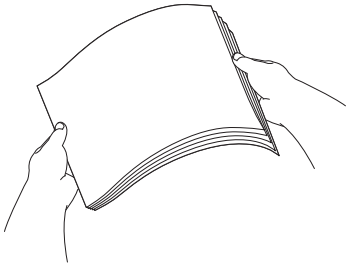
幅のガイドは両手で動かしてください。



5 記録紙をさばく

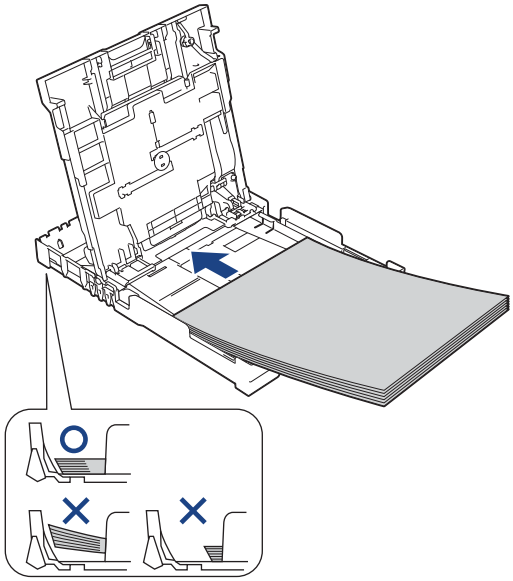
記録紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

記録紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



6 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

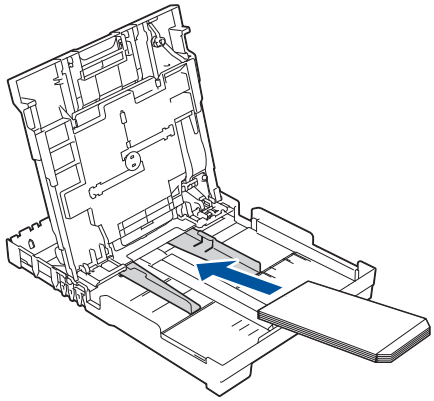


お願い

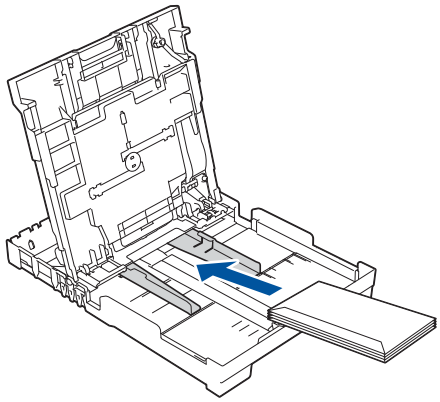
■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。

■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

■ 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。
また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーで次の設定をしてください。
- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」で［上下反転］
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「レイアウト」で［ページの方向を反転］



■ 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



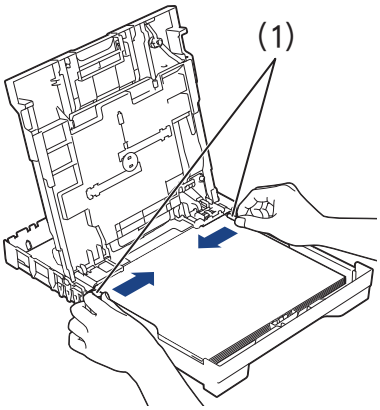
■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、封筒を 1 枚ずつセットしてください。

7 幅のガイド（1）を、記録紙にぴったりと合わせる

⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

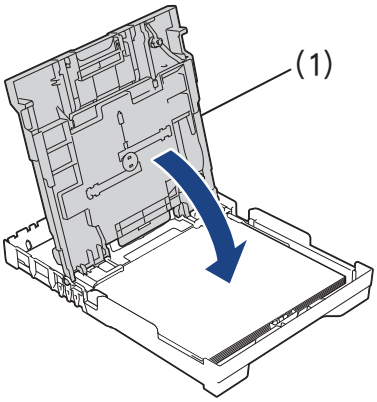
幅のガイドは両手で動かしてください。



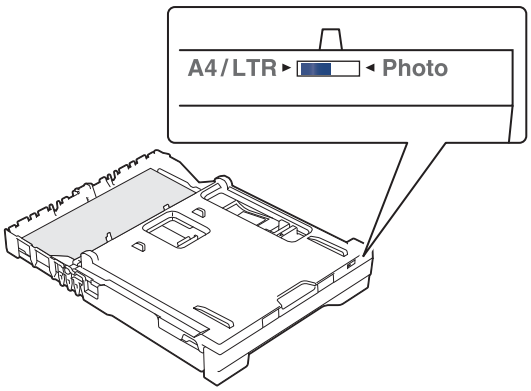
お願い

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

8 トレイカバー（1）を閉める

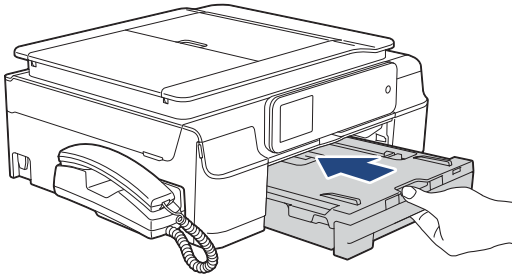


9 給紙トレイマーカーが「A4/LTR」側になっていることを確認する

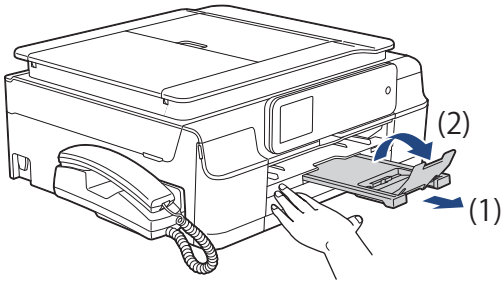


10 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。



11 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



- 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- 封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

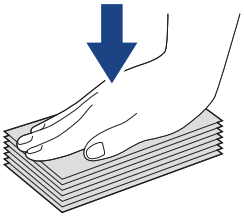
- L 判記録紙
- はがき
- ポストカード

お願い

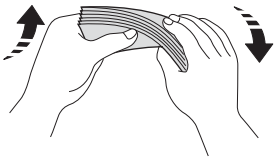
■ はがき（普通紙）を自動で両面印刷する場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛て先面から先に印刷することをお勧めします。

■ はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきを自動両面印刷することはできません。宛て先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛て先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。

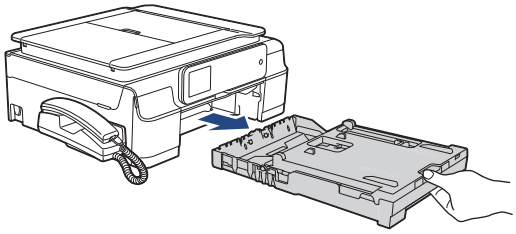
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



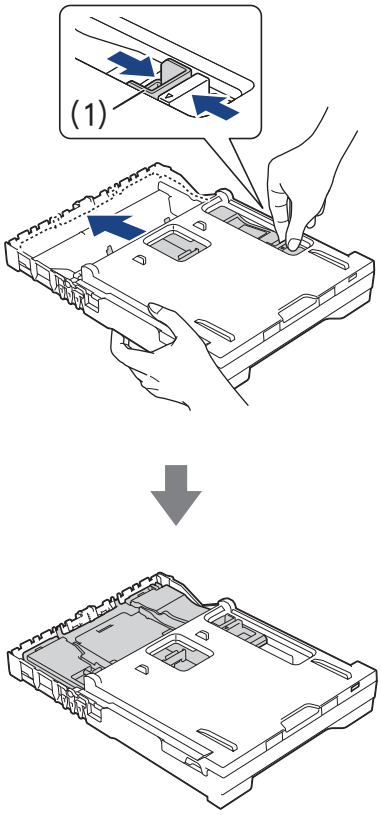
記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



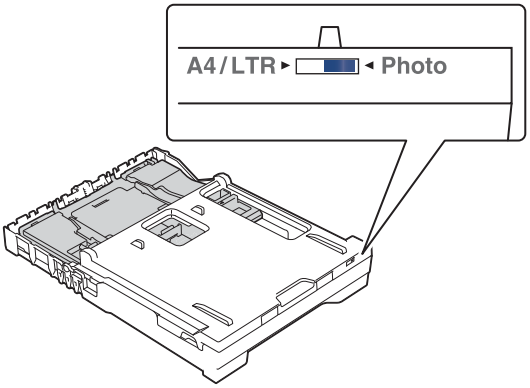
2 記録紙トレイを引き出す



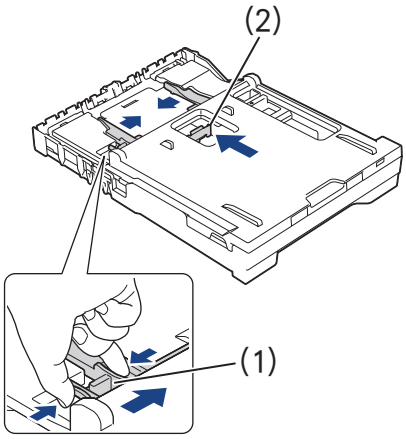
3 リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす



4 給紙トレイマーカーが「Photo」側になっていることを確認する

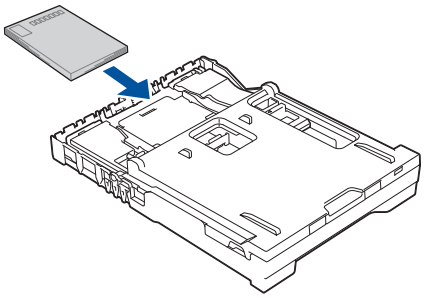


5 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

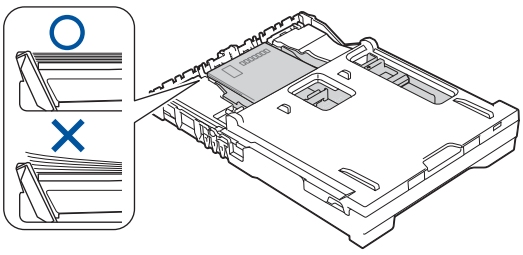


6 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。

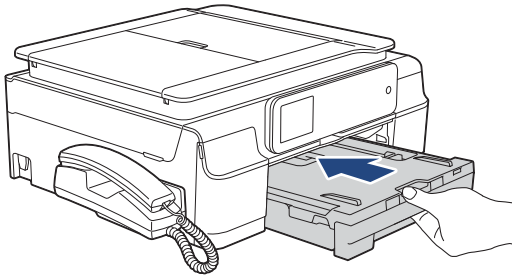


お願い

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。



記録紙の種類を設定する

[記録紙タイプ]

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【記録紙タイプ】を順に押す

ボタンには現在の設定値が表示されています。

3 記録紙の種類を選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

- ブラザー BP71 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

4 を押して設定を終了する

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
  ⇒ 138 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
  ⇒ 148 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

記録紙のサイズを設定する

[記録紙サイズ]

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【記録紙サイズ】を順に押す

ボタンには現在の設定値が表示されています。

3 記録紙のサイズを選ぶ

【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

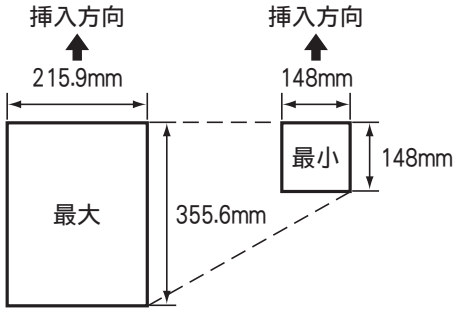
4 を押して設定を終了する

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
  ⇒ 138 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
  ⇒ 148 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Macintosh 編」－「印刷する」

原稿のセット

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿

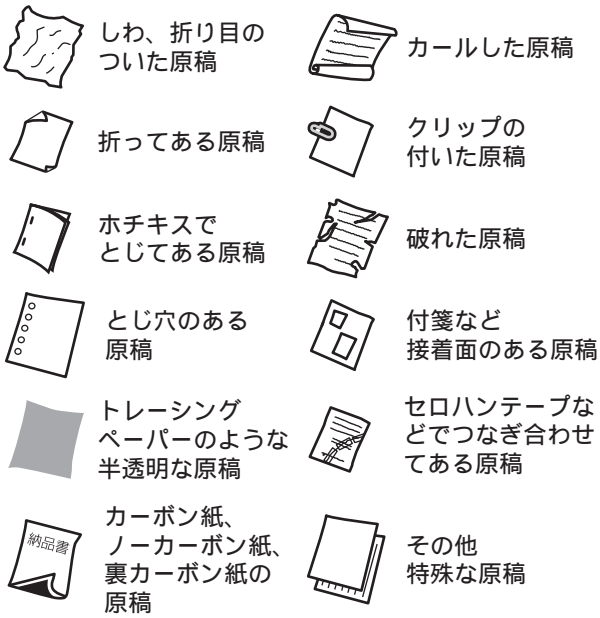
ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



厚さ：0.08mm ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

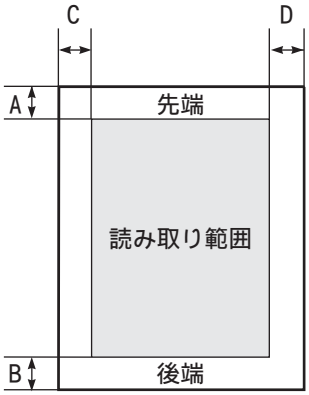
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。原稿台ガラスにセットしてください。



原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3		原稿台ガラス：3 ADF（自動原稿送り装置）：1	
コピー	3		3	
スキャン	1		1	

原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットする

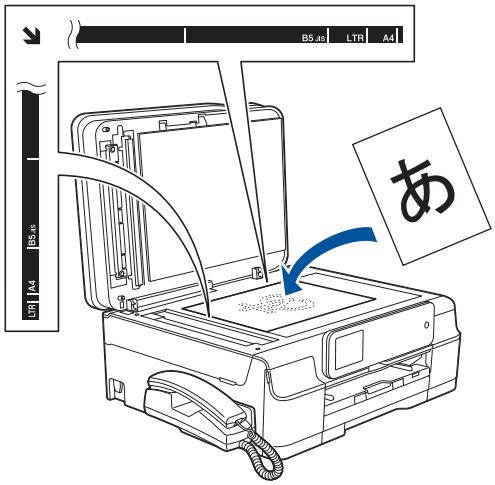
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

お願い

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本など厚みのある原稿は、原稿台カバーの上から軽く押さえると、隙間から光が入らずきれいに読み取ることができます。

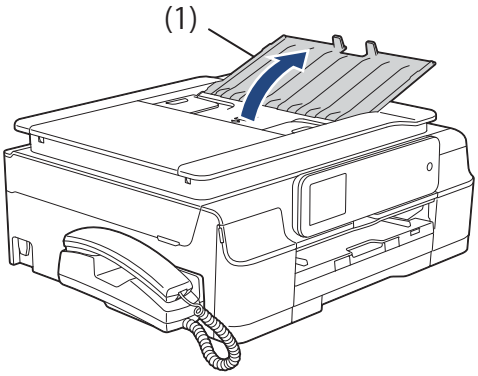
お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。
- 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

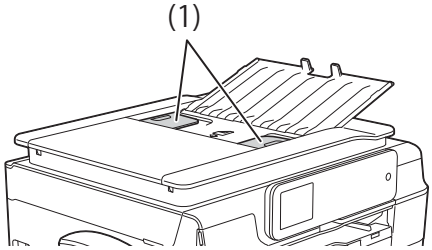
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットすると便利です。

1 ADF 原稿トレイ（1）を開く



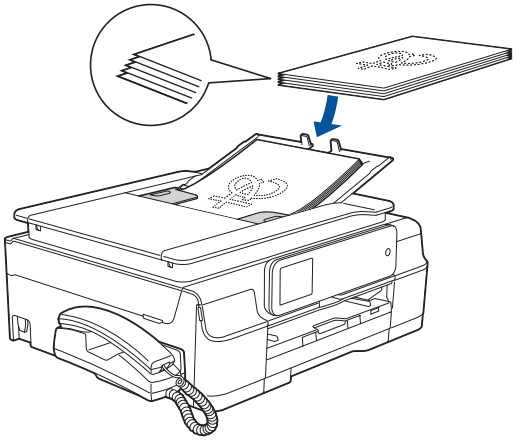
2 ADF ガイド（1）を原稿の幅に合わせる



3 原稿をさばく

4 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

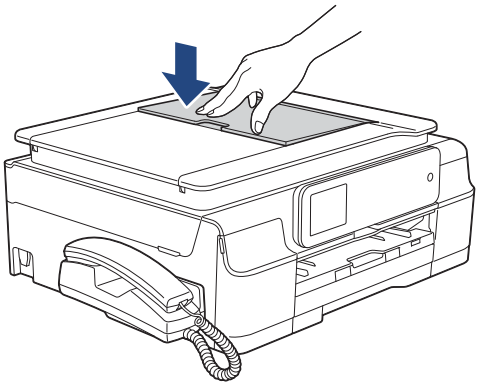
一度に 20 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。



複数枚のコピーをする場合、最後にコピーされた記録紙が一番上に上向きで排出されます。

お願い

- ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけないでください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。
- ADF（自動原稿送り装置）を使用しないときは、ほこりなどが入らないように ADF 原稿トレイを閉じておいてください。



記録ディスクをセットする

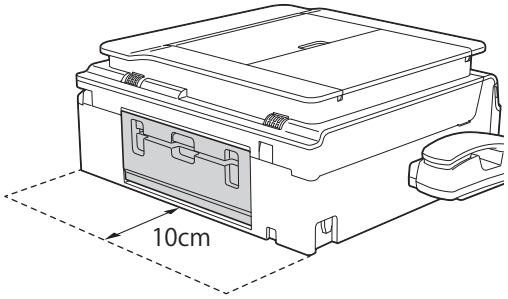
ここでは記録ディスクのセット方法について説明します。印刷方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「レーベルプリント」をご覧ください。

> レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズの CD/DVD/BD です。

記録ディスクをセットする

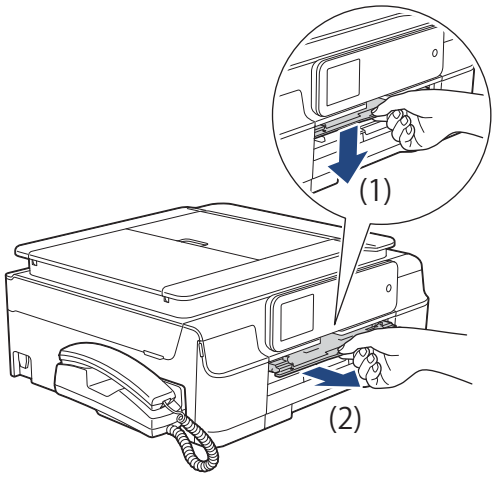
1 本体の背面に 10cm 以上のスペースがあることを確認する

印刷時、ディスクトレイが本体の背面にいったん突き出るため、背面にスペースが必要です。

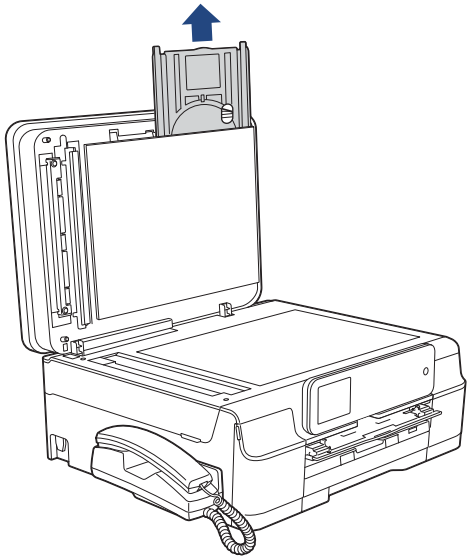


2 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引きながらゆっくりと手を離す（2）

手の力をゆるめると、強いスプリング機構によりディスクガイドがせり出し、自動的に固定されます。



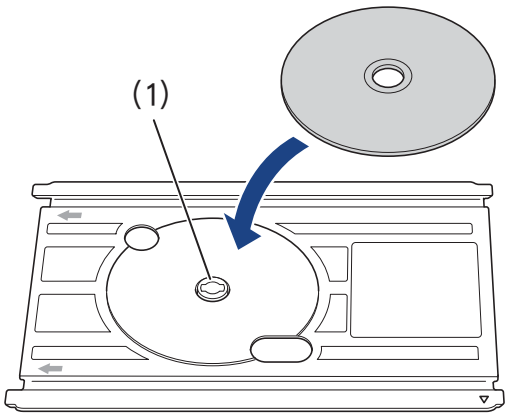
3 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜き、原稿台カバーを閉じる



4 記録ディスクの穴を、ディスクトレイの爪（1）にしっかりはめる

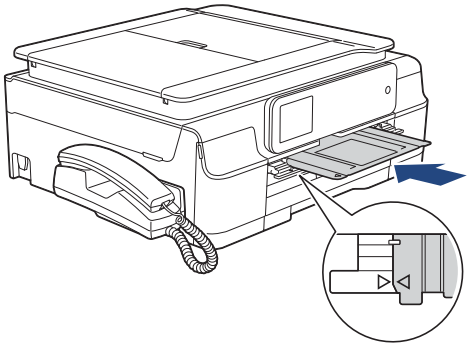
印刷面を上にしてセットします。

> 記録ディスクをセットする前に、トレイ上に、記録面を傷付けたり汚したりするようなゴミがないことを確認してください。



5 **ディスクトレイをディスクガイドに挿入し、トレイとガイドの三角マークを合わせる**

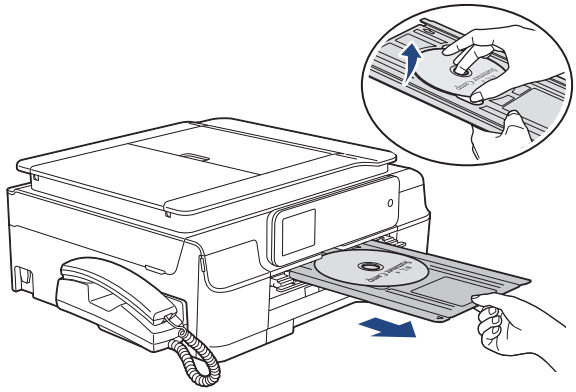
ディスクトレイ上に刻印されている矢印の方向に挿入します。



記録ディスクを取り出す

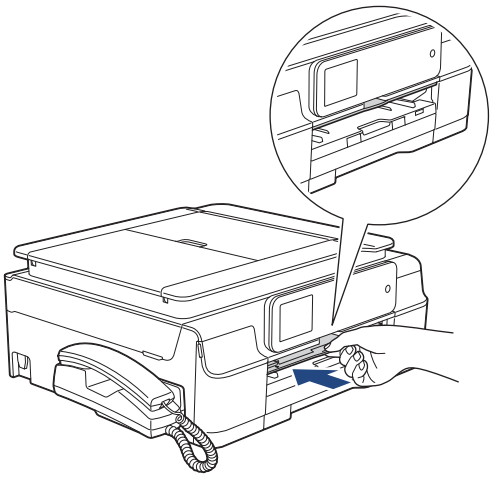
印刷が終わると、画面に【印刷が完了しました　ディスクトレイを取り出してディスクガイドを閉じてください】と表示されます。

1 **画面の【OK】を押して、ディスクトレイを引き抜き、記録ディスクをはずす**



2 **ディスクガイドを水平に本体に押し込む**

強く押し込むようにするとスプリング機構により、ディスクトレイが元の位置に戻り、固定されます。



3 **原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する**

お願い

- 印刷位置がずれてディスクトレイ上に印刷された場合や、記録ディスク中央の透明部分に印刷された場合はすぐに拭き取ってください。
- ディスクトレイは、印刷が終了したら必ず原稿台カバーに収納してください。ディスクトレイが反ったり変形したりすると動作不良の原因になる恐れがあります。

Memo

第２章

電話

基本

電話をかける / 受ける 78
電話をかける 78
親機の場合 78
子機の場合 78
電話を受ける 78
親機の場合 78
子機の場合 78
電話帳からかける 79
親機の場合 79
子機の場合 79
通話を保留にする 79
親機の場合 79
子機の場合 79
通話を録音する 80
親機の場合 80
子機の場合 80
録音した通話を再生 / 消去する 80
親機の場合 80
子機の場合 81
いろいろな電話のかけかた 82

通話中の各種操作 83

電話を取り次ぐ 84
親機から子機へ電話を取り次ぐ 84
子機から親機へ電話を取り次ぐ 84
子機から子機へ電話を取り次ぐ 85
用件を伝えずに電話を取り次ぐ 85
親機から子機へ 85
子機から親機へ 85
子機から子機へ 85

内線通話をする 87
親機から子機へかける 87
子機から親機へかける 87
子機から子機へかける 88
３人で同時に話す 88
親機から子機を呼び出してトリプル通話（３者通話）をする 88
子機から親機を呼び出してトリプル通話をする 89
子機から別の子機を呼び出してトリプル通話をする ... 89

かかってきた電話を拒否する 90
通話前に電話を拒否する 90
親機の場合 90
子機の場合 90
通話中に電話を拒否する 90
親機の場合 90
子機の場合 90

キャッチホンで電話を受ける 91
キャッチホンで電話を受けた場合 91
キャッチホンでファクスを受けた場合 91

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する 93
ナンバー・ディスプレイサービスとは 93
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能 93
電話番号表示機能 94
電話がかかってきたときは 94
着信履歴を利用する 94
着信鳴り分けを設定する 96
電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機） 96
電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機） 96
迷惑電話指定する 97
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する 98

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する 99

電話をかける / 受ける

基本

親機や子機で電話をかけたり受けたりできます。

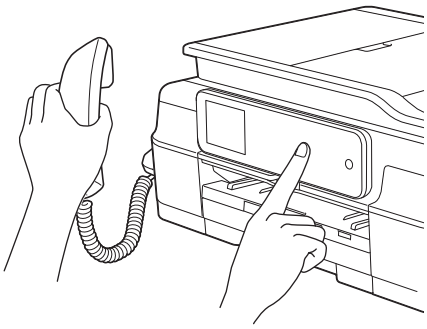
電話をかける

親機の場合

1 受話器を取る

ファクスモードに切り替わります。

2 0～9 を押して相手に電話をかける



通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

1 子機を充電器から外し、外線 を押す

子機を充電器に置いていないときは、外線 を押します。

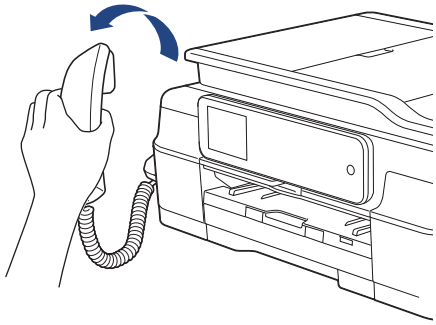
2 0わ～9らWXYZ を押して相手に電話をかける

通話が終わったら子機を充電器に戻します（または 切 を押します）。

電話を受ける

親機の場合

1 電話がかかってきたら、受話器を取って受ける

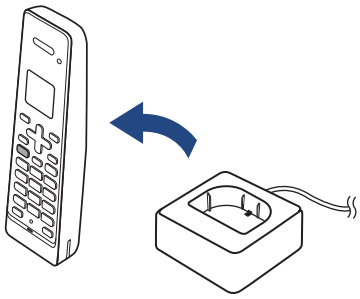


通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、外線 を押します。



通話が終わったら子機を充電器に戻します（または 切 を押します）。

電話帳からかける

［電話帳 / 短縮（親機）］

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

⇒ 120 ページ「親機の電話帳に登録する」
⇒ 123 ページ「子機の電話帳に登録する」

親機の場合

1 電話帳 **を押す**

2 電話をかける相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

> を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、【OK】を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

3 受話器を取り、【電話をかける】を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

子機の場合

1 子機を充電器から外す

2 を押す

3 で電話をかける相手を選ぶ

4 外線 **を押す**

選んだ相手に電話がかかります。

通話を保留にする

親機の場合

1 通話中に ♪保留/子機 **を押す**

保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

2 受話器を受話器台に戻す

3 通話に戻るときは、受話器を取る

子機の場合

1 通話中に 内線保留 **を押す**

保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

2 通話に戻るときは、 内線保留 **を押す**

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- 1 回の操作で録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- 録音できる通話数は最大 99 件、総録音時間は合計で 29 分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。
- 再生は、子機からもできます。

親機の場合

1 通話中に【録音】を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、✕ を押す

子機の場合

1 通話中に、子機の 留守/録音 を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、留守/録音、機能 確定、音質 クリア のいずれかを押す

録音した通話を再生 / 消去する

親機の場合

1 【メニュー】を押す

2 【留守録再生】を押す

未再生の会話録音データがあるときは、自動的に再生されます。

3 【会話録音】を押す

保存されている会話の一覧画面が表示されます。

4 (全件一括操作の場合)
▶ または 🗑 を押す
(1 件操作の場合)
操作対象のメッセージを選ぶ

- ▶ を選んだ場合：古いメッセージから順に再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。【消去】を押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。
- 🗑 を選んだ場合：【はい】を押すと、全ての会話がメモリーから消去されます。
- 操作対象 1 件を選んだ場合：再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。【消去】を押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

5 🏠 を押して操作を終了する

子機の場合

1 子機の 機能 確定 を押す

2 ✚で【再生 / 消去】を選び、機能 確定 を押す

3 ✚で【会話】を選び、機能 確定 を押す

4 ✚で【1件ずつ】または【全件】を選び、機能 確定 を押す

【1 件ずつ】を選ぶと記録されているメッセージの 1 件目の詳細が表示されます。
✚で操作の対象を選んで 機能 確定 を押してください。

5 ✚で【再生】または【消去】を選び、機能 確定 を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。切 を押すと再生を中止できます。
- 【消去】を選んだ場合：【消去 ? 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。1 あ を押して消去します。

6 切 を押して操作を終了する

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

親機の場合

(1) 受話器を取る

(2) 再ダイヤル/履歴 を押す

子機の場合

(1) 子機を充電器から外し、外線 を押す

(2) 発信履歴/P 文字 を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

親機の場合

(1) ファクス を押す

(2) 【履歴】を押す

(3) 【発信履歴】を押す

(4) ▼/▲ で画面を送り、かける相手を選ぶ

(5) 【電話をかける】を押す

(6) 受話器を取る

子機の場合

(1) 充電器から子機を取る

(2) 発信履歴/P 文字 を押す

(3) で相手先を選ぶ

(4) 外線 を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合のみ、使用できます。

親機の場合

(1) ファクス を押す

(2) 【履歴】を押す

(3) 【着信履歴】を押す

(4) ▼/▲ で画面を送り、かける相手を選ぶ

(5) 【電話をかける】を押す

(6) 受話器を取る

子機の場合

(1) 充電器から子機を取る

(2) キャッチ 着信履歴 を押す

(3) で相手先を選ぶ

(4) 外線 を押す

受話器を置いたままかける

親機の場合

(1) オンフック を押し、相手先の電話番号を押す

(2) 相手が出たら、受話器を取る

※途中で操作をやめるときやかけ直すときは、もう一度 オンフック を押します。

子機の場合

(1) スピーカーホン を押す

(2) 相手先の電話番号を押す

(3) 相手が出たら、マイクに向かって話す

※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器から取って話してください。

(4) 通話が終わったら、切 を押す

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に スピーカーホン を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、スピーカーホン を押す

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。
ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。
※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) 受話器を取り（子機の場合は 外線 を押し）、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、＊（子機の場合は ＊ トーン ）を押す

(3) サービスの指示に従って操作パネルまたは子機のダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する（子機のみ）

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に 音質 クリア を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2) 音質 クリア を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する（子機のみ）

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に 音質 クリア を約 2 秒押す

◆【内緒：ON】と表示されます。

※設定を解除するには、もう一度 音質 クリア を約 2 秒押します。

電話を取り次ぐ

親機から子機へ電話を取り次ぐ

親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

> 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは ♪保留/子機 を押します。

3 子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 を押します。

4 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置く

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機の内線番号について

子機の内線番号は、以下のように設定されています。

機種＼通話先	子機 1	子機 2	増設子機 2	増設子機 3	増設子機 4
MFC-J980DN	1	–	2	3	4
MFC-J980DWN		2	–		

子機から親機へ電話を取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に 内線保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で【親機】を選び、機能確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

> 親機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは 内線保留 を押します。

3 親機の受話器を取る

4 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて 切 を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ電話を取り次ぐ

子機を 2 台以上使用しているとき、子機で取った電話を別の子機に取り次ぐことができます。ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 子機 1 で通話中に 内線保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で【子機 2】を選び、機能確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

> 呼び出している子機 2 が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、内線保留 を押します。

3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 または 外線 を押します。

4 子機 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機 1 の 切 を押す

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。居間で自分が受けた電話を、自分の部屋の子機にまわすなど、ひとりで取り次ぎ操作を完結させたいときなどにも使えます。

親機から子機へ

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 親機の受話器を置く

3 子機を取り、外線 を押す

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ

1 通話中に 内線保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で【親機】を選び、機能確定 を押す

3 子機の 切 を押して、充電器に戻す

4 親機の受話器を取る

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ

例：「子機 1」で受け、「子機 2」に取り次ぐ場合

1 子機 1 で通話中に、内線保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✚で【子機 2】を選び、機能 確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 1 の 切 を押す

子機 2 の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。

4 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、外線 を押します。

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。

親機から子機へかける

1 受話器を取って、♪保留/子機 を押す

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 または 外線 を押します。

親機と子機で通話できます。

子機から親機へかける

1 子機を充電器から取り、内線保留 を押す

2 ✚ で【親機】を選び、機能確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の受話器を取る

親機と子機で通話できます。

内線通話中に外線がかかってきたときは、内線通話状態のまま親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して、もう一度受話器を取ると外線と電話がつながります。

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
⇒ 85 ページ「子機から子機へ電話を取り次ぐ」
ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例に説明します。

1 子機 1 を充電器から取り、内線保留 を押す

2 ✚ で【子機 2】を選び、機能確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 または 外線 を押します。

子機 1 と子機 2 で通話できます。

> 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す

親機と子機と外線の相手、または子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

> 外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。
>
> トリプル通話中は、保留はできません。

親機から子機を呼び出してトリプル通話（3 者通話）をする

1 親機で外線通話中に ♪保留/子機 を押す

通話が保留になります。

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 または 外線 を押します。

4 子機の相手に 3 人で話すことを伝えて、♪保留/子機 を押す

トリプル通話が始まります。

■二者間の外線通話に戻すときは
トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら受話器を受話器台に戻し、子機なら 切 を押してください。

子機から親機を呼び出してトリプル通話をする

1 子機で外線通話中に 内線保留 を押す

通話が保留になります。

2 ✚ で【親機】を選び、機能確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の受話器を取る

4 親機の相手に３人で話すことを伝えて、内線保留 を押す

トリプル通話が始まります。

■二者間の外線通話に戻すときは
トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら受話器を受話器台に戻し、子機なら 切 を押してください。

子機から別の子機を呼び出してトリプル通話をする

例：「子機 1」から「子機 2」を呼び出してトリプル通話をする場合

1 子機 1 で外線通話中に 内線保留 を押す

通話が保留になります。

2 ✚ で【子機 2】を選び、機能確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、内線保留 または 外線 を押します。

4 子機２の相手に３人で話すことを伝えて、内線保留 を押す

トリプル通話が始まります。

■二者間の外線通話に戻すときは
トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の 切 を押してください。

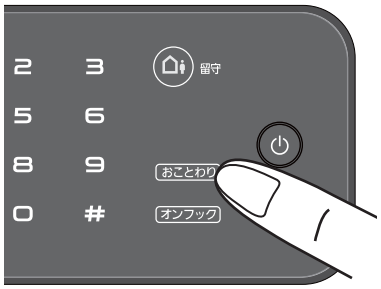
かかってきた電話を拒否する

通話前に電話を拒否する

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、次の手順で回線を切ることができます。

親機の場合

1 着信音が鳴っているときに、おことわり を押す



【おことわりしますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

子機の場合

1 着信音が鳴っているときに、充電器から取らずに子機の 機能確定 を押す

子機を充電器に置いていないときは、機能確定 を押します。

メニューが表示されます。

2 ✚で【おことわり】を選び、機能確定 を押す

「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 子機を充電器に戻す

通話中に電話を拒否する

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

親機の場合

1 通話中に、おことわり を押す

【おことわりしますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 受話器を受話器台に戻す

子機の場合

1 通話中に、子機の 機能確定 を押す

メニューが表示されます。

2 ✚で【おことわり】を選び、機能確定 を押す

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 子機を充電器に戻す

ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は
各電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信音を鳴らしたくない電話番号をあらかじめ本製品に登録して、着信拒否することもできます。 ⇒ 97 ページ「迷惑電話指定する」

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

- ご利用には別途、電話会社との契約（NTT の場合、「キャッチホン／キャッチホン II」）が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、画面に表示される【キャッチ】を押す（子機の場合は キャッチ 着信履歴 を押す）

- 別途、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。
  ⇒ 99 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、再度【キャッチ】（キャッチ 着信履歴）を押す

最初の相手に戻ります。

- 【キャッチ】（キャッチ 着信履歴）を押すたびに、通話の相手が切り替わります。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

- 親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、画面に表示される【キャッチ】を押す（子機の場合は キャッチ 着信履歴 を押す）

「ピーピー」という音が聞こえます。
先の相手との通話は保留になります。

2 再度【キャッチ】（キャッチ 着信履歴）を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度【キャッチ】（キャッチ 着信履歴）を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

お願い

■ 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 親機の【ファクス送受信】を押し、【受信】を押す（子機の場合は 機能 確定、【ファクス受信】、機能 確定 を順に押す）

ダイヤル入力画面のときは【スタート】を押し、【受信】を押します。

5 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す（子機の場合は、画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、充電器に戻す）

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する　オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合は、本製品でも当サービスの機能をご利用いただくことができます。電話会社と当サービスの契約をしていない場合、本製品は着信履歴に相手の番号を表示させることはできません。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示させることができる電話会社の有料サービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 本製品の設定だけでは、ナンバー・ディスプレイサービスは利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。なお、ナンバー・ディスプレイを利用する / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- 本製品は「ネーム・ディスプレイサービス」には対応していません。

ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能

ナンバー・ディスプレイサービスを契約し、本製品の設定を【あり】に設定しているときは、下記のような機能が利用できます。

●【あり】に設定されていれば使える機能
- 番号表示機能
- 名前と電話番号を含めた着信履歴を残す（「名前」表示は、本製品の電話帳に登録されている相手先に限る）

●【あり】に設定した上で、更に本製品の設定を必要とする機能
- 着信鳴り分け
- 非通知着信拒否
- 公衆電話拒否
- 表示圏外拒否
- キャッチホン・ディスプレイ（電話会社とキャッチホン機能のご契約が必要です）

お買い上げ時は、【ナンバーディスプレイ】は【あり】に設定されています。設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」

電話番号表示機能

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

親機
子機
外線着信 ブラザー太郎 04XXXXXXX

● その他の表示例
- 【非通知】
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
  公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

着信履歴を利用する

[着信履歴]

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴に相手の電話番号と（本製品の電話帳に登録した）名前を残すことができます。また、着信履歴は、過去の通話相手を見るだけでなく、見てそのまま電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。更に、着信履歴から、迷惑電話の相手として本製品に登録し、その後の着信を拒否することもできます。

着信履歴を見る

親機の場合

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) **【着信履歴】を押す**

◆最新の着信履歴が表示されます。

子機の場合

(1) キャッチ 着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ 82 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」
⇒ユーザーズガイド応用編 第 3 章「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する

(1) 記録紙をセットする

(2) 【メニュー】、【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

(3) 【OK】を押す

◆着信履歴が印刷されます。

(4) を押して操作を終了する

着信履歴を削除する（親機）

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) 【着信履歴】を押す

(3) ▼/▲で削除する着信履歴を選ぶ

(4) 【設定】を押す

(5) 【消去】を押す

◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(6) 【はい】を押す

◆指定した着信履歴を削除し、一つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。

(7) を押して操作を終了する

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

履歴を削除する（子機）

1 件のみ削除する場合

(1) 子機の 機能確定 を押し、で【着信履歴】または【発信履歴】を選び、機能確定 を押す

(2) で削除したい履歴を選び、機能確定 を押す

(3) で【1 件消去】を選び、機能確定 を押す

(4) 1あ を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押して操作を終了する

すべての履歴を削除する場合

(1) 子機の 機能確定 を押し、で【着信履歴】または【発信履歴】を選び、機能確定 を押す

(2) 機能確定 を押す

(3) で【全件消去】を選び、機能確定 を押す

(4) 1あ を押す

※子機で削除した履歴は親機には反映されません。

着信鳴り分けを設定する

[着信鳴り分け]

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、かけてきた相手によって着信音を変えることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **【あり】を押す**

4 **【着信鳴り分け】を押す**

5 **鳴り分けを設定したい電話番号を選ぶ**

> を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、【OK】を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

6 **【ファクス専用】または【電話鳴り分け】を選ぶ**

- 【ファクス専用】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【電話鳴り分け】
  設定した着信音で親機が鳴ります。

【電話鳴り分け】を選んだ場合⇒手順 7 へ

【ファクス専用】【迷惑番号指定】を選んだ場合
⇒手順 8 へ

【迷惑番号指定】については、下記をご覧ください。

⇒ 97 ページ「迷惑電話指定する」

7 **着信音を選び、【OK】を押す**

⇒ 55 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」

8 **を押して設定を終了する**

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 **機能確定を押し、で【鳴動音設定】を選び、機能確定を押す**

2 **で【2. 着信鳴分け】を選び、機能確定を押す**

> 着信音を選ぶ画面が表示されます。

3 **で着信音を選び、機能確定を押す**

⇒ 56 ページ「子機の着信音を選ぶ」

4 **切を押して設定を終了する**

> 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

迷惑電話指定する

[迷惑番号指定]

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から 100 件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。

- 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
- 親機を【迷惑番号指定】に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **【あり】を押す**

4 **【着信拒否】、【迷惑番号指定】を順に押す**

5 **メッセージを確認して、【OK】を押す**

6 **▼/▲で迷惑指定（または解除）する番号を選ぶ**

- を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、【OK】を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

7 **【迷惑番号指定】を押す**

8 **を押して設定を終了する**

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】のときは設定できません。

(1) 「迷惑電話指定する」（97 ページ）の手順 3 までを行う

(2) 【着信拒否】を押す

(3) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を選ぶ

(4) 【する】を押す

(5) を押して設定を終了する

- 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 98 ページ「着信拒否モニターを設定する」
- 拒否設定した相手から送られたファクスも受信しません。

着信拒否モニターを設定する

非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否した相手から電話がかかってきたとき、本製品から流れる着信拒否メッセージをスピーカーから聞くことができます。

スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器を取ると、電話に出ることができます。

(1) 「迷惑電話指定する」（97 ページ）の手順 ❸ までを行う

(2) 【着信拒否】を押す

(3) 【着信拒否モニター】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

(4) 【する】を押す

(5) を押して設定を終了する

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

ナンバー・ディスプレイ機能のオプションサービスとしてキャッチホン･ディスプレイ機能があります。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 99 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、NTT のサービスです。本製品はこの機能に対応しています。また、他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、【キャッチディスプレイ】は【なし】に設定されています。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ 52 ページ「キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する」

お願い

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」（⇒ 91 ページ「キャッチホンで電話を受ける」）と、「ナンバー・ディスプレイサービス」（⇒ 93 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）の両方を、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。（有料）
- ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。なお、キャッチホン・ディスプレイを利用する / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬とぎれます。
- 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

Memo

第 3 章

ファクス

基本

ファクスを送る 102
ファクス送信時の画面とボタンについて 102
ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る ... 103
原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき） 104
原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき） 105
電話帳を使ってファクスを送る 106
設定を変えてファクスするには 107
ADF（自動原稿送り装置）から文字の細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例） 109

ファクスを受ける 110
自動的に受ける 110
電話に出てから受ける 110
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 111
親切受信でファクスを受ける 111
親切受信を設定する 111

ファクスの見かた 112
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 112
みるだけ受信を設定する 112
新着ファクスを見る 112
必要なファクスのみを印刷する 113
すべてのファクスを印刷する 114
不要なファクスのみを消去する 114
すべてのファクスを消去する 114
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する） 115

ファクスの便利な受けかた 116
ファクスをメモリーで受信する 116
メモリー受信したファクスを印刷する 116
ファクスメッセージをメモリーから消去する 117
メモリー受信をやめる 117

通信管理

通信状態を確かめる 118
送信待ちファクスを確認・中止する 118

下記の機能については・・・

- 発信・着信履歴からの送信 / 手動送信 / 同報送信 / みてから送信 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / ポーリング送信
- 海外送信モード
- 自動縮小受信 / リモート受信 / ポーリング受信
- ファクス転送
- PC ファクス受信

応用編（CD-ROM）を参照

ファクスを送る

基本

ファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されていません。本書では、「みるだけ受信」を設定していない場合の手順を基本として操作説明をしています。

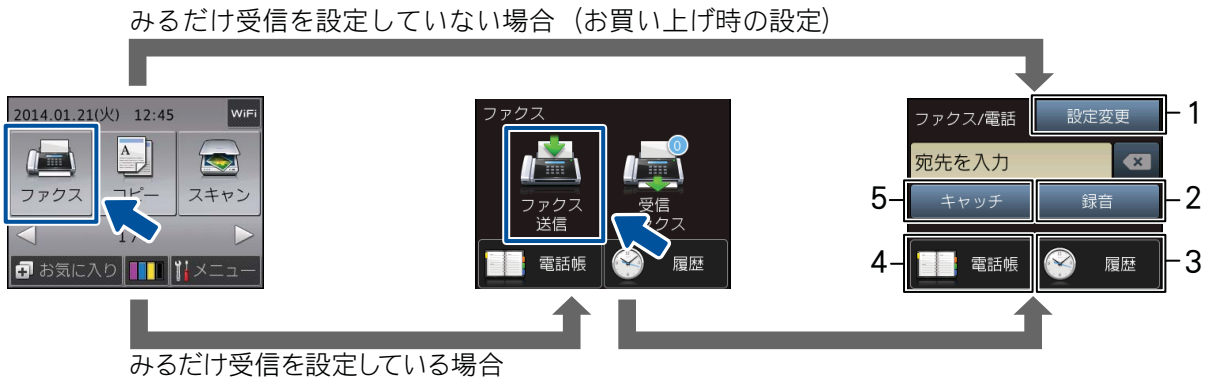
お願い

- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス）をすることができません。詳しくは、それぞれの操作説明をよくお読みください。

- 相手先のファクス機がカラー対応していない場合は、カラーで送信してもモノクロで受信されます。
- ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。

ファクス送信時の画面とボタンについて

ここでは、ファクス送信時に表示される画面情報やボタンについて説明します。



1	設定変更	画質や濃度、カラー設定の変更など、設定を変更するときに押します。 ⇒ 107 ページ「設定を変えてファクスするには」
2	録音	通話中の会話を録音するときに押します。 ⇒ 80 ページ「通話を録音する」
3	履歴	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
4	電話帳	すでに登録済みの電話帳のあて先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒ 106 ページ「電話帳を使ってファクスを送る」 ⇒ 120 ページ「電話帳に登録する」
5	キャッチ	キャッチホンで電話を受けるときに押します。 ⇒ 91 ページ「キャッチホンで電話を受ける」

ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る

[自動送信]

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 71 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」
⇒ 72 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 ファクス を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル/履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。
- 画質や濃度などを一時的に変更するときは、【設定変更】を押して設定します。カラーで送信する場合はカラーの設定が必要です。⇒手順 5 へ

モノクロで送信する場合

4 【スタート】を押す

原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

カラーで送信する場合

4 【設定変更】を押す

5 【カラー設定】を押し、【カラー】を選ぶ

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

6 【OK】を押す

7 【スタート】を押す

相手につながってから原稿の読み取りが開始されます。

送信する前にファクスを中止するには

ダイヤル中または送信中に、✕ を押してください。
※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスを中止するには

ファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは 5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は次のように行います。
モノクロ送信の場合は、ファクスデータはメモリーに蓄積されます。【メニュー】、【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【通信待ち一覧】を選んで送信を中止します。（118 ページ）再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。
カラー送信の場合は、画面に【再ダイヤル待機中】と表示されます。✕ を押してメッセージを閉じると再ダイヤルが中止されます。この場合、通信レポートは印刷されません。
※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。
※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する」

原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）

［自動送信］

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 72 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル／履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。
- 画質や濃度などを一時的に変更するときは、【設定変更】を押して設定します。カラーで送信する場合はカラーの設定が必要です。⇒手順 5 へ

モノクロで送信する場合

4 【スタート】を押す

原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わり、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されたら、【いいえ】を押してください。

カラーで送信する場合

4 【設定変更】を押す

5 【カラー設定】を押し、【カラー】を選ぶ

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

6 【OK】を押す

7 【スタート】を押す

【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。

8 【はい（カラー送信）】を押す

送信する前にファクスを中止するには

ダイヤル中または送信中に、✕ を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスを中止するには

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】、【全てのメニュー】、【ファクス/電話】、【通信待ち一覧】を選んで中止します。（118 ページ）

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する」

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

［自動送信］

モノクロでファクスを送る場合に限り、原稿台ガラスからも複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。ADF（自動原稿送り装置）が使用できない原稿を送る場合に使用します。（⇒ 71 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項」）

お願い

- リアルタイム送信を【する】にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を【しない】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
- カラーで複数枚送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用してください。
  ⇒ 103 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る」

1）1 枚目の原稿を読み込む

1 原稿台ガラスに 1 枚目の原稿をセットする

⇒ 72 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル／履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。
- 【設定変更】を押すと、画質や濃度など、一時的に設定を変更することもできます。ただし、【カラー設定】は【モノクロ】でご利用ください。

4 【スタート】を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

6 原稿台ガラスに 2 枚目の原稿をセットして、【OK】を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合 ⇒手順 7 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

7 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 5、6 を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押す

ファクスが送られます。

送信・印刷中の次の原稿の読み取り（デュアルアクセス）について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号が表示されます。
※【カラー設定】を【カラー】にしている場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

電話帳を使ってファクスを送る

【電話帳】

あらかじめ電話帳にファクス番号を登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 原稿をセットする

⇒ 72 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【電話帳】を押す

4 ファクスを送る相手を選ぶ

目的の宛先が表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

> を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、【OK】を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

5 【ファクス送信】を押す

6 【スタート】を押す

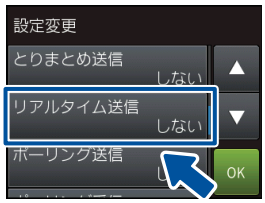
設定を変えてファクスするには

ファクス送信時、画面に表示されている【設定変更】から、ファクスを送るときの設定が変更できます。

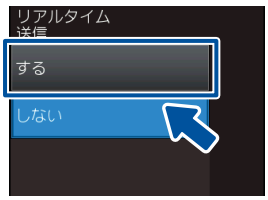
例：リアルタイム送信

【設定変更】を押す

▲/▼ を押して
【リアルタイム送信】を押す



設定値を選ぶ



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。
※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。
※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
  原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) 同報送信

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、電話帳・グループダイヤルから指定できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(4) みてから送信

ファクス送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「内容を確認してから送る」

(5) カラー設定

ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。

(6) タイマー送信
24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「時間を指定して送る」
(7) とりまとめ送信
タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と送信時刻が同じものを、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信にまとめる」
(8) リアルタイム送信
すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
(9) ポーリング送信
本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクス機を使って、その原稿を自由に取り出すことができます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手の操作で原稿を送る」
(10) ポーリング受信
本製品から操作して、相手側のファクス機にセットされた原稿を受けます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
(11) 海外送信モード
海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「海外へ送る」
(12) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(13) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

ADF（自動原稿送り装置）から文字の細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例）

ADF（自動原稿送り装置）から文字の細かい原稿をカラーでファクス送信する手順を例にして説明します。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 71 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」

2 ファクス を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

4 【設定変更】を押す

1）ファクス画質を設定する

5 【ファクス画質】を押す

6 【ファイン】を押す

2）原稿濃度を設定する

7 【原稿濃度】を押す

8 【自動】を押す

3）カラー設定を設定する

9 ▼/▲を押して画面を送り【カラー設定】を押す

10 【カラー】を押す

11 【OK】を押す

12 【スタート】を押す

ファクスを受ける

本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。
また、電話・ファクスの受け方を用途に合わせて設定することができます。
⇒ 46 ページ「電話・ファクスの受けかたを変更する」

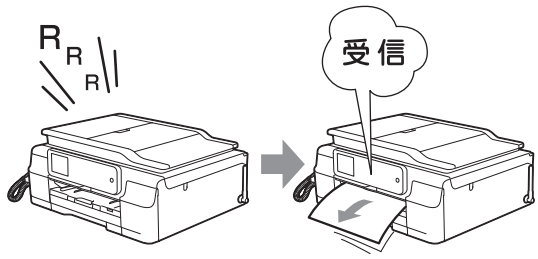
お願い

■ カラーインクのいずれかが残り少なくなり、画面に【まもなくインク切れ】と表示されると、カラーファクスはモノクロで印刷されます。カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。
⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」

自動的に受ける

[自動受信]

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にメモリーに受信します。受信したファクスは、画面または記録紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されていないため、記録紙で確認します。



お願い

■ 着信音を鳴らさずにファクスを受信したい場合は、「ファクス無鳴動受信」を設定してください。
⇒ 49 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）」

■ 在宅モードで呼出ベル回数を【無制限】に設定しているときは自動的に受信しません。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」

電話に出てから受ける

[手動受信]

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

2 「ポーポー」と音がしていたら、親機の画面で【ファクス送受信】を押す

コピーやスキャンなど他の機能を使用しているときは、を押して【ファクス送受信】を表示させます。

> 通話中にファクスを受信するときは、【ファクス送受信】を押します。いったんファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。

3 【受信】を押す

4 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

> 親切受信（⇒ 111 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」）が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

[親切受信]

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話に出たときにファクスであれば、受話器または子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。

親切受信でファクスを受ける

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま 7 秒待つ

約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。

3 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

お願い

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。

- ファクスの受信が始まったら受話器または子機を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
  ⇒ 110 ページ「電話に出てから受ける」
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
  ⇒ 110 ページ「電話に出てから受ける」
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
  ⇒ 110 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【する】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

3 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
  親切受信をします。
- 【しない】：
  親切受信をしません。

4 を押して設定を終了する

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

［みるだけ受信］

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【しない（受信したら印刷）】に設定してください。お買い上げ時は、【しない（受信したら印刷）】に設定されています。

お願い

- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。
- 【みるだけ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。画面で確認できない場合は、印刷されていないかどうかを確認してください。

みるだけ受信を設定する

1 【メニュー】を押す

2 【みるだけ受信】を押す

3 【する（画面で確認）】を押す

【みるだけ受信を［する（画面で確認）］にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 メッセージを確認して、【はい】を押す

【受信したファクスはメモリに保存され画面で確認できます　印刷はされませんがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 メッセージを確認して、【はい】を押す

6 を押して設定を終了する

新着ファクスを見る

みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示されます。

1 【新着ファクス：XX】が表示されたら、【確認】を押す

2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
▼/▲	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
/	拡大 / 縮小表示します。
/	前のページ/次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 114 ページ「不要なファクスのみを消去する」
	ファクスを印刷します。 ⇒ 113 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見たいときは

(1) ファクス を押す

(2) 【受信ファクス】を押す

(3) 確認したいファクスを選ぶ

◆目的のファクスが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

(4) 新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する

必要なファクスのみを印刷する

1 印刷したいファクスが画面に表示された状態で を押す

- 見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。3 に進んでください。
- 見ているファクスが複数ページあるときは、2 に進んでください。

2 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する

- すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、3 に進みます。
- 見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、4 に進みます。
- 見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、4 に進みます。

3 ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

4 を押す

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 **を押す**

2 **【受信ファクス】を押す**

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 **【印刷 / 消去】を押す**

4 **【全て印刷 (新着ファクス)】または【全て印刷 (既読ファクス)】を押す**

【全て印刷 (新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

5 **を押して操作を終了する**

不要なファクスのみを消去する

1 **消去したいファクスが画面に表示された状態で、を押す**

【全てのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 **【はい】を押す**

ファクスのデータが消去されます。

3 **を押して操作を終了する**

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 **を押す**

2 **【受信ファクス】を押す**

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 **【印刷 / 消去】を押す**

4 **【全て消去 (新着ファクス)】または【全て消去 (既読ファクス)】を押す**

【全て消去 (新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 **【はい】を押す**

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

6 **を押して操作を終了する**

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

[みるだけ受信]

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

お願い

- みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
  ⇒ 113 ページ「必要なファクスのみを印刷する」
  ⇒ 114 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。また、【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。

1 【メニュー】を押す

2 【みるだけ受信】を押す

3 【しない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。⇒手順 7 へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ
【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。ここで操作は終了です。⇒手順 7 へ

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

7 を押して操作を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【しない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。
※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
※メモリー代行受信できるのは約 320 枚です。

ファクスの便利な受けかた

ファクスをメモリーで受信する

［メモリ保持のみ］

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
なお、【メモリ保持のみ】は、いったん設定すると、【メモリ受信】を【オフ】（お買い上げ時の設定）にするまで有効です。【メモリ保持のみ】に設定する前の状態に戻すには、下記をご覧ください。
⇒ 117 ページ「メモリー受信をやめる」

- 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】に設定すると、ファクスデータは本製品のメモリーに記憶されるとともに、自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】は、【ファクス転送】【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
- 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【メモリ保持のみ】を押す

4 を押して設定を終了する

- メモリー受信は最大 99 件で 320 枚までできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 3 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

［ファクス出力］

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ファクス出力】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【OK】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

4 を押して設定を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。
- 【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定しているときに、未転送のファクスがある場合：【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去され、メモリー受信の設定が解除されます。
みるだけ受信を設定していない場合、今後、受信ファクスは本製品のメモリーに保存されなくなります。必要に応じて、再度【メモリ受信】を設定してください。

5 を押して操作を終了する

メモリー受信をやめる

[オフ]

いったん設定したメモリー受信をやめ、通常のファクス受信方法に戻す場合は、次の手順で行います。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

みるだけ受信を設定していない場合は、以下のメッセージが表示されることがあります。
- 【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定しているときに、未転送のファクスがある場合：【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。
メモリー受信の設定が解除されます。

5 を押して設定を終了する

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・中止する

［通信待ち一覧］

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。
・確認を終了するとき⇒手順 5 へ
・送信をやめたいとき⇒手順 3 へ

3 送信をやめるファクスを選び、【停止】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

送信が中止されます。

5 を押して設定を終了する

第４章

電話帳

電話帳

親機の電話帳に登録する 120
電話帳に登録する 120
親機の電話帳を子機へ転送する 122
電話帳リストを印刷する 122

子機の電話帳に登録する 123
電話帳に登録する 123

下記の機能については・・・
- 発信・着信履歴から親機または子機の電話帳に登録する
- ファクス送付先をグループ登録する（親機）
- 子機の電話帳から親機に転送する
- パソコンから電話帳に登録 / 編集する（リモートセットアップ）

応用編（CD-ROM）を参照

親機の電話帳に登録する

電話帳

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを電話帳に登録します。
さらに、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、相手先に応じた着信音の鳴り分けや、着信拒否などを設定できます。（⇒ 93 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」

- 「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「パソコンを使って電話帳に登録する」
- 転送機能を使用して、子機の電話帳の内容を親機に送ることもできます。
  ⇒ユーザーズガイド応用編 第 3 章「子機の電話帳を親機へ転送する」

電話帳に登録する

[電話帳登録]

相手先の電話（またはファクス）番号と名称を、最大 100 件× 2 番号に登録します。

お願い

- 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
  ⇒ 122 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 電話帳 を押す

2 【設定】を押す

3 【電話帳登録】を押す

4 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 228 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。（最大 16 文字）

5 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。

- 読みがなを編集する場合⇒手順 6 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 7 へ

6 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す

7 【宛先 1】を押して、画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す

電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。電話・ファクス番号のカッコやハイフンは登録できません。

- 数字：0 ～ 9
- 記号：＊、#
- スペース：▶ を押す
- ポーズ（p）：約 3 秒の待ち時間（画面には「p」と表示）

> 同様の手順で【宛先 2】を押すと、2 つめの番号を登録することができます。

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 を押して登録を終了する

> 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷すると確認できます。
> (⇒ 122 ページ「電話帳リストを印刷する」)

電話帳から電話をかける

⇒ 79 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

(1) 「電話帳に登録する」（120 ページ）の手順 ❸ で、【変更】を押す

(2) 変更したい相手先を選ぶ

(3) 変更したい項目を選ぶ

(4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す

複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返します。

(5) 【OK】を押す

◆変更した内容が反映されます。

(6) を押して設定を終了する

電話帳の内容を削除するには

(1) 「電話帳に登録する」（120 ページ）の手順 ❸ で【消去】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

(2) 消去したい相手を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

◆選んだ番号が削除されます。

(4) を押して設定を終了する

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A) 「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。

例）

○ 186 XXX XXX XXXX

（市外局番）（市内局番）（相手先番号）

× 186 XXX XXXX

（市内局番）（相手先番号）

(B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合

“0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+国番号+ポーズ+市外局番+電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）+010+国番号+ポーズ+市外局番+電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

親機の電話帳を子機へ転送する

［子機に転送］

お願い

■ 親機の電話帳を子機へ転送するときは、充電器に子機を置いた状態で操作してください。また、転送が終わるまでは、充電器から子機をとらないでください。

1 電話帳 を押す

2 【設定】を押す

3 【子機に転送】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

子機に転送する相手先を選ぶ画面が表示されます。
子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンの 1 ～ 4 を押して子機を選ぶと、相手先を選ぶ画面が表示されます。

4 子機に転送する相手先を選び、【OK】を押す

一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

【選択した電話帳を子機に転送します　転送中は電話が使えません　よろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

電話帳が転送されます。
引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 4、5 を繰り返してください。

6 を押して操作を終了する

電話帳リストを印刷する

［電話帳リスト］

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【電話帳リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

電話帳リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、 を押す

子機の電話帳に登録する

電話帳には 100 件まで登録できます。

転送機能を使用して、親機の電話帳の内容を子機に送ることもできます。
⇒ 122 ページ「親機の電話帳を子機へ転送する」

電話帳に登録する

1 **を押す**

2 **で【電話帳登録】を選び、確定を押す**

3 **名前を入力し、確定を押す**

名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 230 ページ「子機」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。（最大 16 文字）

4 **自動入力された読み仮名が、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、確定を押す**

5 **電話番号を入力し、確定を押す**

電話番号は 20 桁まで入力できます。
（数字、＊、＃、P（ポーズ）のみ。）

電話番号が登録されます。

6 **切を押して登録を終了する**

ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ 96 ページ「電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）」

「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 121 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳の内容を変更するには

(1) を押す

(2) で変更したい電話帳データを選び、確定を押す

(3) で【変更】を選び、確定を押す

(4) 「電話帳に登録する」（123 ページ）の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する

※ 変更しない項目は、確定を押すと次の手順へ進むことができます。

(5) 切を押して設定を終了する

電話帳の内容を削除するには

(1) を押す

(2) で削除したい電話帳データを選び、確定を押す

(3) で【消去】を選び、確定を押す

(4) 1あを押す

◆選んだ電話帳データが削除されます。

(5) 切を押して設定を終了する

Memo

第５章

留守番機能

留守番機能

留守番機能を設定する 126
　留守番機能で設定できること 126
　メッセージの録音時間を設定する 127
　応答メッセージを録音する 127
　留守録モニターを設定する 128

出かけるとき 129
　留守番機能をセットする 129
　留守応答メッセージを選ぶ 129

帰ってきたとき 130
　留守番機能を解除する 130
　メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する ... 130
　　親機の場合 130
　　子機の場合 131

下記の機能については・・・

■ 外出先から本製品を操作する（リモコンアクセス）
■ 外出中に届いたファクスを外出先に転送する / 留守録メッセージを外出先で聞く

応用編（CD-ROM）を参照

留守番機能を設定する

留守番機能

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定をすることができます。

留守番機能で設定できること

● メッセージの録音時間

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定することができます。
⇒ 127 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● 留守応答メッセージ

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音することができます。
⇒ 127 ページ「応答メッセージを録音する」
また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。
⇒ 129 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話しください。ファクスの方はそのまま送信してください。」と録音されています。

● 在宅応答メッセージ

在宅応答メッセージとは、留守モードにセットされていないときの着信メッセージです。次の設定下で、かかってきた電話に応答します。
・留守モードに設定されていない
・再呼び出しあり（ファクス専用・電話専用の設定ではない）
本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージが録音されていますが、自分の声で録音して既存のメッセージと入れ替えることができます。
⇒ 127 ページ「応答メッセージを録音する」

> 在宅時の応答メッセージは、再呼出の設定（51 ページ）で、【再呼出ベル設定】を【オン（電話呼び出し）】、【再呼出方法】を【相手にメッセージ】にすると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● 呼出ベル回数

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定することができます。
⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」

● 留守録モニター

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。
⇒ 128 ページ「留守録モニターを設定する」

メッセージの録音時間を設定する

[録音時間]

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの録音時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 秒】に設定されています。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【録音時間】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **録音時間を選ぶ**

【0 秒（応答メッセージのみ）／ 30 秒／ 60 秒／ 120 秒／ 180 秒】から選びます。

【0 秒（応答メッセージのみ）】に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。
⇒ 127 ページ「メッセージの録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意」

4 **を押して設定を終了する**

メッセージの録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意

【0 秒（応答メッセージのみ）】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話しください。ファクスの方はそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。
録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけなおしください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。
⇒ 127 ページ「応答メッセージを録音する」
⇒ 129 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

応答メッセージを録音する

[応答メッセージ]

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて 2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音することができます。

● 留守応答 1、留守応答 2

留守番機能がセットされている場合で電話に出られない場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話しください。ファクスの方はそのまま送信してください。」

● 在宅応答

留守番機能がセットされていない状態で、電話とファクスの両方を使う設定にしている場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」

- 留守応答メッセージは、留守モード設定時にメッセージを選ぶことができまが、在宅応答メッセージは、いったん録音すると、お買い上げ時のメッセージを使用することはできなくなります。
- メッセージは何度でも録音し直すことができます。
- 応答メッセージは、子機側で録音することもできます。
⇒ 251 ページ「機能ボタン」

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【応答メッセージ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **設定したい応答メッセージを選ぶ**

【留守応答 1 ／留守応答 2 ／在宅応答】から選びます。

4 **【応答録音】を押す**

5 受話器を取り、【OK】を押してメッセージを録音する

6 録音が終わったら受話器を受話器台に戻す

今録音した内容が自動的に再生されます。

7 別の録音を続ける場合は、手順 3 ～ 6 を繰り返す

8 を押して設定を終了する

応答メッセージを削除する
(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 4 で、【応答消去】を押す ◆【応答を消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。 (2) 【はい】を押す (3) を押して設定を終了する ◆応答メッセージが消去されます。 ※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する
(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 4 で、【応答再生】を押す ◆応答メッセージが再生されます。 ※メッセージ再生中に を押すと、再生を中止します。 (2) を押して操作を終了する

留守録モニターを設定する

[留守録モニター]

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

- モニター中の音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
  ⇒ 53 ページ「親機の音量を設定する」
- 留守録モニターは、子機側で設定することもできます。
  ⇒ 251 ページ「機能ボタン」

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録モニター】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【する】または【しない】を選ぶ

4 を押して設定を終了する

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 留守 を押す

留守応答メッセージが再生されます。

留守 が点灯し、留守モードになります。

- 留守番機能を解除するときは、もう一度 留守 を押します。
- 留守番機能のセットは、子機側で設定することもできます。
  ⇒ 39 ページ「操作パネル（子機）」－「留守 / 録音ボタン」

留守応答メッセージを選ぶ

自分で録音した応答メッセージがある場合は、応答メッセージを選ぶことができます。

1 留守 を押し、応答メッセージを再生させる

留守モードのとき（ボタンが点灯しているとき）は、いったん 留守 を押し、再度 留守 を押してください。

2 メッセージ再生中に、◀◀ または ▶▶ で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【応答再生／応答再生 1／応答再生 2】から選択します。

- 【応答再生】：
  あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【応答再生 1】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【応答再生 2】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さないかぎり有効です。

- 応答メッセージが登録されていない場合、◀◀ または ▶▶ を押すことはできません。
- メッセージ再生中に ✕ を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。
- 留守応答メッセージは、子機側で選ぶ事もできます。
  ⇒ 251 ページ「機能ボタン」

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、留守が点滅しています。

1 **留守を押す**

留守が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

> 留守番機能のセットは、子機側で設定することもできます。
> ⇒ 39 ページ「操作パネル（子機）」－「留守 / 録音ボタン」

メモリー内の留守録メッセージを再生 / 消去する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生 / 消去できます。

親機の場合

1 **【メニュー】を押す**

2 **【留守録再生】を押す**

新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが自動的に再生されます。

3 **【留守録】を押す**

保存されているメッセージの一覧画面が表示されます。

4 **（全件一括操作の場合）▶ または 🗑 を押す**
（1 件操作の場合）
操作対象のメッセージを選ぶ

- ▶ を選んだ場合：古いメッセージから順に再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。【消去】を押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。
  全件再生中の操作について詳しくは、下記をご覧ください。
  ⇒ 130 ページ「音声メッセージを確認する」
- 🗑 を選んだ場合：【はい】を押すと、全留守録メッセージがメモリーから消去されます。
- 操作対象 1 件を選んだ場合：再生が始まります。✕ を押すと再生を中止できます。【消去】を押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

音声メッセージを確認する

(A) **再生中のメッセージを聞き直すとき**

◀◀ を押す。

◆再生中のメッセージの最初に戻ります。

※ ◀◀ を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。
◀◀ は、ゆっくり押してください。

(B) **次のメッセージを聞くとき**

▶▶ を押す。

ファクスが届いているとき

「みるだけ受信」で受信した新着ファクスがあるときは、画面に【新着ファクス：XX】が表示されます。
【確認】を押して、受信したファクスの内容を確認できます。
⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

子機の場合

1 子機の 機能確定 を押す

2 ✚で【再生 / 消去】を選び、機能確定 を押す

3 ✚で【留守】を選び、機能確定 を押す

4 ✚で【1 件ずつ】または【全件】を選び、機能確定 を押す

【1 件ずつ】を選ぶと留守録メッセージの 1 件目の詳細が表示されます。✚で操作の対象を選んで 機能確定 を押してください。

5 ✚で【再生】または【消去】を選び、機能確定 を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。切 を押すと再生を中止できます。
- 【消去】を選んだ場合：【消去 ? 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。1あ を押して消去します。

音声メッセージを確認する

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

✚ を押す。

◆再生中のメッセージを頭出しします。

※ ✚ を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージを頭出しします。

(B) 次のメッセージを聞くとき

✚ を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に 機能確定 または 切 を押す。

◆再生 / 消去メニューに戻ります。

ファクスが届いているとき

新着ファクス が点滅しているときは、ファクスを受信しています。親機で確認してください。

⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

Memo

第 6 章

コピー

基本

コピーに関するご注意 134

コピーする 135

コピーモード時の画面とボタンについて 135

コピーする 135

設定を変えてコピーするには 136

L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例） 138

下記の機能については・・・

■ スタック・ソートコピー / レイアウトコピー / 両面コピー

■ インク節約モード / 裏写り除去コピー / ブックコピー / 透かしコピー

応用編（CD-ROM）を参照

コピーに関するご注意

基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

● **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● **著作権のあるもの**
- 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● **その他注意を要するもの**
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

● **記録紙について**
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

● **原稿について**
- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
  ⇒ 71 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」

● **スキャナー（読み取り部）について**
- スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
  ⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

> 原稿の読み取り範囲について
> ⇒ 71 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

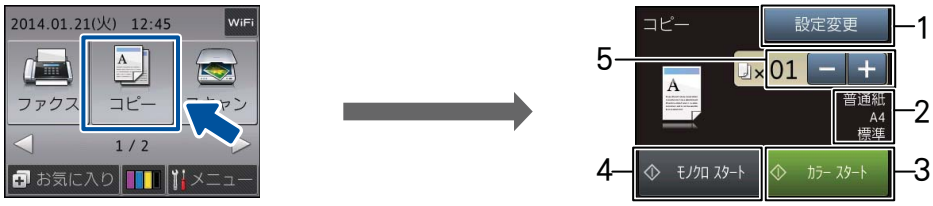
モノクロまたはカラーでコピーします。画質や濃度を変更したり、いろいろなコピーをすることができます。

お願い

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

コピーモード時の画面とボタンについて

ここでは、コピーモードで表示される画面情報やボタンについて説明します。



1	設定変更	コピー画質や記録紙の種類など、さまざまな設定を変更できます。 ⇒ 136 ページ「設定を変えてコピーするには」
2	コピー設定情報	現在、設定されている、コピーの設定情報が表示されます。表示される設定情報は次のとおりです。 記録紙タイプ、記録紙サイズ、コピー画質
3	カラー スタート	カラーでコピーします。
4	モノクロ スタート	モノクロでコピーします。
5	コピー部数表示 / 設定	コピーする部数が表示されます。【−】、【+】を押すと 1 部ずつ部数が増減します。 部数表示部分を押して表示されるテンキーからも部数の入力ができます。

コピーする

原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 72 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 136 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

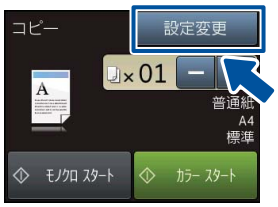
途中でコピーを中止するには、✕ を押してください。

設定を変えてコピーするには

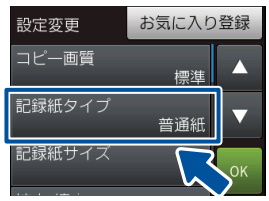
、【設定変更】を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容はコピー後に元に戻りますが、そのままの内容で記憶させておいたり、お気に入りとして登録することもできます。
⇒ 58 ページ「お気に入りを登録する」

例：記録紙タイプ

【設定変更】を押す



【記録紙タイプ】を押す



設定値を選ぶ

(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。
- 【高速】
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。
※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」（⇒ 137 ページ）では、時間がかかることがあります。
※【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。

(2) 記録紙タイプ

使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(3) 記録紙サイズ

使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

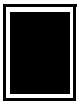
(4) 拡大 / 縮小

倍率を変更してコピーします。
【等倍 100%】
【拡大】
- 【240% L 判 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ ⇒ A4】
- 【141% A5 ⇒ A4】
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【113% L 判 ⇒ ハガキ】*1

【縮小】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【46% A4 ⇒ ハガキ】
- 【40% A4 ⇒ L 判】

【用紙に合わせる】*2
【カスタム（25-400%）】*3

拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。
*1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。



*2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。
【用紙に合わせる】は次のような制約があります。
- ADF（自動原稿送り装置）は使用できません。原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
- 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。

*3 画面に表示されているテンキーや操作パネルのダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。

(5) コピー濃度
コピーの濃度が調整できます。中央を基準に左にいくほど薄く、右にいくほど濃くなります。濃さを示したアイコンを直接押します。
(6) スタック / ソート
複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「スタック / ソートコピーする」
(7) レイアウト コピー
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「レイアウトコピーする」
(8) 両面コピー
原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により、うら面のコピー方向が選べます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」
(9) 便利なコピー設定
その他のいろいろなコピーができます。 • インク節約モード 文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「インクを節約してコピーする」 • 裏写り除去コピー コピー時の裏写りを軽減します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「コピー時の裏写りを抑える」 • ブックコピー 原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ブックコピーする」 • 透かしコピー コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「コピーに文字を重ねる」 • 地色除去コピー 原稿の下地（背景）の色を除いてコピーします。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「原稿の地色を除去してコピーする」
(10) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(11) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。
(12) お気に入り登録
設定変更をしたあとで、【お気に入り登録】を押すと、現在の設定がお気に入りとして登録できます。

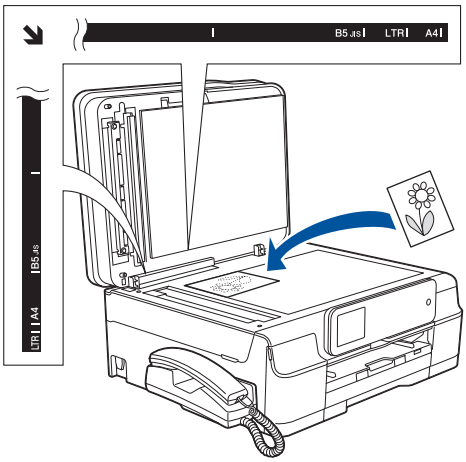
L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3 原稿台カバーを閉じる

4 を押す

5 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

6 【設定変更】を押す

1）コピー画質を設定する

7 【コピー画質】を押す

8 【高画質】を押す

2）記録紙タイプを設定する

9 【記録紙タイプ】を押す

10 【その他光沢】を押す

3）記録紙サイズを設定する

11 【記録紙サイズ】を押す

12 【ハガキ】を押す

4）拡大・縮小率を設定する

13 【拡大 / 縮小】を押す

14 【拡大】を押す

15 【113% L 判 ⇒ ハガキ】を押す

5）コピー濃度を設定する

16 【コピー濃度】を押す

17 目的の濃度を選ぶ

18 【OK】を押す

19 【カラー スタート】を押す

第 7 章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする前に 140
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 141
動画プリントについて 143

写真をプリントする 144
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする 144
設定を変えてプリントするには 146
L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例） 148

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 149
PictBridge とは 149
デジタルカメラで行う設定 149
写真をプリントする 150

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する 151
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 151

下記の機能については・・・

- まとめてプリント
- インデックスプリント / 番号指定プリント
- こだわり印刷
- 証明写真プリント
- スライド表示

応用編（CD-ROM）を参照

写真をプリントする前に

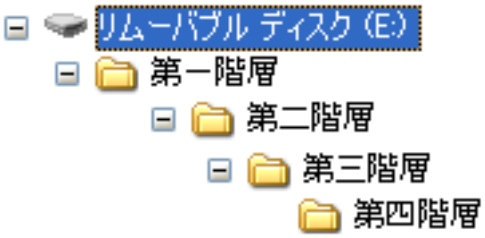
デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

お願い

- L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
  ⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式には対応していません。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。

- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。）
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられたファイルは、インデックスプリント（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- 本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 4 階層目までのフォルダーに入っている画像しか認識しません。5 階層目以下にある写真をプリントするときは、パソコンでフォルダー階層を上げて保存し直すか、パソコンからのプリントに切り替えてください。



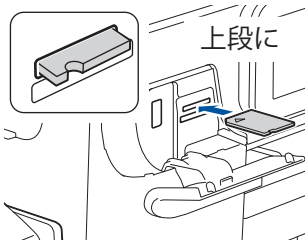
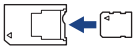
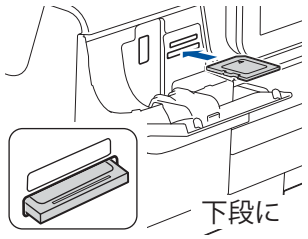
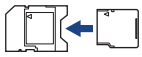
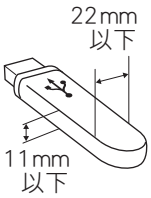
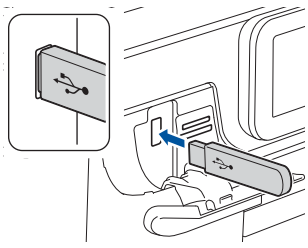
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- Macintosh の場合、OS によっては、本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンがデスクトップに表示されます。アイコンがデスクトップに表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったん［ゴミ箱］に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 メディアスロットカバーを開く

2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーに対応しています。

種類	セットする位置
• メモリースティック デュオ ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）	
• メモリースティック マイクロ ™（M2™）（最大 32GB）  アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • SDXC メモリーカード（最大 128GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）	
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	 アダプターが必要です
• USB フラッシュメモリー（最大 64GB）	 

重 要

- ■ メモリーカードは 1 枚だけしか読み取れません。2 枚挿入すると破損の恐れがあります。使用するメモリーカードのみを挿入してください。
- ■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- ■ アクセス中は、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

お願い

- ■ メモリーカードと USB フラッシュメモリーを両方挿入しても、最初に挿入した記録メディアしか読み込みません。使用する記録メディアのみを挿入するようにしてください。

- データが認識されないときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが破損していないかどうかを、記録した機器に戻して確認してください。
- 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

アクセスが終了していることを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

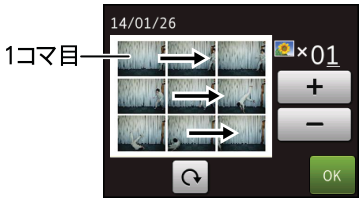
パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（メモリーカードアクセス）

本製品とパソコンが USB 接続されている場合は、本製品にセットした USB フラッシュメモリーまたはメモリーカードを、パソコンから［リムーバブル ディスク］として利用することができます。
また、ネットワーク接続であっても、パソコンから本製品経由でアクセスする方法があります。本製品にセットしたメディアにパソコンからアクセスする方法について詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の記録紙にプリントすることができます。

写真と共に保存されている動画も表示されます



印刷設定画面

出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 144 ページ「写真をプリントする」

- 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- 分割したコマの中に出力に適さない（部分的に壊れている）データがある場合は、そのコマのみ白紙になります。
- 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。

  使用できないデータは、? と表示されます。
- 動画は日付プリントができません。

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスし、【PC接続中】と表示されている間はデジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

[かんたん印刷]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

⇒141ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、を押し、待ち受けから◀/▶で画面を送りを押します。

⇒手順4へ

3 【デジカメプリント】を押す

4 【かんたん印刷】を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。

画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

◀/▶を長押しすると目的の写真を早く表示できます。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、【全選択】を押し、【全ての写真選択枚数を1枚にしますか？】と表示されたら、【はい】を押します。100枚目までの画像をすべて1枚プリントするように設定できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第6章「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

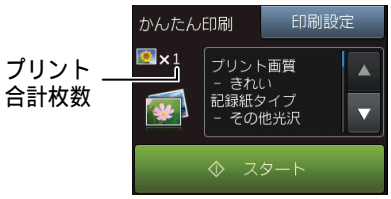
6 【+】/【−】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。

を押すたびに90°ずつ右回りに回転します。

7 手順5、6を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



【印刷設定】を押すと、画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。

【印刷設定】を押して、日付印刷を【する】に設定すると撮影された日付をプリントします。
⇒ 146 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）[*1] を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。メディアをセットしたまま、ほかのモードで使用していた場合は、いったんメディアを抜いてください。

(1) **メディアスロットカバーを開く**

(2) **DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む**

(3) **【DPOF】を押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

(4) **【印刷設定】を押す**

◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(5) **【記録紙サイズ】を押す**

(6) **記録紙サイズを選ぶ**

◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。
設定を変更したら、【OK】を押して手順 (7) に進んでください。

(7) **【スタート】を押す**

◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

[*1] デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF から動画のプリントはできません。

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。【印刷設定】で変更できる項目は、デジカメプリントモードの機能によって異なります。設定できない項目は、キーの色が灰色表示されます。詳しくは、⇒ 249 ページをご覧ください。

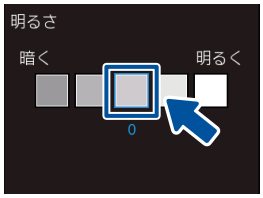
ここでは、すべての【印刷設定】の項目について説明しています。

例：明るさ

【印刷設定】を押す

▲ / ▼ を押して
【明るさ】を押す

設定値を選ぶ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

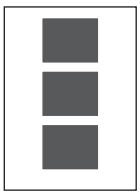
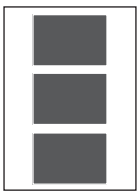
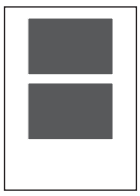
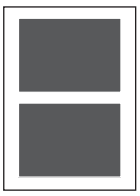
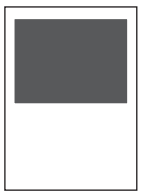
※DPOF を使用していない場合に設定できます。
※【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷
					

(4) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(5) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。中央を基準に左にいくほど暗く、右にいくほど明るくなります。明るさを示したアイコンを直接押します。

(6) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。中央を基準に左にいくほど明暗比が弱く、右にいくほど明暗比が強くなります。強弱を示したアイコンを直接押します。

(7) 画質強調

(1) ▼/▲を押して画面を送り、【画質強調】を押す

(2) 【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

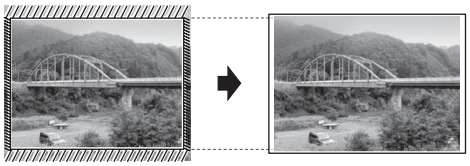
(6) 【OK】を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した100万画素以上の画像は【画質強調】を設定しないでください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

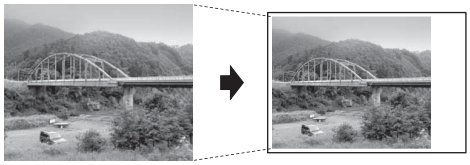
(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真を L 判サイズやはがきサイズの記録紙にプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 141 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、を押し、待ち受けから◀/▶で画面を送りを押します。
⇒手順 5 へ

4 【デジカメプリント】を押す

5 【かんたん印刷】を押す

> 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

6 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

> ◀/▶を長押しすると目的の写真を早く表示できます。

7 【+】/【−】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

> 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
>
> を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

8 【OK】を押す

9 【印刷設定】を押す

1）記録紙タイプを設定する

10 【記録紙タイプ】を押す

11 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

2）記録紙サイズを設定する

12 【記録紙サイズ】を押す

13 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

14 【OK】を押す

15 【スタート】を押す

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

PictBridge

重 要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

- PictBridge 使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L 判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

写真をプリントする

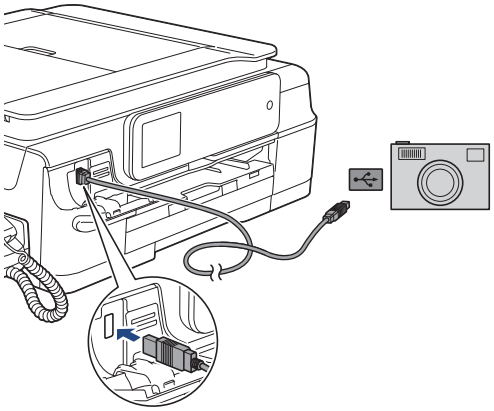
お願い

- PictBridge 使用中は、ファクスの送受信ができません。プリントが終了してからファクス操作をしてください。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にあるメディアスロットカバーを開け、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



重 要

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。
⇒ 149 ページ「デジタルカメラで行う設定」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

お願い

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

5 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
⇒ 145 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータをメディアに保存する

その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

［メディア保存］

1 原稿をセットする

⇒ 72 ページ「原稿をセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 141 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、を押して待ち受け画面に戻り スキャン を押し、◀/▶ で画面を送り、【メディア】を押します。

⇒手順 5 へ

4 【スキャン：メディア】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【カラー設定】を押し、カラーを選ぶ

【カラー／モノクロ】から選びます。

7 【解像度】を押し、解像度を選ぶ

【100 dpi ／ 200 dpi ／ 300 dpi ／ 600 dpi ／ 自動】から選びます。

8 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 6 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】から選びます。
- 手順 6 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF ／ TIFF】から選びます。

9 スキャンする原稿サイズを設定する

- 【スキャンサイズ】
  セットした原稿のサイズを【A4/A5/B5/ ハガキ /2L 判 /L 判 / 名刺（90x60mm）】から選びます。
- 【ADF 長尺原稿モード】
  （ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合のみ）
  A4よりも長い原稿をスキャンする場合は、【オン】に設定します。
  【オフ】に設定している場合は、【スキャンサイズ】で設定しているサイズでスキャンします。

10 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、通し番号が自動的に追加されます。
例）2014 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「140503XX」（「XX」は通し番号）になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、を押して消去します。

11 必要に応じて【地色除去】を設定する

【オフ／弱／中／強】から選びます。スキャンする原稿の地色（用紙色または背景色）を 消して保存します。お買い上げ時は、【オフ】に設定されており、地色が残された状態で保存されます。

12 【OK】を押す

13 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【メディアを抜かないでください　次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 16 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合　⇒手順 14 へ

14 【はい】を押す

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されます。

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されたあと、✕ を押すと、それまでに読み取っていたスキャンデータは次のようになります。

- PDF、TIFF 形式の場合は、すべて消去され、保存されません。
- JPG 形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータは消去され、それ以前のデータは保存されます。

操作しないで放置した場合は、約 1 分後に、PDF、TIFF、JPG 形式のいずれの場合も、それまでに読み取っていたスキャンデータを保存して自動的に終了します。

15 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 14、15 を繰り返します。

16 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

重 要

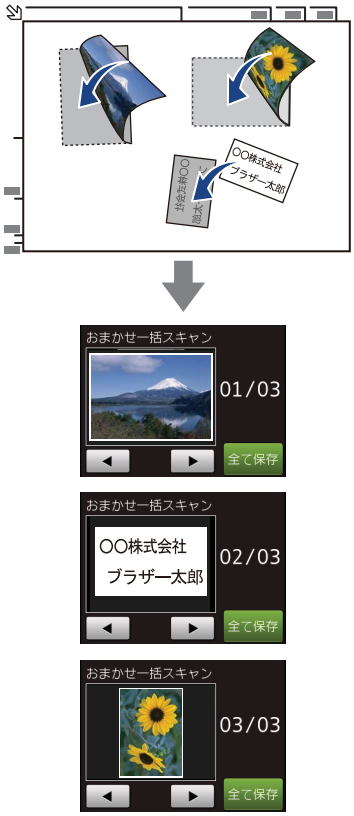
■ アクセス中は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトが必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

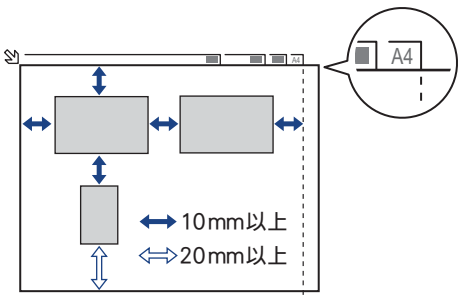
複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存します。



(1) **原稿をセットする**

下記に注意して原稿をセットしてください。

- ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
- 左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
- 手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- 右：A4 サイズの線から 10mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。



(2) **メディアスロットカバーを開く**

(3) **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、を押して待ち受け画面に戻り、スキャンを押し、◀/▶で画面を送り、【メディア】を押します。⇒手順 (5) へ

(4) **【スキャン：メディア】を押す**

(5) **【設定変更】を押す**

(6) **【おまかせ一括スキャン】を押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

(7) **【オン】を押す**

(8) **【OK】を押す**

(9) **【スタート】を押す**

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10) **【OK】を押す**

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀/▶ で前後の画像を確認できます。

(11) **【全て保存】を押す**

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

設定を保持する

(1) メディアスロットカバーを開く

(2) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【スキャン：メディア】を押す

(3) 【設定変更】を押す

(4) 初期値にしたい設定に変更する

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

(5) ▼/▲で画面を送り、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(6) 【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (3) のあと、手順 (5) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

(7) を押して設定を終了する

第 8 章

こんなときは

本章では、主に日常のお手入れやトラブル発生時の対処方法について説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、「付録」の「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 156
タッチパネルを清掃する 156
本製品の外側を清掃する 156
スキャナー（読み取り部）を清掃する 157
給紙ローラーを清掃する 158
排紙ローラーを清掃する 159
本体内部を清掃する 160
子機と充電器を清掃する 161

インクがなくなったときは 162
インクカートリッジを交換する 163
インク残量を確認する 165

受話器（親機）を使用しないときは 166

子機のバッテリーを交換するときは 167

困ったときは

紙が詰まったときは 169
記録紙が詰まったときは 169
紙づまりが解消しないときは 173
ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは 175
ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合 175
吸い込み口付近に詰まった場合 176
紙片が詰まった場合 176

ディスクが詰まったときは 177
ディスクが前面に詰まったときは 177
ディスクが背面に詰まったときは 177

印刷品質が良くないときは 179
定期メンテナンスについて 179
プリントヘッドをクリーニングする 179
記録紙のうら面が汚れるときは 180
印刷テストを行う 180
印刷品質をチェックする 180
印刷位置のズレをチェック / 補正する 181

画面にメッセージが表示されたときは 183
エラーが発生したときのファクスの転送方法 190
子機のメッセージ 191

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に） 192

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 213

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する 214
特別な回線に合わせて設定する 214
回線状況に応じて設定する 214
親機の場合 214
子機の場合 215
安心通信モードに設定する 215
ダイヤルトーン検出の設定をする 216
現在の電話回線状態を確認する 216

初期状態に戻す 217
機能設定を元に戻す 217
ネットワーク設定を元に戻す 217
RSS 設定を元に戻す 218
電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する 218
すべての設定を元に戻す 219
子機の個人情報を消去する 220

こんなときは 221
インターネット上のサポートの案内を見るときは 221
Windows® の場合 221
Macintosh の場合 221
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは 222
本製品のファームウェアのバージョンを調べるには 222
子機を増設する / 登録抹消する 223
停電になったときは 223
本製品のシリアルナンバーを確認する 224
本製品の設定内容や機能を確認する 224
本製品を輸送するときは 225
本製品を廃棄するときは 225

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

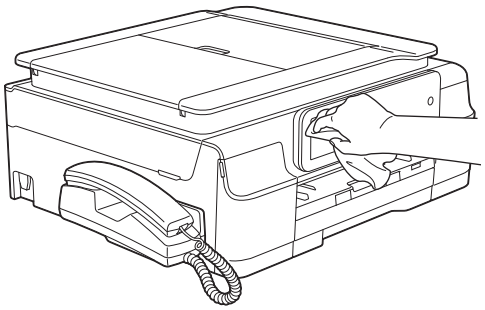
重 要

■ 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

■ タッチパネルを清掃するときは、誤作動を避けるため本製品の電源をオフしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

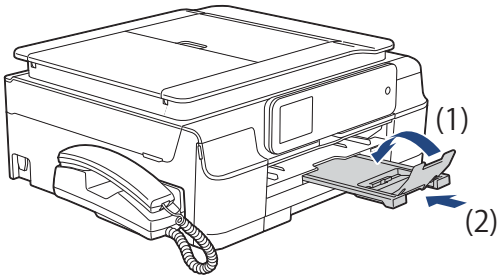


本製品の外側を清掃する

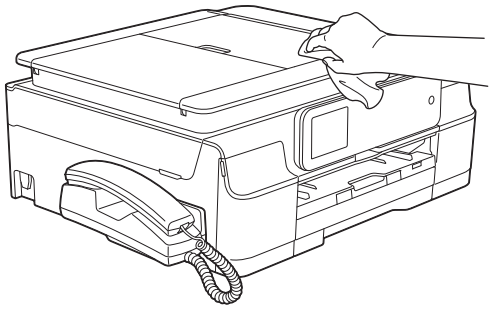
⚠警告

● 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

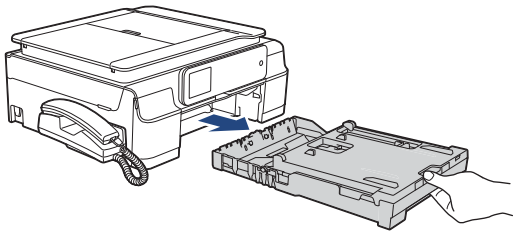
1 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2）



2 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く



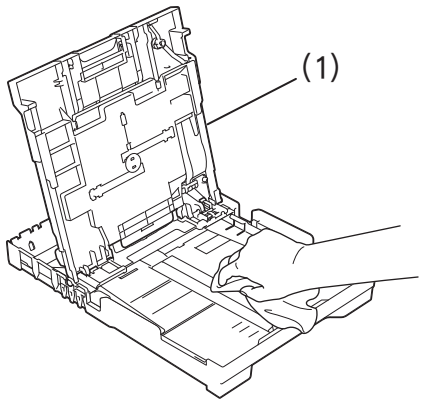
3 記録紙トレイを引き出す



4 トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

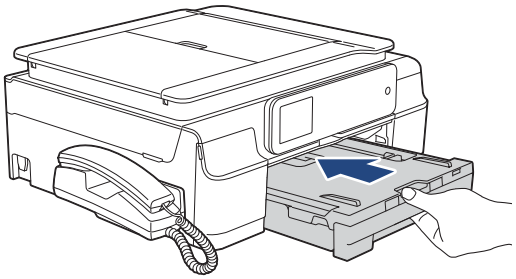
⚠注意

● トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
● トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



5 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー（読み取り部）を清掃する

スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

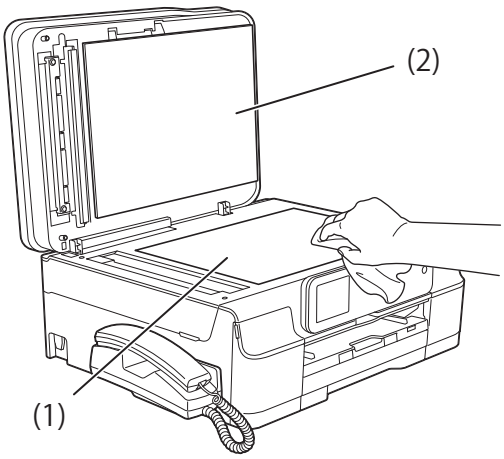
⚠警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

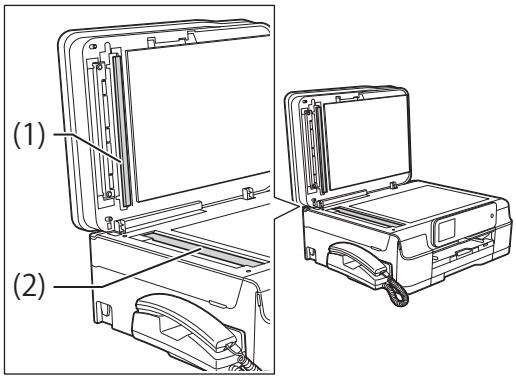
2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。



3 ADF（自動原稿送り装置）読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー（1）と ADF 読み取り部（2）を拭いてください。



お願い

■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（2）を清掃してください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のグラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF（自動原稿送り装置）からコピーしてみて、黒い線が消えていることを確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

5 電源プラグをコンセントに差し込む

清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

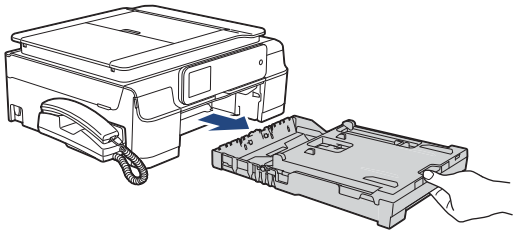
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

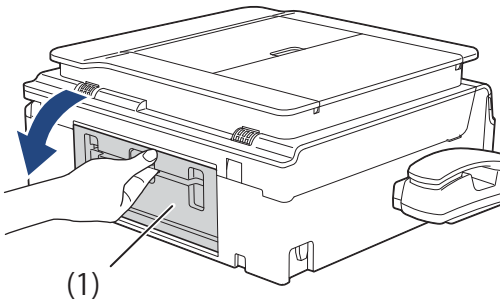
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙トレイを引き出す



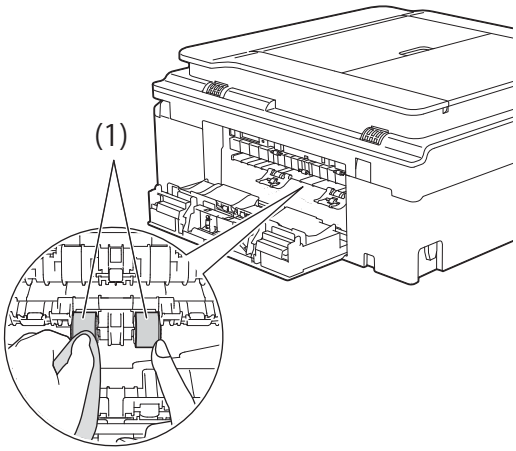
4 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く



5 給紙ローラー（1）を拭く

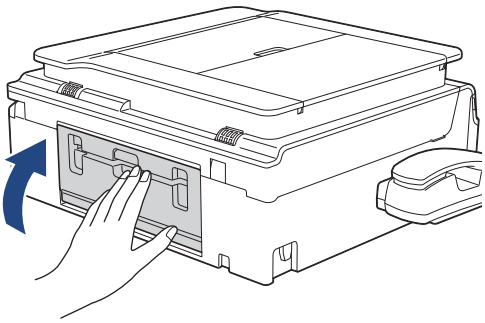
ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向に拭いてください。

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

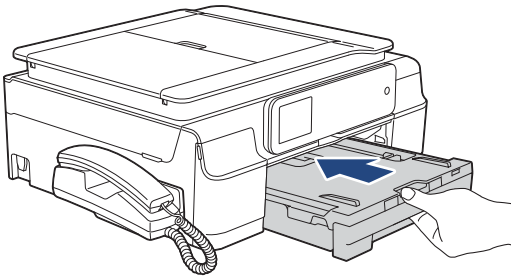


6 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



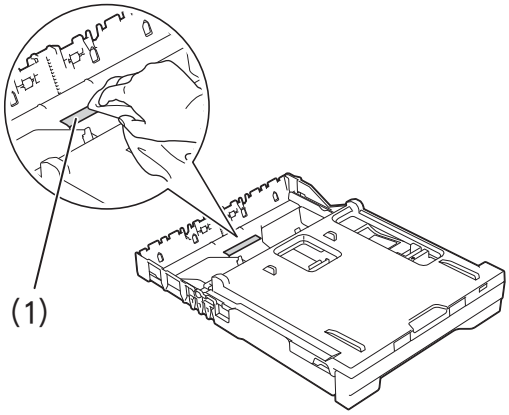
7 記録紙トレイを元に戻す



8 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。

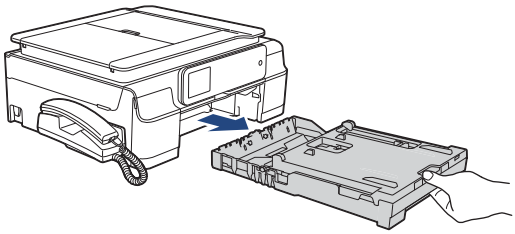


排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、両面印刷ができなくなったりします。

1 電源プラグをコンセントから抜く

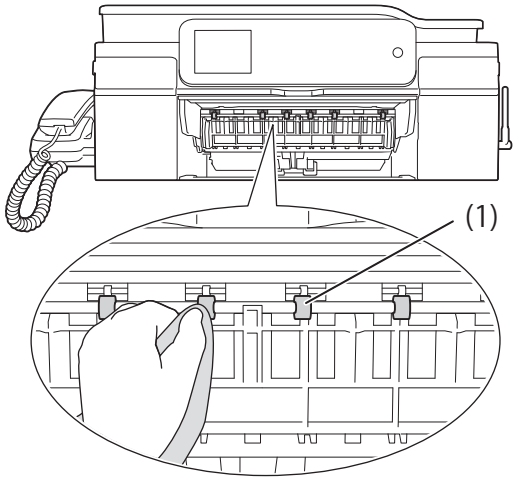
2 記録紙トレイを引き出す



3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

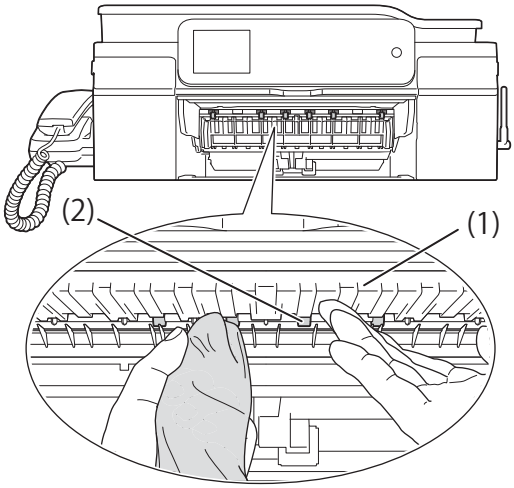
4 排紙ローラー（1）を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



5 フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラー（2）のうら側を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



6 記録紙トレイをゆっくりと戻す

7 電源プラグをコンセントに差し込む

重 要

■ ローラーが完全に乾くまで、本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で印刷すると、紙づまりやその他不具合の原因になります。

本体内部を清掃する

記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

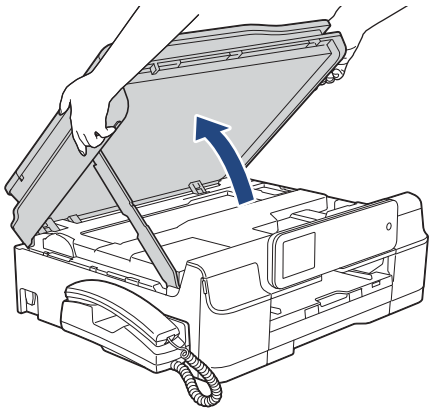
警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

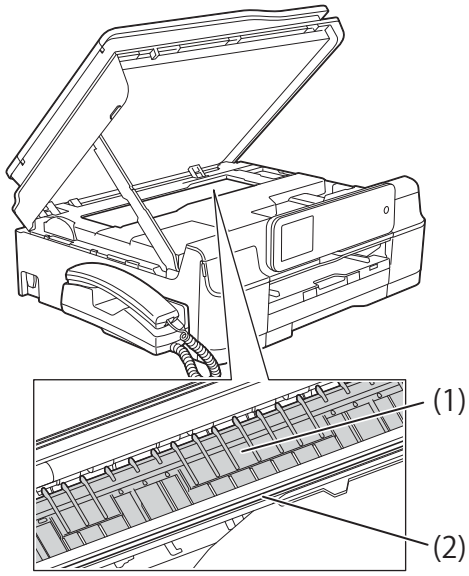


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

重 要

- エンコーダーフィルム（半透明なフィルム）(2) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。

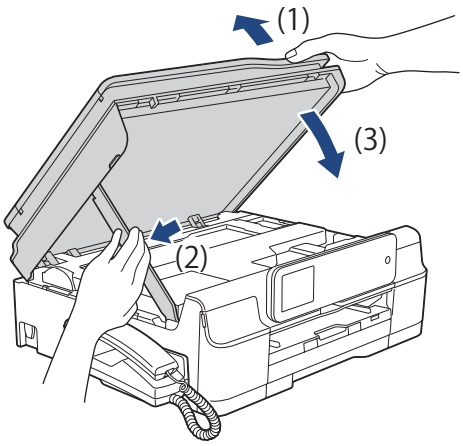


4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

⚠注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。



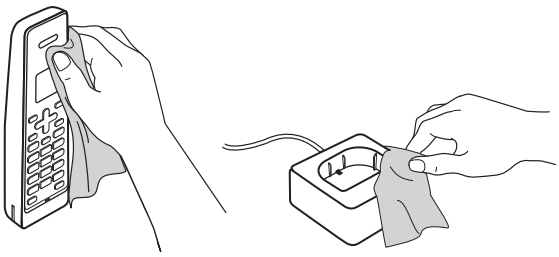
5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機と充電器を清掃する

1 充電器から子機を取る

2 充電器の電源プラグを抜く

3 乾いた柔らかい布で子機と充電器を拭く



4 充電器の電源プラグをコンセントに差し込む

5 子機を充電器に戻す

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき（例：ブラックインクの場合）：【印刷できません　インク交換　BK ブラック】

【モノクロ片面印刷のみ可能】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定する必要があります。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプは、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができません。

- 空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- パソコンからの印刷時、印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］にチェックをしている場合（パソコンと本製品のそれぞれでいったん印刷を中止し、［乾きにくい紙］のチェックを外せば、印刷ができるようになります。）

本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。
⇒ 165 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 269 ページ「消耗品」
⇒ 271 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

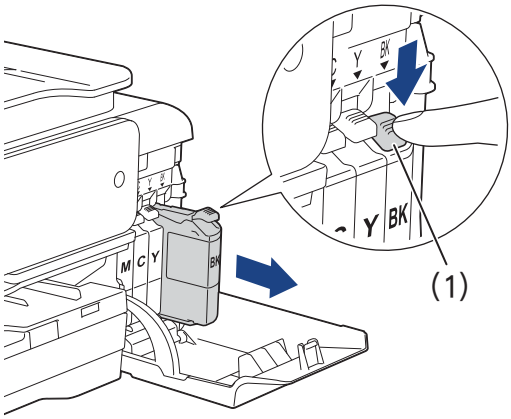
- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重 要

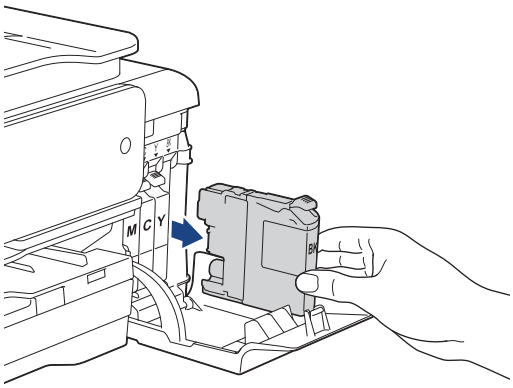
- ■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
- ■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
  (6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。)
- ■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- ■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

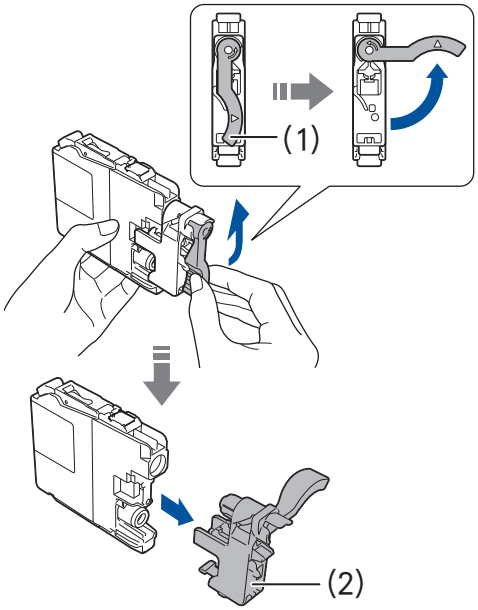


3 インクカートリッジを取り出す



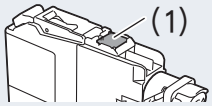
4 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色の取っ手（1）を反時計回りに回転させて封印を開放し、オレンジ色の保護カバー（2）を引き抜きます。



重 要

- ■ インクカートリッジの基板（1）に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

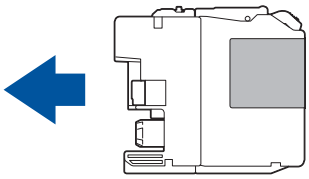


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

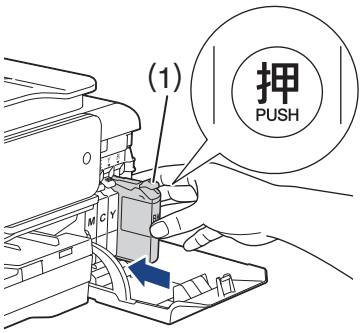
重 要

■ インクカートリッジは色によってセットする位置が決められています。間違った位置にセットするとエラーになり印刷できません。表示に従って正しい位置にセットしてください。

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー（1）が上がるまで、「押」の部分を押し込みます。



6 インクカバーを閉じる

- インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／（交換したインク色）／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

お願い

■ 画面に【インクを交換しましたか／（交換したインク色）／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。

■ 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
⇒ 183 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 271 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

［インク残量］

以下の手順でインク残量を確認できます。

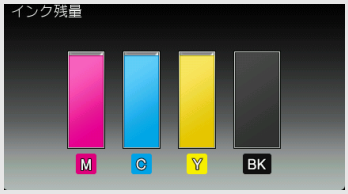
1 待ち受け画面の（1）を押す

(1)

ボタンには現在のインク残量の目安が表示されています。

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。



【メニュー】、【インク】、【インク残量】を押しても確認できます。

インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

（インク残量が少ない）

（インクカートリッジが空）

（インクカートリッジに問題がある）

3 を押して確認を終了する

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」

Macintosh の場合

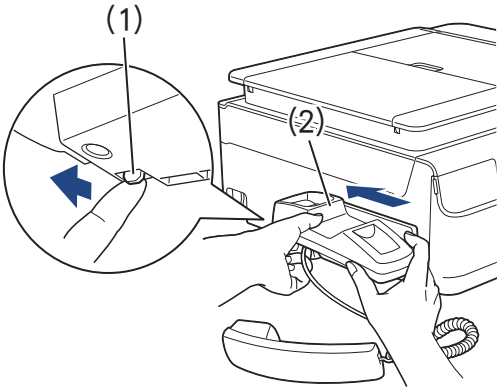
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する（ステータスモニター）」

受話器（親機）を使用しないときは

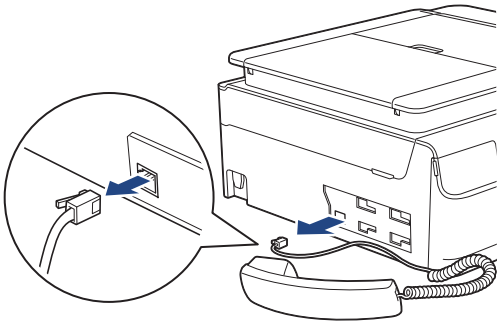
受話器を使用しない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

1 受話器を外し、受話器台底面のつまみ（1）を手前に引いて受話器台（2）を本体から外す

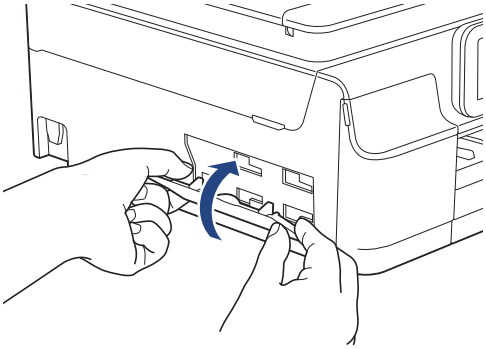
受話器台は、本体に沿わせたまま、後ろに向かってゆっくりスライドさせてください。



2 本体から受話器コードを抜く



3 受話器台取り付け口カバーをつける

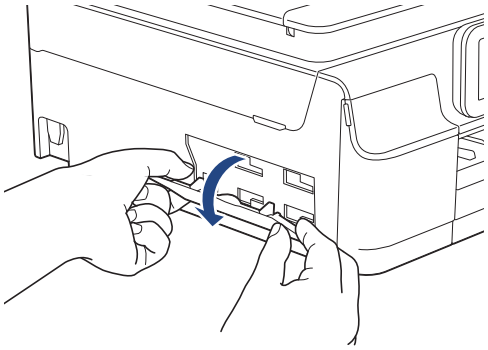


受話器台を再度取り付ける場合

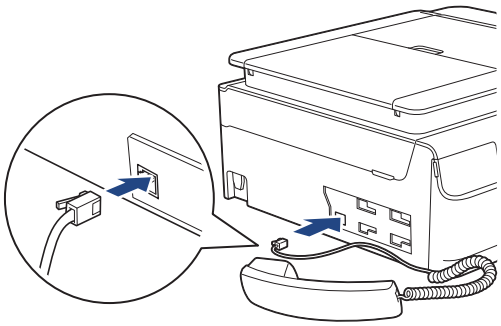
外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

(1) 受話器台取り付け口カバーを外す

※受話器台取り付け口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。

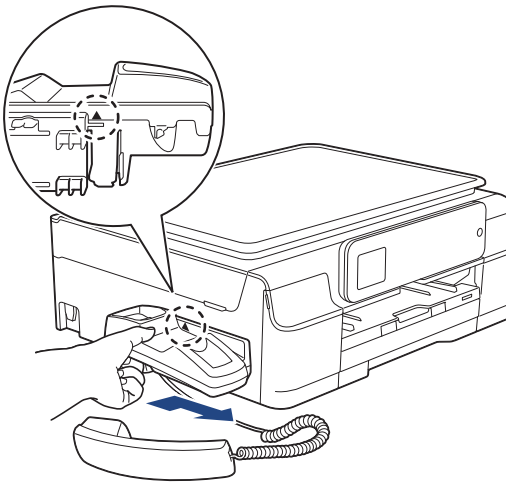


(2) 受話器コードを本体に接続する



(3) 受話器台と受話器台取り付け口の▲印を合わせて受話器台を取り付け、手前にスライドさせて固定する

受話器台は、本体にしっかり押し付けながら、ゆっくりスライドさせてください。



子機のバッテリーを交換するときは

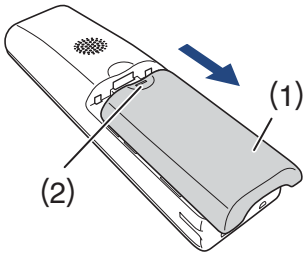
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

⚠危険

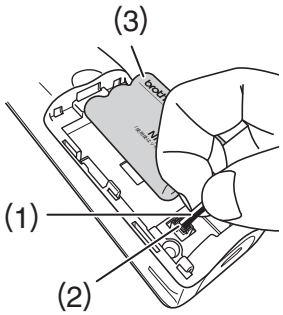
● バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

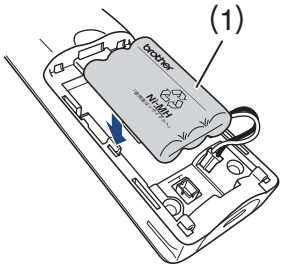
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



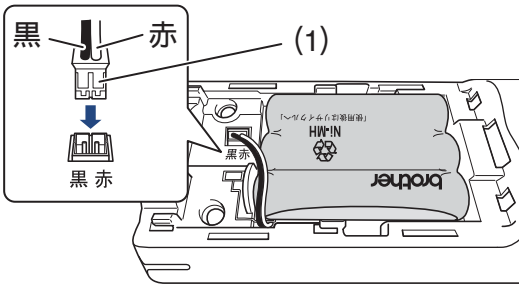
2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上に引き抜き、バッテリー（3）を取り出す



3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

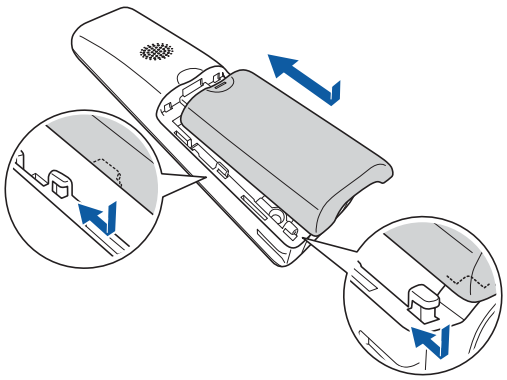


4 バッテリーコードの黒 / 赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込む



5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



バッテリーを交換したら、必ず 12 時間以上充電してください。

お願い

■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
- ビニールカバーは剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 使用済み電池の届け出先は、⇒ 168 ページ「使用済み電池の届け出」をご覧ください。

Ni-MH

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com
- 社団法人 電池工業会
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

紙が詰まったときは

困ったときは

重 要

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください

記録紙が詰まったときは

記録紙が詰まると、画面に【紙が詰まっています　XX】とメッセージが表示されます。(「XX」は、紙詰まり発生位置）メッセージを確認したら、次の手順で記録紙を取り除いてください。

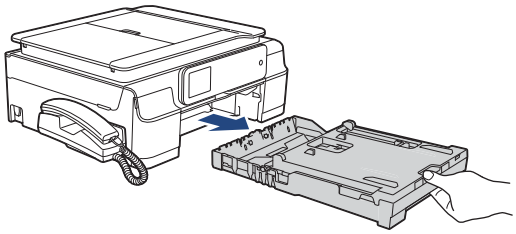
お願い

■ 何度も紙が詰まるときは…。
- 紙の曲がりやそりを直して使用してください。
  ⇒ 62 ページ「カールしている記録紙について」
- 給紙ローラーを清掃してください。
  ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
- 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
  ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 9
- 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
- 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
  ⇒ 62 ページ「専用紙・推奨紙」

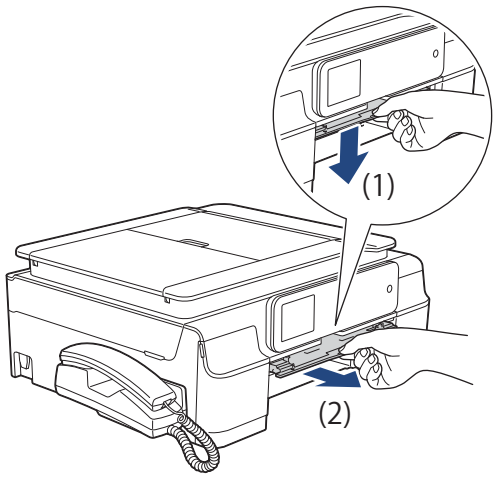
■ メッセージに従って対処してもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグを抜き差ししてみてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイを引き出す



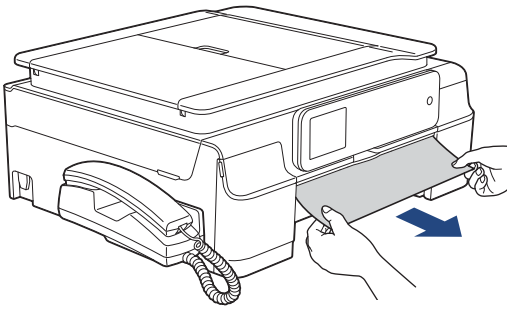
3 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引きながらゆっくりと手を離す（2）



画面に【紙が詰まっています　後ろ】と表示されていた場合は、⇒手順 7 へ

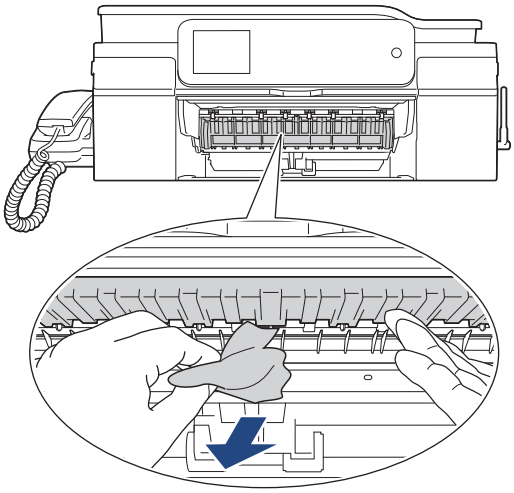
4 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないよう、静かに抜き取ります



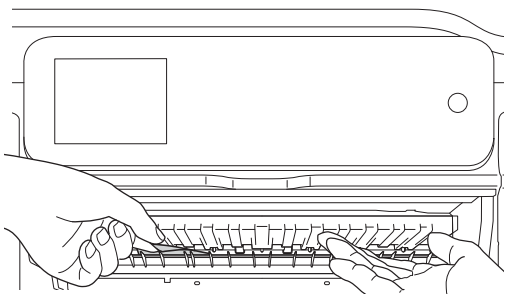
5 フラップを持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



6 本製品の内部やフラップの上下に紙片が残っていないか確認する

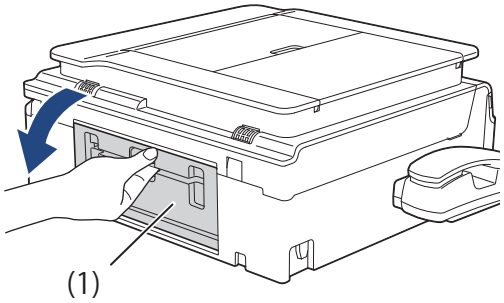
紙片が残っていたら、紙が破れないように抜き取ります。



- 【紙が詰まっています前，後ろ】と表示されていた場合は、⇒手順 7 へ
- 【紙が詰まっています　前】と表示されていた場合は、⇒手順 10 へ

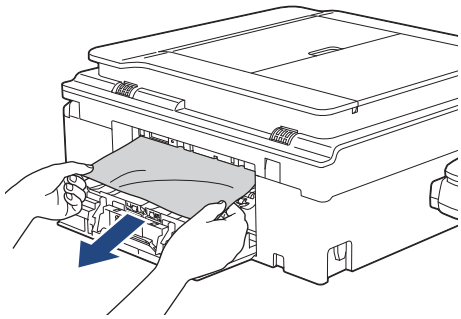
7 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。



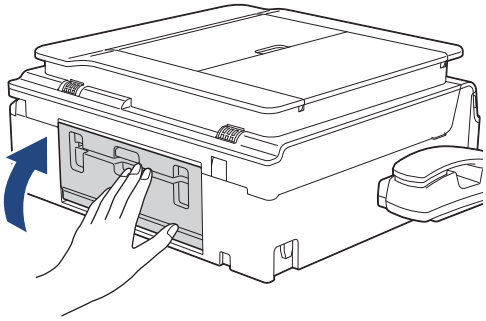
8 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



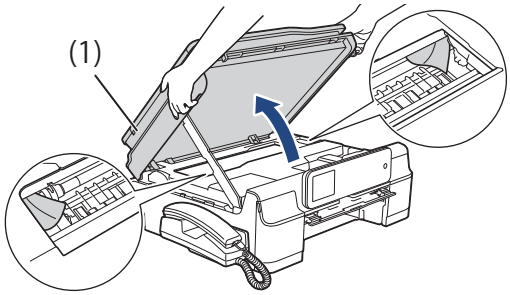
9 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



10 両手で本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーが保持される位置まで上げてください。残っている記録紙があれば取り除いてください。紙が破れないように静かに抜き取ります。

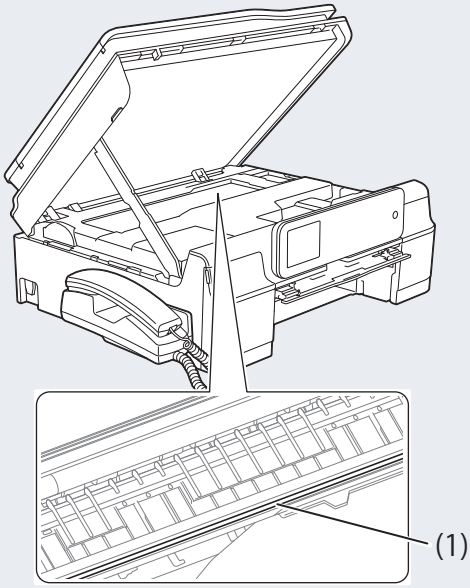


注意

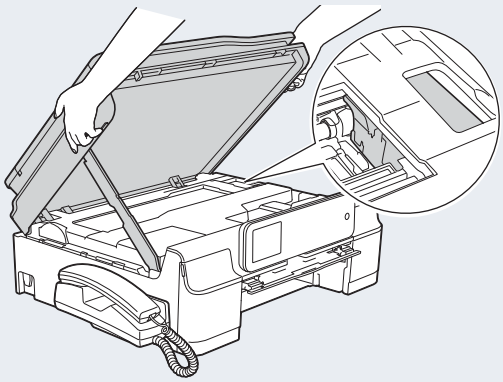
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

- エンコーダーフィルム（半透明なフィルム）（1）に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



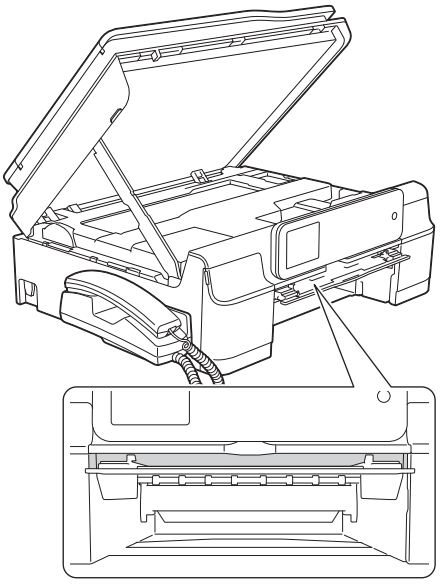
- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



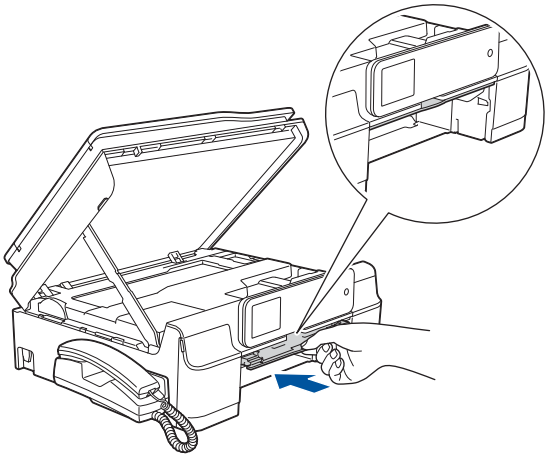
(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、
を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。
(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く
(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

11 ディスクガイドに記録紙が残っていないかを確認する

残っている記録紙があれば取り除いてください。紙が破れないように静かに抜き取ります。

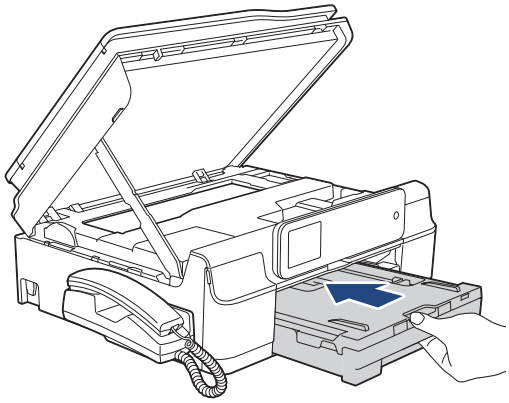


12 ディスクガイドを水平に押して本体に格納する



13 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

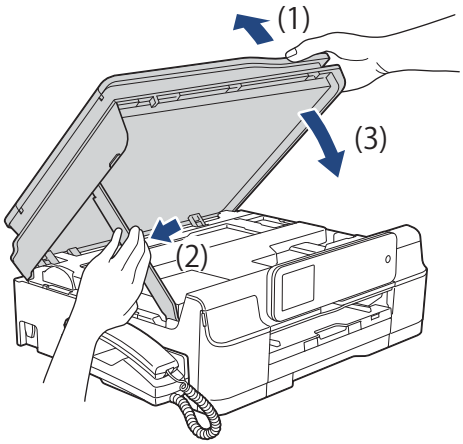


14 本体カバーを閉める

⚠注意

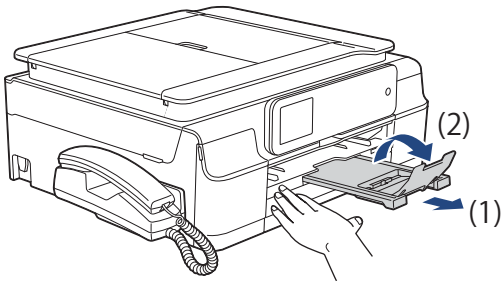
- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し(1)、カバーサポートをゆっくり押して(2)、本体カバーを両手で閉めます(3)。



15 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し(1)、フラップを開く(2)

記録紙ストッパーは確実に引き出してください。



16 電源プラグをコンセントに差し込む

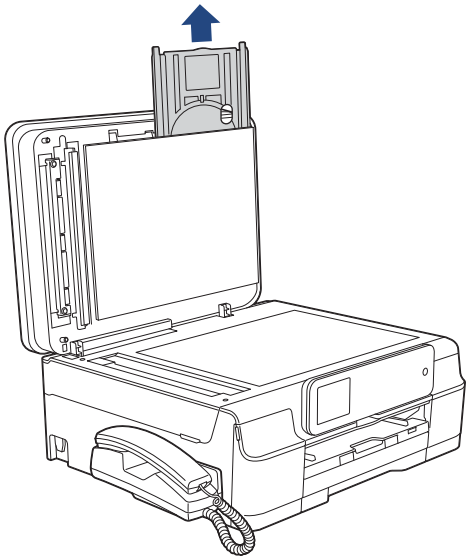
17 エラーメッセージが消えていることを確認する

上記の対処をしても紙づまりが繰り返される場合は、本体内部に小さな紙片が詰まっていることが考えられます。
⇒ 173 ページ「紙づまりが解消しないときは」

紙づまりが解消しないときは

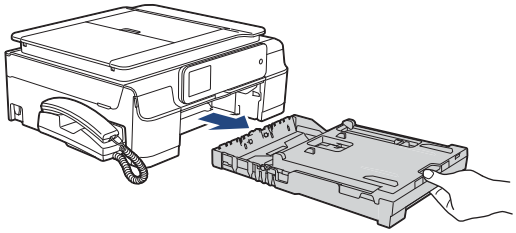
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜く

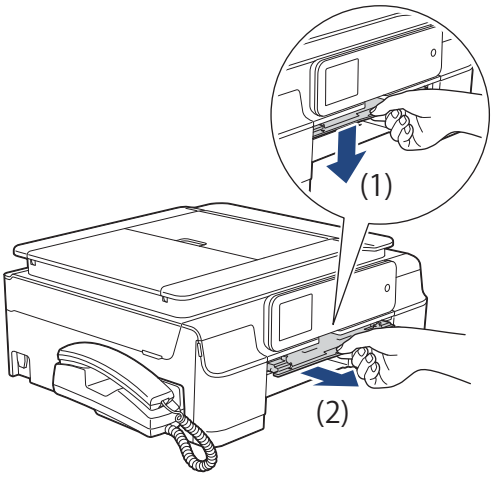


3 原稿台カバーを閉じる

4 記録紙トレイを引き出す

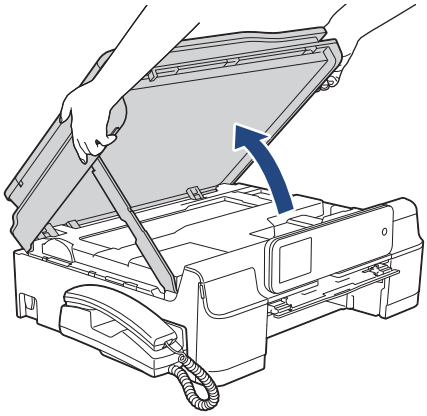


5 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引きながらゆっくりと手を離す（2）

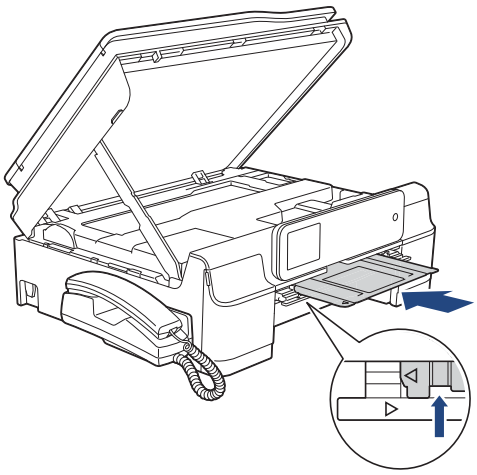


6 両手で本体カバーを開く

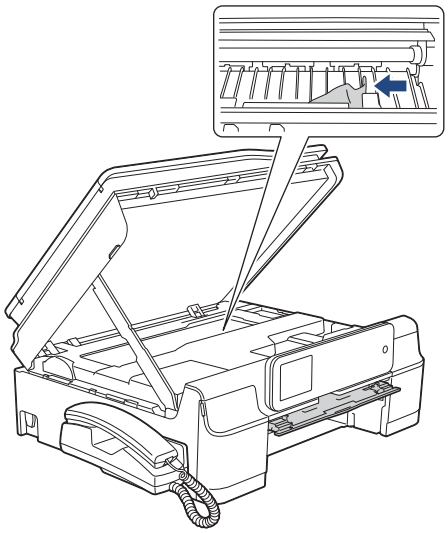
本体カバーが保持される位置まで上げてください。



7 ディスクトレイをディスクガイドに挿入し、ディスクガイドの三角マークより奥に押し込む

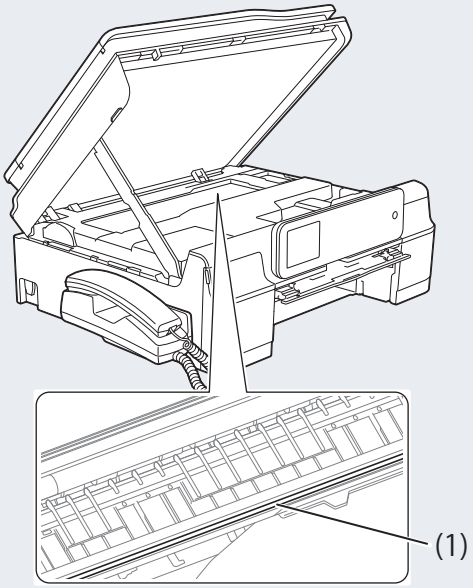


8 ディスクトレイで押し出された紙片が、本体内部に出てきたら、取り除く

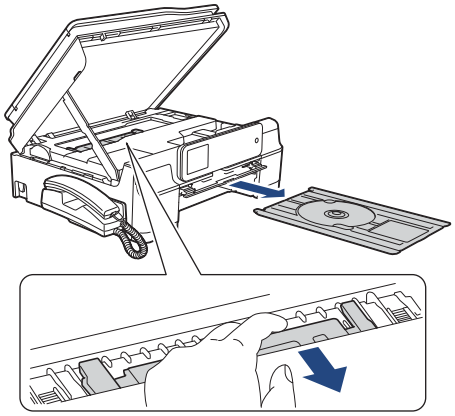


重 要

■ エンコーダーフィルム（半透明なフィルム）(1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



9 ディスクトレイを、本体内部から前面方向に押して取り出す

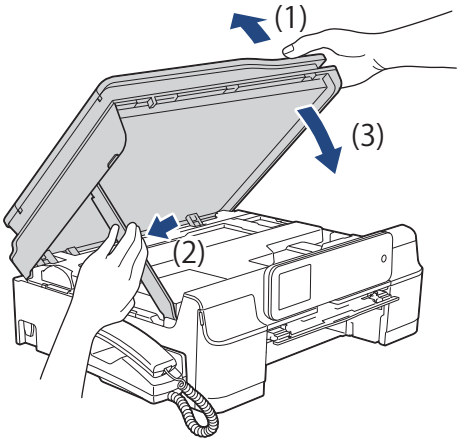


10 本体カバーを閉める

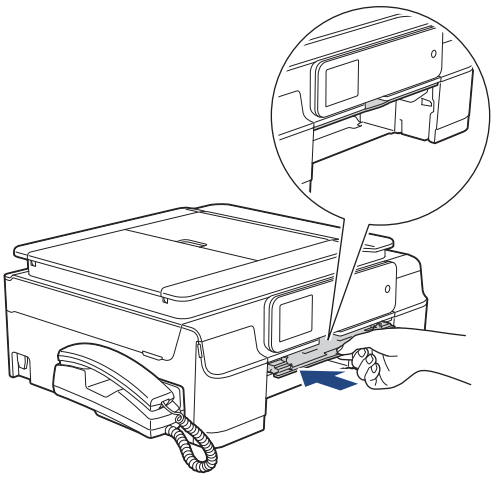
⚠注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、カバーサポートをゆっくり押して (2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。

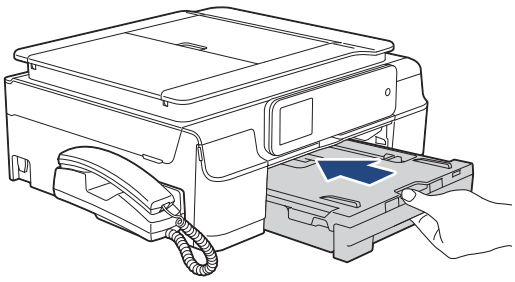


11 ディスクガイドを水平に押して本体に格納する

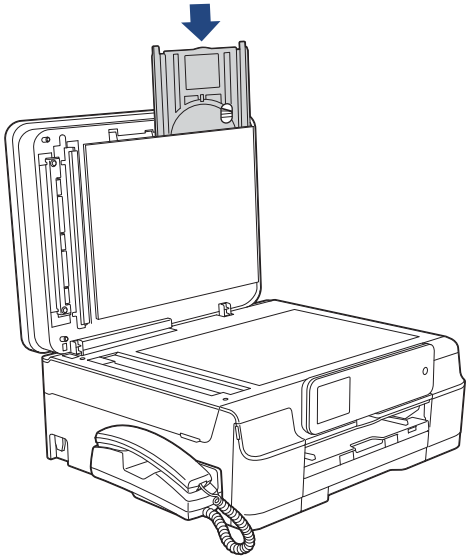


12 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

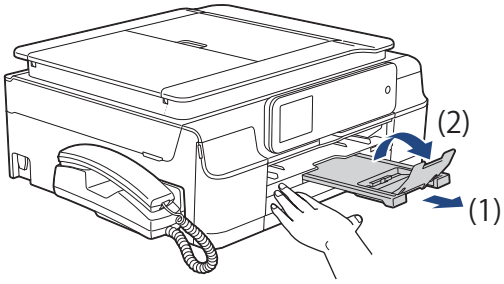


13 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する



14 原稿台カバーを閉める

15 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



16 電源プラグをコンセントに差し込む

17 エラーメッセージが消えていることを確認する

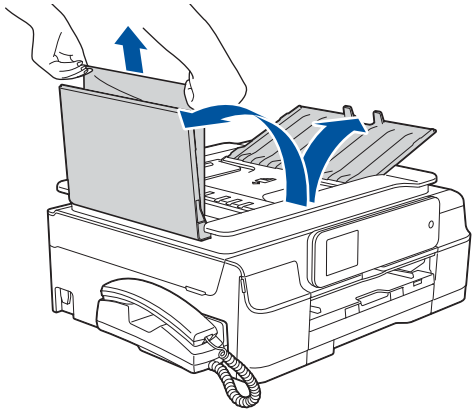
ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは

ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合

1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。



3 ADF カバーを閉める

お願い

■ 再度紙詰まりを起こさないように、ADF カバーは中央を押さえて、ていねいに閉じてください。

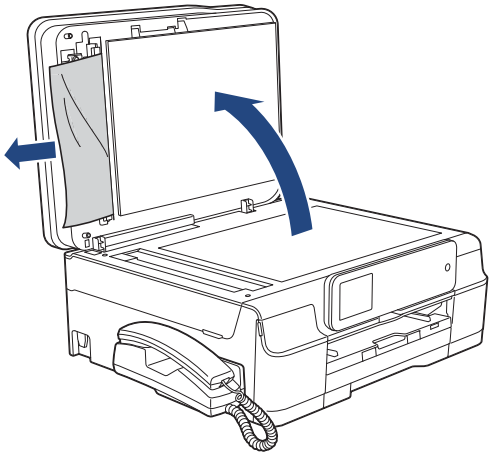
4 ✕ を押す

吸い込み口付近に詰まった場合

1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 原稿台カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。



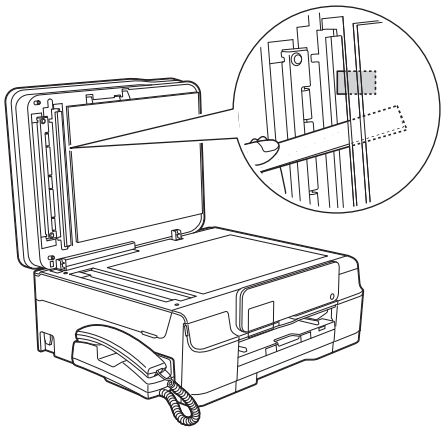
3 原稿台カバーを閉める

4 ✕を押す

紙片が詰まった場合

1 原稿台カバーを開く

2 名刺のような、折れ曲がりにくくしなる紙を差し込んで紙片を取り除く



3 原稿台カバーを閉める

4 ✕を押す

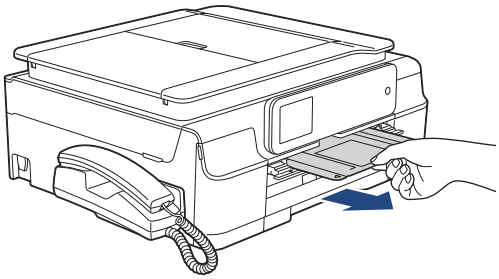
ディスクが詰まったときは

ディスクが前面に詰まったときは

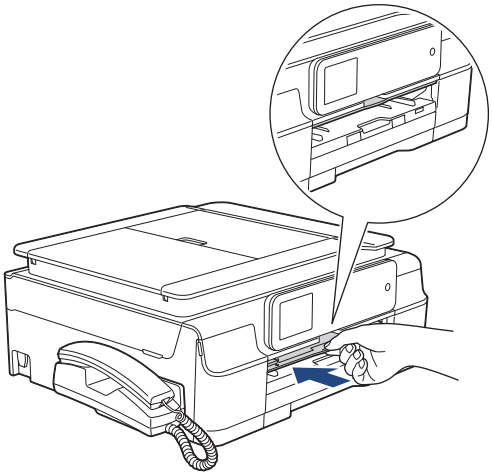
前面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 ディスクトレイを取り出す



3 ディスクガイドを水平に押して本体に格納する



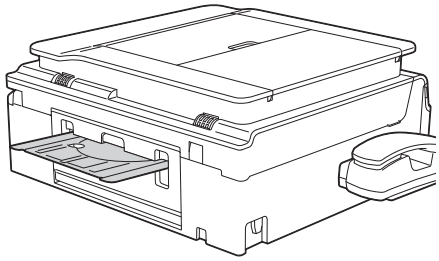
4 電源プラグをコンセントに差し込む

ディスクが背面に詰まったときは

背面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まってます 後ろ】と表示されます。

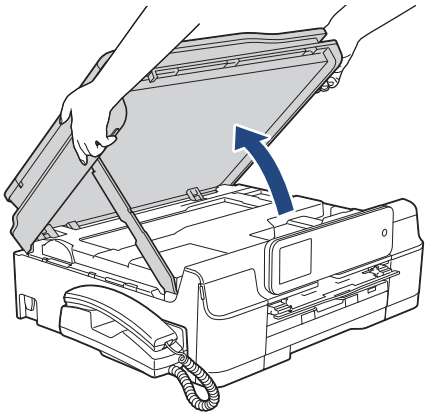
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 本体の背面にディスクトレイを取り出すことができるスペースを確保する



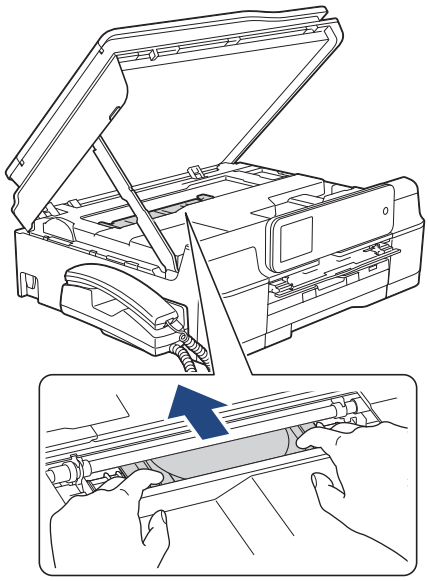
3 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

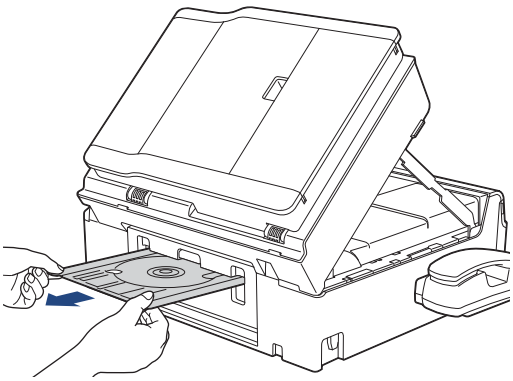


4 指でディスクトレイを本体の背面方向に進める

強く押さないでください。



5 本体の背面からディスクトレイを取り出す

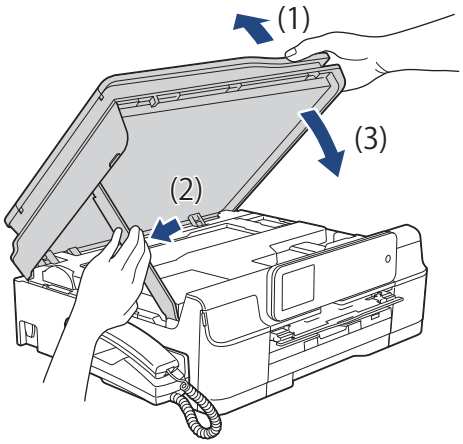


6 本体カバーを閉める

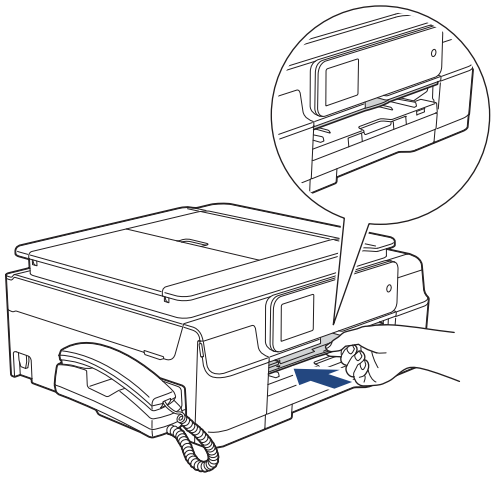
⚠注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し(1)、カバーサポートをゆっくり押して(2)、本体カバーを両手で閉めます(3)。



7 ディスクガイドを水平に押して本体に格納する



8 電源プラグをコンセントに差し込む

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ったり、印刷位置のズレを補正する必要があります。

重 要

- ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご使用ください。ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品にはプリントヘッドを自動で定期的にクリーニングする機能があります。ただし、電源プラグが抜かれていると製品を起動させることができないため、自動クリーニングができません。電源の入 / 切は電源ボタンで行い、電源プラグは抜かないで本製品をご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

印刷品質が良くないと感じたら、定期メンテナンス（自動クリーニング）を待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

目詰まり時

正常

1 【メニュー】を押す

2 【インク】を押す

> 待ち受け画面の からも、インクメニューを表示させることができます。

3 【ヘッドクリーニング】を押す

4 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

> ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。
>
> 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 3 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 160 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 排紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 159 ページ「排紙ローラーを清掃する」

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【インク】を押す

> 待ち受け画面の からも、インクメニューを表示させることができます。

4 【テストプリント】を押す

5 【印刷品質チェックシート】を押す

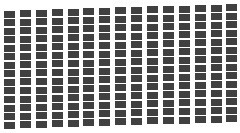
6 【OK】を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

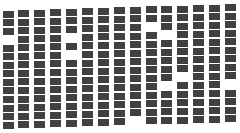
7 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

<良い例>



<悪い例>



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 12 へ進みます。
【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。手順 8 へ進みます。

8 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

9 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？［OK］を押してください】と表示されます。

10 【OK】を押す

【いいえ】とされたプリントヘッドのクリーニングを行います。クリーニング終了後、【［OK］を押してください】と表示されます。

11 【OK】を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 8 に戻ります。

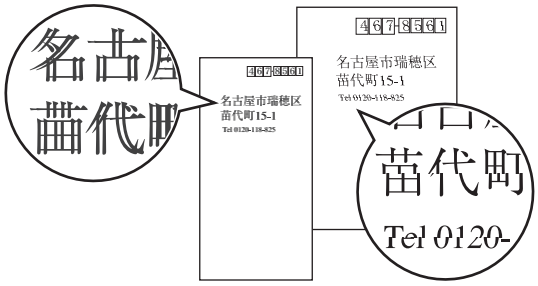
12 を押してチェックを終了する

お願い

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェック / 補正する

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【インク】を押す

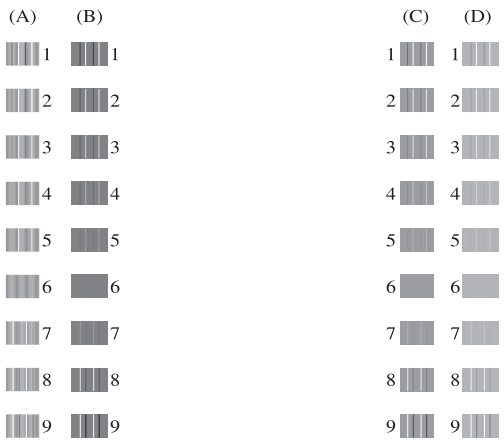
待ち受け画面の からも、インクメニューを表示させることができます。

4 【テストプリント】を押す

5 【印刷位置チェックシート】を押す

6 【OK】を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。



7 印刷されたチェックシートの（A）列で、最も縦筋が目立たないパターンを選び、画面でその番号を選択して、【OK】を押す

番号が表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

8 同様にして、（B）～（D）列もそれぞれ最も縦筋が目立たないパターンを選択して、【OK】を押す

番号が表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

9 を押して操作を終了する

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクカートリッジが無い		
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押してセットします。
インク量を検知できません	純正インクを使用していない。	弊社純正でないインクカートリッジをご使用になると、本製品がインク量を検知できない場合があります。弊社純正品に交換してください。純正品に換えてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷できません インク交換 BK ブラック Y イエロー C シアン M マゼンタ	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」 一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。
印刷できません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 190 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
回線種別を設定できません	ADSLのIPフォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。

メッセージ	原因	対処
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。
記録ディスクが詰まっています 前	印刷中に記録ディスクが詰まった。	ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 177 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
記録ディスクが詰まってます 後ろ	印刷中に記録ディスクが詰まった。	本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 177 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
記録ディスクを確認してください	ディスクトレイに記録ディスクがない。 レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されている。	記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した12cmのCD/DVD/BDです。 ⇒ 74 ページ「記録ディスクをセットする」
紙が詰まっています 後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
紙が詰まっています 前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
紙が詰まっています 前，後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
記録紙間違い	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットし直してください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」 なお、ファクス受信やレポート印刷は、A4 より小さいサイズの記録紙に対応していません。トレイに A4 サイズの記録紙をセットし、記録紙サイズも A4 に設定してください。
記録紙を送れません	記録紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに記録紙を入れ直してください。 スライドトレイを使用する場合は、スライドトレイを正しい位置にセットして、【OK】を押してください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」
	スライドトレイが手前にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 9

メッセージ	原因	対処
記録紙を送れません	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 190 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
詰まっています / 長すぎます	原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まっている。 または、原稿が長すぎる。	詰まった原稿を取り除き、✕ を押した後、原稿を正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されても ADF カバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 175 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは」 セットできる原稿の長さを確認してください。 ⇒ 71 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」
子機使用中です	子機で通話している。	通話中の相手以外へファクスを送るには、子機の通話終了後に行ってください。
室温が高すぎます	室温が高くなっている。	室温を下げ、しばらくたった後にお使いください。
室温が低すぎます	室温が低くなっている。	室温を上げ、しばらくたった後にお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外してオン/オフボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒ 141 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンでフォーマットしてください。 または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB ハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。

メッセージ	原因	対処
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 190 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 169 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 190 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
設定できませんでした	ADSLのIPフォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を 確認してください　解決しない時は　回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください	モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性がある。	モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。

メッセージ	原因	対処
通信エラー	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。1 つの電話回線に複数台の電話機を接続する場合は、本製品のみを電話回線に接続してご利用ください。 ⇒かんたん設置ガイド
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	✕ を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ディスクトレイが背面に当りました	トレイを搬送したときに背面に 10cm 以上のスペースがなかった。	前面にトレイが戻ってきた場合は、前面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 177 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
		途中で止まってしまった場合は、本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、背面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 177 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
ディスクトレイを送れません	ディスクトレイがディスクガイドにセットされていない。	ディスクトレイを正しくセットしてください。 ⇒ 74 ページ「記録ディスクをセットする」
電話・ファクスが使えません	電話回線が接続されていない可能性がある。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。⇒かんたん設置ガイド「接続する」
設定できませんでした 電話機コードが「停電時」端子に接続されている可能性があります	電話機コードが停電用電話機接続端子に接続されている。	本体カバーを開け、「停電時」端子から「回線」端子に、電話機コードを接続し直してください。電話回線を接続しない場合は、✕ を押してください。
廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に達した。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリ少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 114 ページ「不要なファクスのみを消去する」（一部） ⇒ 114 ページ「すべてのファクスを消去する」（すべて）
ファクスメモリ少なくなりました	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒116ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 117 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 116 ページ「ファクスをメモリーで受信する」

メッセージ	原因	対処
プリンター使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
まもなくインク切れ	インクの残りが少なくなっている。 カラーインクのいずれかが残り少なくなると、カラーファクスの受信が中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 271 ページ「消耗品などのご注文について」 なお、モノクロでのファクス受信に影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。 カラーコピーの場合は、【モノクロ片面印刷のみ可能】になるまで利用できます。
まもなく廃インク満杯	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に近づいている。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアのファイルが多すぎます	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 フォルダーとファイルの数が 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
メモリがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
	空きメモリーが不足している。	【読み取り分送信】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のみファクスします。 ❌ または【中止する】を押すと送信を中止します。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 113 ページ「必要なファクスのみを印刷する」 ⇒ 114 ページ「不要なファクスのみを消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 116 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 117 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 • 留守録メッセージ ⇒ 131 ページ「音声メッセージを確認する」
メモリがいっぱいです	コピー中に本製品のメモリーに空き容量がなくなった。	複数枚をコピーしたときは、【読み取り分コピー】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿の分だけコピーを行います。 ❌ または【取り消し】を押すとコピーを中止します。

メッセージ	原因	対処
メモリカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
モノクロ片面印刷のみ可能 インク交換	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタードライバーの印刷設定で用紙種類を［普通紙］に設定し、モノクロ印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約 1ヶ月間使用できます。ただし、両面印刷はできません。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。ただし、両面コピーはできません。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した（インクカートリッジを交換してください。） • 印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］をチェックしている（パソコン側で印刷をキャンセルし、本製品でも ❌ を押して印刷を取り消してください。）	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

(1) ✕ を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。

◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (4) に進んでください。

(4) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) ✕ を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。
メッセージを確認して、【OK】を押す

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

(4) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ?／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆現在「みるだけ受信」が設定されていない場合は、このあと、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を選んでください。

(6) を押す

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ／ファクス転送／メモリ保持のみ）に戻してください。（234 ページ）

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

(1) ✕ を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

(4) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

子機のメッセージ

メッセージ	状態	対処
外線使用中	親機またはその他の子機が通話中。	使い終わるのを待ってください。
親機を探しています	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	通話中は、使用圏内に戻ってください。
通話圏外 親機に近づい てください	電波状態が悪い、親機の電源プラグが抜けている。	親機の状態を確認してください。 子機の 外線 を押してください。
電源 Off	親機の電源が入っていない。	
＜電池残り少＞ 充電 して下さい	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。
電話帳が いっぱいです	電話帳に登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
電話帳登録 登録が ありません	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。 ⇒ 123 ページ「子機の電話帳に登録する」
発信履歴無し	発信履歴がない。	－
充電デキマセン。 もう一度セット してください	充電器に異物が付着している、または設置不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
FAX 受信あり クリアキーを 押して下さい	ファクスを受信した。	子機の 音質↑ クリア を押すとファクス受信ランプの点滅が消えます。親機で新着ファクスを確認してください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない/電話を受けられない。	モジュラージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッタを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるか確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		現在の回線状態を診断し、診断結果レポートを印刷することができます。レポートに記載されている対処方法をお試しください。 ⇒ 216 ページ「現在の電話回線状態を確認する」	
	電話がかけられない。（受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに［再ダイヤル/履歴］（親機）または［発信履歴/P 文字］（子機）を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「p」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 53 ページ「親機の音量を設定する」
	通話中に［🔊］［🔊］で受話音量の設定ができない。	機能設定中に電話を受けましたか。 または、こちらから電話をかけましたか。	［⌂］を押してから［🔊］［🔊］で受話音量を変更してください。
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。 ⇒ 53 ページ「親機の音量を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器からの相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 53 ページ「親機の音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	スピーカーホン を押してスピーカーホン通話を解除し、子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	呼出ベル回数が0回になっていませんか。	呼出ベル回数を確認してください。 ⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【なし】にしてください。 ⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	受話器から「ツー」という音が聞こえない。	オンフック（親機）を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり接続されているか確認してください。 「ツー」という音が聞こえていない場合は、電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒ 111 ページ「親切受信を設定する」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイサービス（有料）の契約はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイ機能を契約する必要があります。契約の有無を確認してください。 また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバー・ディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 214 ページ「回線状況に応じて設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 54 ページ「受話音量を設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	本製品のメロディが鳴りだして止まらない。	【デモ動作設定】が【する】になっていませんか。	メロディは を押すと止まります。 本製品は、電話回線を接続しない状態で【デモ動作設定】が【する】に設定されていると、本製品の機能をメロディにのせて紹介するデモ動作を開始します。【メニュー】、【全てのメニュー】、【初期設定】、【その他】、【デモ動作設定】の順に押して、デモ動作を【しない】に変更すると、以後はデモ動作をやめることができます。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	おやすみモードが設定されていませんか。	おやすみタイマーの開始 / 終了時刻を変更してください。または、おやすみモードを解除してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「おやすみモードを設定する」
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバー・ディスプレイ機能を契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 53 ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。(初期値のままで使用可能です。)
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【光・ISDN】にしてください。⇒ 214 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 (電話も使えない)	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続(並列接続)していませんか。	ブランチ接続(並列接続)をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイ機能が動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー・ディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない/着信音が鳴らない。	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 167 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒ 167 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフ【□□□□】になっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ 54 ページ「着信音量を設定する」
		親機の呼出ベル回数が1回に設定されていませんか。	親機の呼出ベル回数を 2 回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。
		親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。
		親機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、AC アダプターが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	通話状態がよくない ・声が途切れる ・通話が切れる ・雑音が入りやすい	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますのでIP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		1.9GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。
		声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、【親切受信】を【しない】に設定してください。 ⇒ 111 ページ「親切受信を設定する」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 110 ページ「電話に出てから受ける」
		ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	親機で、【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒ 52 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
		近くに電気製品や障害物はありませんか。	電気製品などから離してください。
			親機のアンテナを立てたり、向きを調節してみてください。
			親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話状態がよくない ・声が途切れる ・通話が切れる ・雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。	親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		親機を使っても同様に雑音が入りますか。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 214 ページ「回線状況に応じて設定する」
		子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 54 ページ「受話音量を設定する」
	相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。 また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。
		通話音質を変更していませんか。	【通話音質調整】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 214 ページ「回線状況に応じて設定する」
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 214 ページ「回線状況に応じて設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 54 ページ「受話音量を設定する」	
	子機の着信音が遅れて鳴る。	故障ではありません。（電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。）	そのままお使いください。
	充電器に置いても【充電中】と表示されない。	充電器の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		充電器に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を充電器に置いて約 2 分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、充電器にセットしてください。 • 表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 • 表示しない場合 充電器の電源プラグと充電器を確認してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	外線 や スピーカーホン を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機から離れすぎていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<電池残り少>充電して下さい」と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 167 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。
			通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	送受信操作を行う前に受話器を戻していませんか。	相手からかかってきた場合は、【ファクス送受信】、【受信（または送信）】の順に押してから、こちらからかけた場合は、【スタート】、【送信（または受信）】の順に押してから、受話器を戻してください。 ⇒ 110 ページ「電話に出てから受ける」 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「話をしてから送る」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 41 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		内線で本製品を接続していますか。	構内交換機（PBX）をご利用の場合は、本製品が自動応答しない場合があります。特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 214 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話やインターネット電話、IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 215 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 215 ページ「安心通信モードに設定する」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 115 ページ「ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する）」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 テストしたい原稿を下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス送信先：052-824-4773	
		現在の回線状態を診断し、診断結果レポートを印刷することができます。レポートに記載されている対処方法をお試しください。 ⇒ 216 ページ「現在の電話回線状態を確認する」	
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	みるだけ受信を【する（画面で確認）】にしていませんか。	カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】にしてください。 ⇒ 215 ページ「安心通信モードに設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	カラーファクス受信ができない。	残り少なくなっているインクがありませんか。	インクが残り少なくなるとカラーファクスの印刷ができません。カラーファクスを印刷するには、新しいインクカートリッジに交換する必要があります。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。(IP 網を使用している場合)	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話(NTT など)を選んでかけている場合は、番号のあとに 再ダイヤル/履歴 を押して、ポーズ(約 3 秒間の待ち時間)を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話(NTT など)を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。
		カラーファクスを原稿台ガラスから送信していませんか。	カラーファクスを複数枚送るときは、ADF(自動原稿送り装置)をお使いください。 ⇒ 103 ページ「ADF(自動原稿送り装置)からファクスを送る」
	送信後、相手から受信したファクスに黒い線が入っていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー(読み取り部)を清掃する」
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 107 ページ「設定を変えてファクスするには」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続(並列接続)された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続(並列接続)はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
		相手のファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。	まず、本製品の読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー(読み取り部)を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心(VoIP)】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 215 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	受信 / コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 165 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 115 ページ「ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する）」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	記録紙が白紙のまま出てくる。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	印刷品質チェックを行い、問題のあるプリントヘッドをクリーニングしてください。 ⇒ 180 ページ「印刷品質をチェックする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		原稿を裏返しにセットしていませんか。	原稿を正しくセットし、操作をやり直してください。 ⇒ 71 ページ「原稿のセット」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
	コピーに黒い線が入る。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出ベル回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出ベル回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出ベル回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 50 ページ「呼出ベル回数を設定する」 または、【ファクス送受信】を押して手動で受信してください。
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 115 ページ「ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」
	自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 159 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」）をお試しください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	画面に【原稿セット OK】と表示される位置まで原稿をしっかりと差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF カバーは確実に閉まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、本製品の動作が遅くなる。	大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	光沢紙がうまく送り込まれない。	光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ⑪
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 159 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	① 本製品とパソコンの接続方式（USB、有線 LAN、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド また、有線 LAN と無線 LAN を切り替える場合は、インストール作業を行う前に、本製品のネットワークメニューから【有線 / 無線切替え】で、新しい接続方式に設定を切り替えてください（【メニュー】→【全てのメニュー】→【ネットワーク】→【有線 / 無線切替え】→新たに変更したい接続方式、の順に選択）。
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 183 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか。無線LAN接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。 • Windows® の場合 ＜ Windows® 8 ＞ マウスをデスクトップ画面の右下端に移動させ、メニューバーが表示されたら、［設定］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］を順にクリックします。表示された本製品のプリンターアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］－［モデル名］で印刷ジョブを開き、［プリンター］－［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。 ＜ Windows® 7 ＞ ［スタート］－［デバイスとプリンター］を順にクリックします。表示された本製品のプリンターアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］－［モデル名］で印刷ジョブを開き、［プリンター］－［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。 ＜ Windows Vista® ＞ ［スタート］－［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。表示された本製品のプリンターアイコンを右クリックし、［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。 ＜ Windows® XP ＞ ［スタート］－［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。表示された本製品のプリンターアイコンを右クリックし、［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して［削除］をクリックしてください。 <OS X v10.7.x/10.8.x> ［システム環境設定］－［プリントとスキャン］－［プリントキューを開く…］の順に選択します。 <Mac OS X v10.6.8> ［システム環境設定］－［プリントとファクス］－［プリントキューを開く…］の順に選択します。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていますか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 <OS X v10.7.x/10.8.x> ［プリントとスキャン］を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。 <Mac OS X v10.6.8> ［プリントとファクス］を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。
		⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	• Windows® の場合 プリンターのアイコンを右クリックして画面を開き、［プリンター］－［一時停止］をクリックしてチェックを外します。 • Macintosh の場合 <OS X v10.7.x/10.8.x> プリントキューを開き、印刷データを選択して［プリンタを再開］をクリックしてください。 <OS Xv10.6.8> プリントキューを開き、印刷データを選択して［プリンタを再開］をクリックしてください。
		⑧ オフラインの状態になっていませんか。 （Windows® のみ）	プリンターのアイコンを右クリックして画面を開き、［プリンター］－［プリンターをオフラインで使用する］をクリックして、チェックを外します。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。 （Windows® のみ）	印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。プリンターのアイコンを右クリックして画面を開き、［プリンター］－［プロパティ］－［ポート］タブをクリックします。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows® のみ） ［スタート］－［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX*1］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❾
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ⓫
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❾
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 159 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 61 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 68 ページ「スライドトレイにセットする」
	文字や画像がゆがんでいる。	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 169 ページ「記録紙が詰まったときは」手順 ❾
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［画質強調］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で［カラー詳細設定］から［画質強調］のチェックを外す。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常よりも速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［基本設定］タブをクリックし、［ふちなし印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 ［ファイル］、［ページ設定］をクリックし、［用紙サイズ］のプルダウンメニューから「縁なし」の記載がないサイズを選ぶ。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。また、［画質強調］は、パソコンを使って画像を解析するため、この機能を使うときは、パソコンのディスプレイ（モニター）の［色］を 24 ビット以上にしてください。
		100 万画素以上の画像ではありませんか。	［画質強調］は画素数の少ない画像に対して有効です。100 万画素以上の画像は［画質強調］を設定しないでください。処理に数十分かかる場合があります。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていませんか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 11
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 160 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 158 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 159 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、［双方向印刷］に設定されています。［双方向印刷］では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。［双方向印刷］を解除して印刷をお試しください。ただし、［双方向印刷］を解除すると、印刷速度は落ちます。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で［拡張機能］、［その他特殊機能］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	白紙が印刷される。 印刷がかすれる。 印刷が薄い。 印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 61 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 62 ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロで印刷される。	カラーインクカートリッジが空になっているか、インクの残りが少なくなっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒ 179 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合は、インクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 163 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 181 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 61 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 62 ページ「専用紙・推奨紙」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	印刷の質が悪い。	室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 253 ページ「温度」
	写真用光沢紙で印刷したとき、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 70 ページ「記録紙の種類を設定する」
	インクが乾くのに時間がかかる。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 173 ページ「紙づまりが解消しないときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 159 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張機能」
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているか確認してください。 ⇒68ページ「スライドトレイにセットする」
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真や動画の画像の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
	よりきれいに印刷したい。	プリント画質の設定をしていますか。	お好みでプリント画質の調整をしてください。 ⇒ 146 ページ「設定を変えてプリントするには」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［ソースの選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバーを選択し、［OK］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。（黒い線が入る）	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 157 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インク交換 XX[*1]】と表示されていませんか。 [*1]XX は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。 ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
		メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 ・ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド「ネットワーク設定リストを印刷する」	
	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
その他	電源が入らない。	⏻ を押して電源をオンにしましたか。	⏻ を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 37 ページ「電源ボタンについて」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	親機： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面設定を変更する」
		子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「子機の画面のコントラストを変更する」
	スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる。	アンテナとスピーカーの位置が近くないですか。	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 156 ページ「本製品の外側を清掃する」
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ① ✕ を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	本製品の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。
お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【特別回線対応】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 回線種別を選ぶ

お使いの環境に合わせて、【一般／ PBX ／光・ISDN】から選びます。

4 を押して設定を終了する

お願い

■【PBX】に設定すると、【ナンバーディスプレイ】の設定が自動的に【なし】になります。【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にするときは、【特別回線対応】の設定を【一般】にしてください。

回線状況に応じて設定する

[通話音質調整]

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。

親機の場合

お買い上げ時は、【設定 1】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【その他】、【通話音質調整】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【子機通話調整】または【親機通話調整】を選ぶ

4 現在とは異なる設定値を選んで、通話中の声の響きを確認する

【子機通話調整】は、【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】→【設定 4】の順にお試しください。
【親機通話調整】は、【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】の順にお試しください。

【子機通話調整】を変更したときは、画面に【お待ちください】→【設定しました】と表示されます。

【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】→【設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

5 を押して設定を終了する

子機の場合

お買い上げ時は、【音質設定 1】に設定されています。

1 機能 確定 を押す

2 ✚で【通話音質】を選び、機能 確定 を押す

3 ✚で現在とは異なる設定値を選び、機能 確定 を押す

設定後、声の響きかたを確認してください。
【音質設定 1】、【音質設定 2】、【音質設定 3】、【音質設定 4】の順にお試しください。

> 【音質設定 1】→【音質設定 2】→【音質設定 3】→【音質設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

安心通信モードに設定する

[安心通信モード]

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。
お買い上げ時は【標準】に設定されているので、【安心（VoIP）】に設定してお試しください。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【安心（VoIP）】を押す

設定を戻すときは、【標準】を選びます。

お願い

■【安心（VoIP）】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクス機によっては、モノクロに変換して受信します。）カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、【標準】に設定してください。

4 を押して設定を終了する

> 【安心（VoIP）】に設定すると、ファクスの送信・受信にかかる時間が、より長くなります。
>
> 【安心（VoIP）】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【標準】に設定して使用します。
>
> IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
> ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
>
> ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
> - 通信回線の品質
> - 信号レベル
> - 通信相手機の影響
> - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

［ダイヤルトーン設定］

ファクス送信に失敗すると、送信レポートが出力されます。送信レポートで、送信結果を確認してください。話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。
お買い上げ時は【検知しない】に設定されています。

お願い

■【検知する】に設定している場合、使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】に設定してください。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **【検知する】を押す**

設定を戻すときは、【検知しない】を選びます。

4 **を押して設定を終了する**

現在の電話回線状態を確認する

［電話回線診断］

現在の回線状態を診断し、結果を印刷することができます。

1 **記録紙を記録紙トレイにセットする**

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 **【メニュー】を押す**

3 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【電話回線診断】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

画面に【電話回線の接続状況を診断し結果を印刷します　診断を開始しますか？はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】を押す**

回線診断が始まります。診断は、回線接続→停電時接続→ダイヤルトーン→回線種別の順に行われます。診断が終わると、電話回線診断レポートが印刷されます。

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

機能設定を元に戻す

［機能設定リセット］

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

お願い

- 録音した応答メッセージは消去されます。あらかじめ確認してください。
  ⇒ 127 ページ「応答メッセージを録音する」
- 通信待ちのファクスは消去されます。あらかじめ確認してください。
  ⇒ 118 ページ「送信待ちファクスを確認・中止する」
- 外線使用中または子機使用中は、機能設定リセットを使用できません。本製品を使用する操作が何も行われていないことを確認して初期化作業をしてください。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【機能設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

【機能設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

［ネットワーク設定リセット］

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

【ネットワーク設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

お願い

- RSS の設定時に、プロキシ設定をした場合、【ネットワーク設定リセット】を行うと、プロキシの情報も初期化されます。ネットワークの再設定の際は、RSS のためにプロキシ情報も再度設定してください。

RSS 設定を元に戻す

[RSS 設定リセット]

本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【RSS 設定リセット】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

【RSS 設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 **【はい】を押す**

【実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】を 2 秒以上押す**

RSS 設定が消去されます。

5 **を押して設定を終了する**

【メニュー】、【全てのメニュー】、【RSS】、【RSS 設定リセット】の順に押しても、RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する

[電話帳 & ファクスリセット]

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
  ⇒ 43 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」
- 電話帳の内容
  ⇒ 120 ページ「親機の電話帳に登録する」
- グループダイヤルの内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」
- 電話の発信履歴、着信履歴、再ダイヤル機能の内容
  ⇒ 82 ページ「いろいろな電話のかけかた」
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」
- ファクス転送の設定
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ファクスを転送する」
- 留守録転送の設定
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「留守録転送を設定する」
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）
- 録音した応答メッセージ
- 録音した通話

お願い

■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかを確認してください。
⇒ 112 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」
⇒ 116 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【電話帳 & ファクスリセット】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

【電話帳 & ファクス設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

電話帳・履歴・メモリー・録音データが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

［全設定リセット］

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お願い

■ 全設定リセットを実行すると、電話帳などの内容を元に戻すことはできません。あらかじめ、電話帳リストを印刷しておいてください。
⇒ 122 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【全設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

【全設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。
回線種別の自動設定が始まります。

子機の個人情報を消去する

子機の以下の内容を消去します。

- 電話帳の内容
  ⇒ 123 ページ「子機の電話帳に登録する」
- 発信履歴の内容
  ⇒ 82 ページ「最近かけた相手にかける（発信履歴）」
- 着信履歴の内容
  ⇒ 82 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」

子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。

子機の電話帳や履歴を削除しても、親機には反映されません。

1 機能 確定 ＊ 機能 確定 ＊ を続けて押す

【個人情報　消去？ ／ 1. スル　2. シナイ】と表示されます。

2 1 を押す

【全て消去？ ／ 1. スル　2. シナイ　番号を入力】と表示されます。

3 もう一度 1 を押す

個人情報が消去されます。

4 切 を押して設定を終了する

こんなときは

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属の CD-ROM から、サポートサイトなどの案内メニューを表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

> トップメニューの画面が表示されないときは、［コンピューター（マイ コンピュータ）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。
> Windows® 8 の場合は、タスクバーの［エクスプローラー］をクリックすると、［ライブラリ］が開きます。［コンピューター］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［サービスとサポート］をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。
- ブラザープリンタースペシャルサイト
  無料素材をダウンロードしたり、お楽しみコンテンツが見られる弊社のウェブサイトを表示します。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 ［サービスとサポート］をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- NewSoft CD Labeler
  NewSoft CD Labeler のインストーラーをダウンロードします。
- Brother Web Connect
  Web 接続の機能を使用するための仮登録 ID を取得します。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の [ソフトウェアダウンロード] から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

http://solutions.brother.co.jp/

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。

重 要

- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページにある、ファームウェア更新時の注意事項を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

お願い

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル上で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

本製品のファームウェアのバージョンを調べるには

本製品の現在のファームウェアのバージョンを調べることができます。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【製品情報】、【ファームウェアバージョン】、【Main バージョン】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

画面に、本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

3 **を押して確認を終了する**

子機を増設する / 登録抹消する

[子機増設モード]

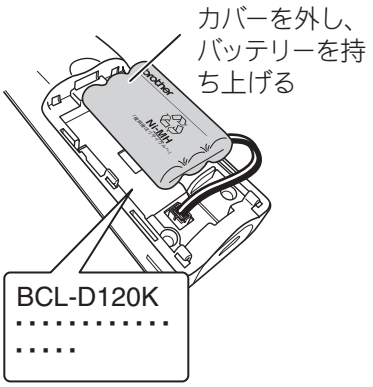
別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。子機は、3 台まで増設することができます。付属の子機とあわせ、本製品で使用できるのは最大 4 台です。
使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

増設 / 抹消の操作方法については、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

- 増設子機（BCL-D120K-BK（黒）、BCL-D120K-WH（白））は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイクレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 271 ページ「消耗品などのご注文について」

- BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機は増設することができません。子機の型番の調べ方は下図をご覧ください。

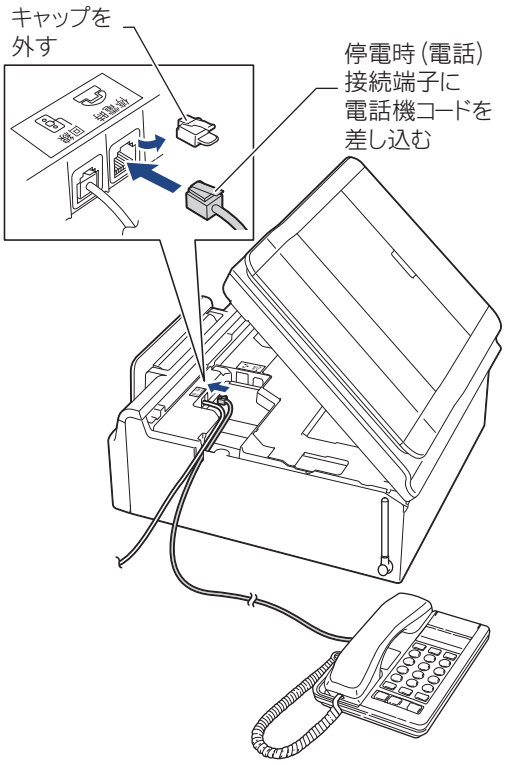
◀子機型番の調べ方▶



停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをお勧めします。停電用電話機を親機の停電時（電話）接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。
また、停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。ファクスの送受信もできません。本製品のメモリーに保存されている以下のデータは本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

- 各種登録、設定内容
- 電話帳（親機、子機）
- 発信 / 着信履歴（親機、子機）
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書、送信メモリー文書、録音されたメッセージ



お願い

■ 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。

- 本製品に接続している電話機は、停電中でも使用できる機器もあります。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

本製品のシリアルナンバーを確認する

［製品情報］

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【製品情報】、【シリアル No.】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 を押して確認を終了する

本製品の設定内容や機能を確認する

［レポート印刷］

1 記録紙をセットする

⇒ 64 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 122 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「着信履歴リストを印刷する」

5 【OK】を押す

選んだレポートが印刷されます。

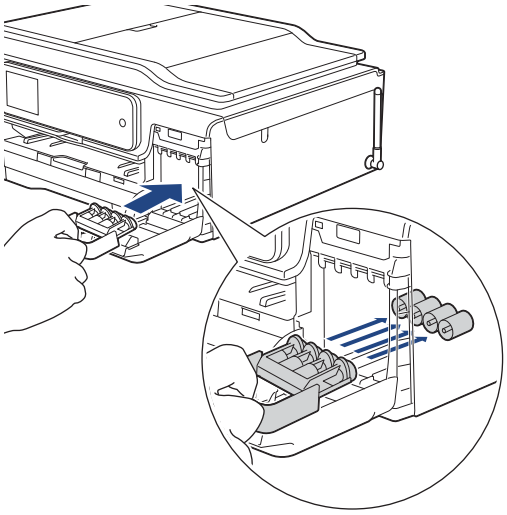
6 を押して操作を終了する

本製品を輸送するときは

引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

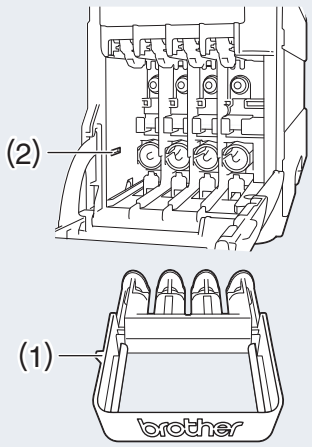
- 電話機コードや USB ケーブル、LAN ケーブルは本製品から取り外してください。

- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
  保護部材がない場合は、何も装着しない状態で輸送してください。



重 要

■ 保護部材の突起（1）が、カートリッジのセット部内壁の溝（2）の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 219 ページ「すべての設定を元に戻す」

Memo

第 9 章

付録

文字の入力方法 228
親機 228
入力画面例 228
ひらがな / カタカナキーの文字の割り当て 228
機能キーの使いかた 229
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 229
入力例 229
子機 230
文字の割り当て 230
文字の入れかた（機能キーの使いかた） 230
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 231
入力例 231

機能一覧 232
親機 232
メニューボタン 232
全てのメニューボタン 233
インクボタン 241
WiFi ボタン 241
ファクスボタン 242
コピーボタン 244
スキャンボタン 246
デジカメプリントボタン 248
クラウドボタン 250
レーベルプリントボタン 250
子機 251
電話帳ボタン 251
機能ボタン 251

仕様 253

使用環境 260

索引 261

リモコンアクセスカード 267

関連製品のご案内 269
innobella 269
消耗品 269
インクカートリッジ 269
専用紙・推奨紙 269
その他 269

文字の入力方法

発信元登録、電話帳の登録などでは、画面に表示されるキーボードや、操作パネル上のダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

親機

ひらがなおよびカタカナは、【あ】など代表するキーを繰り返し押して、そのキーに割り当てられた文字を順に表示させます。

入力画面例

● ひらがな / 漢字入力画面

● カタカナ入力画面

● アルファベット入力画面

● 数字入力画面

● 記号入力画面

ひらがな/カタカナキーの文字の割り当て

● ひらがな

キー	入力できる文字	キー	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

キー	入力できる文字	キー	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能キーの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のキーを使って行います。

キー	内容
⌫	文字を消去します。
◀	カーソルを左に戻します。
▶	カーソルを右に移動します。 同じキーで続けて入力する場合には、▶ を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
⇧aA	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あア A1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ *1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 *2	○	○	○	10

*1 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
▶ を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【゛゜】を 1 回押す	すず
【か】を 2 回押す	すずき
【変換】を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

子機

ダイヤルボタンを使って文字や数字を入力します。子機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

キー	ひらがな	カタカナ	英・数字
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｱｲｳｴｵ ｱｲｳｴｵ ｱｲｳｴｵ	1 1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ ｶｷｸｹｺ	a b c A B C 2 abcABC2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ ｻｼｽｾｿ	d e f D E F 3 defDEF3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	g h i G H I 4 ghiGHI4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ ﾅﾆﾇﾈﾉ	j k l J K L 5 jklJKL5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ ﾊﾋﾌﾍﾎ	m n o M N O 6 mnoMNO6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ ﾏﾐﾑﾒﾓ	p q r s P Q R S 7 pqrsPQRS7
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ｬｭｮ ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	t u v T U V 8 tuvTUV8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ ﾗﾘﾙﾚﾛ	w x y z W X Y Z 9 wxyzWXYZ9
0 わ	わをん―	ワヲン― ﾜﾗﾝｰ	0 0
＊ 記号1 トーン	゛ ゜	゛ ゜ ゛゜ - ( ) / &	― （ ） ／ & - ( ) / &
# 記号2	（空白） ！ ？ @ # ＊ ＋ $ % ., ' " ： ； ＿ ＝ ＜ ＞ ［ ］ ＾ ｀ ｡	（空白） ！ ？ @ # ＊ ＋ $ % ., ' " ： ； ＿ ＝ ＜ ＞ ［ ］ ＾ ｀ ｡ (空白) !?@#＊+$ %.,"':;_=<>[]^ ｀｡	（空白） ！ ？ @ # ＊ ＋ $ % ., ' " ： ； ＿ ＝ ＜ ＞ ［ ］ ＾ ｀ ｡ (空白) !?@#＊+$ %.,"':;_=<>[]^｀｡

文字の入れかた（機能キーの使いかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
入力文字の種類を切り替える	発信履歴/P 文字 を押す
文字・記号を入れる	0 わ ～ 9 ら WXYZ、＊ 記号1 トーン、# 記号2 を押す
電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる	発信履歴/P 文字 を押す
未確定のひらがなを漢字に変換する	変換 ▲ を押す
文字を削除する	◀ を押して削除したい文字までカーソルを移動し、音質 クリア を押す
文字を変更する	◀ を押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す
文字確定後にカーソルを戻して文字間に1つスペースを入れる	# 記号2 を 1 回押す
文字確定後、次の文字の前にスペースを入れる	▶ を押す （1 スペース入力の場合のみ # 記号2 1 回押しも有効）
記号を入力する	入力したい記号キー（＊ 記号1 トーン または # 記号2）を押して記号を選ぶ
同じキーで続けて文字を入力する	▶ を押して、カーソルを 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能 確定 を押す

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目		ひらがな	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	×	○[*1]	20 文字
	名前	○	○	○	10 文字
	読み仮名	×	○	○	16 文字

[*1] 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、＊、#、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは 発信履歴/P 文字 で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「鈴木　マーク」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
発信履歴/P 文字 を押して、ひらがな入力モードにする	
3 を 3 回押す	す
＋ を 1 回押す	す＿
3 を 3 回押す	すす
＊ を 1 回押す	すず
2 を 2 回押す	すずき
希望の漢字が表示されるまで、変換 ＋ を繰り返し押す （上を押すと前の候補に戻り、下を押すと次の変換候補に進む）	鈴木 スズキ 鱸 すずき
機能 確定 を押す	鈴木＿
＋ を 1 回押す （または # を1回押す）	鈴木　＿
発信履歴/P 文字 を押して、カタカナ入力モードにする	鈴木　＿
7 を 1 回押す	鈴木　マ
0 を 4 回押す	鈴木　マニ
2 を 3 回押す	鈴木　マーク
機能 確定 を押す （内容が確定され、読み仮名の編集画面が表示される）	ｽｽﾞｷﾏｰｸ＿

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

親機

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	⇒ 180 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒ 179 ページ
	インク残量	インク残量を表示します。	－	⇒ 165 ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルの設定を行います。	－	⇒ネットワーク編
	接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	－	－
	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－	⇒かんたん設置ガイド
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－	
	WPS（PIN コード）	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－	⇒ネットワーク編
	無線状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－	
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	－	
留守録再生		録音された音声メッセージを確認することができます。	－	⇒ 130 ページ
みるだけ受信		ファクスの受信方法を表示します。押すとみるだけ受信にする / しないを設定できます。	する (画面で確認) ／ **しない(受信したら印刷)**	⇒ 112 ページ
おやすみモード		おやすみモードを設定/解除します。	－	⇒応用編
全てのメニュー		本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	－	⇒ 233 ページ

全てのメニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	⇒180ページ
		ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒179ページ
		インク残量	インク残量を表示します。	ー	⇒165ページ
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	⇒ 70 ページ
	記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判	⇒ 70 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	⇒ 53 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
		受話音量	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小／**中**／大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	⇒応用編
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／ 10 秒／ 20 秒／ **30 秒**	
	キーボード設定（英字入力）		キーボードの設定を行います。	QWERTY 入力／かなめくり入力	⇒応用編
	おやすみタイマー設定	おやすみタイマー	設定した時刻に留守モードに切り替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定をします。	オン / **オフ**	⇒応用編
		開始時刻	おやすみタイマーの開始時刻を設定します。	ーー：ーー　（初期設定は 22：00）	
		終了時刻	おやすみタイマーの終了時刻を設定します。	ーー：ーー　（初期設定は 7：00）	
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ **5 分**／ 10 分／ 30 分／ 60 分	⇒ 57 ページ

● お気に入り設定

設定項目	機能説明			参照
お気に入り設定	お気に入り登録名を変えたり、登録を取り消したりできます。	（お気に入りの選択）	お気に入り名の編集	⇒ 58 ページ
			消去	

● ファクス / 電話

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
ファクス / 電話	呼出ベル回数		【在宅モード（消灯）】【留守モード（点灯）】ごとに、着信してから本製品が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード（消灯）	0～15／無制限（初期設定は **7**）	⇒ 50 ページ
				留守モード（点灯）	0 ～ 7 ／トールセーバー（初期設定は **5**）	
	受信設定	ファクス無鳴動受信	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	する／**しない**		⇒ 49 ページ
		再呼出ベル設定	在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。	再呼出ベル設定	**オン（電話呼び出し）**／オフ（ファクス専用）	⇒ 51 ページ
				再呼出方法	**相手にベル**／相手にメッセージ	
				再呼出時間	20 秒／**30 秒**／40 秒／ 70 秒	
		みるだけ受信	みるだけ受信するかどうかを設定します。	する（画面で確認）／**しない（受信したら印刷）**		⇒115ページ
		親切受信	自動受信する前に電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	**する**／しない		⇒111ページ
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	**する**／しない		⇒応用編
		メモリ受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／ファクス転送／メモリ保持のみ／ PC ファクス受信		⇒116ページ ⇒応用編
	電話回線診断		現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。	－		⇒216ページ
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン＋イメージ／オフ／**オフ＋イメージ**		⇒応用編
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	通信管理レポート	レポート出力しない／**50件ごと**／6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと	⇒応用編
				印刷時刻指定（初期設定は **00：00**）		
				曜日指定	**月曜日ごと**／火曜日ごと／水曜日ごと／木曜日ごと／金曜日ごと／土曜日ごと／日曜日ごと	
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	－		⇒116ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－－－＊		⇒応用編
	通信待ち一覧		タイマー送信などの設定を確認したり解除したりできます。	－		⇒118ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス / 電話	メロディ設定	着信音	着信音を選びます。	**ベル 1** ～ 4 ／メロディ 1 ～ 30	⇒ 55 ページ
		保留メロディ	保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30（**花のワルツ**）	
	留守番電話設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ、在宅応答メッセージの録音 / 再生 / 消去をします。	留守応答1／留守応答2／在宅応答	⇒127ページ
		録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	0 秒（応答メッセージのみ）／ 30 秒／ **60 秒**／ 120 秒／ 180 秒	⇒127ページ
		留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる / 聞こえないの設定をします。	**する**／しない	⇒128ページ
		留守録転送	【留守モード（点灯）】のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する／**しない** ※【する】を選択した場合は、転送先を設定します。	⇒応用編
	ナンバーディスプレイ		ナンバー・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。	**あり**／なし	⇒ 52 ページ
	着信鳴り分け		電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	着信先：ファクス専用／電話鳴り分け／迷惑番号指定	⇒ 96 ページ
	着信拒否	迷惑番号指定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	着信先：ファクス専用／電話鳴り分け／迷惑番号指定	⇒ 97 ページ
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する／**しない**	⇒ 97 ページ
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します	する／**しない**	⇒ 97 ページ
		表示圏外拒否	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**	⇒ 97 ページ
		着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる / 聞こえないを設定します。	する／**しない**	⇒ 98 ページ
	キャッチディスプレイ		キャッチホン・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。	あり／**なし**	⇒ 52 ページ
	子機増設モード		増設子機（別売り）の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	増設／登録子機を消去	⇒223ページ

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の設定については、別冊の「かんたん設置ガイド」および付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　ネットワーク編」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバー	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		有線 LAN 状態		有線 LAN の接続状態を表示します。	アクティブ 100B-FD ／アクティブ 100B-HD ／アクティブ10B-FD／アクティブ10B-HD／未接続／有線LANオフ
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	ー
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバー	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		接続アシスタント		付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	ー
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	ー
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	ー
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	ー
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	ー
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	ー
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	(32 文字まで表示)
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	アドホック／インフラストラクチャ
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	ー

機能	設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定）
ネットワーク	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続		ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		PIN コード接続		WPS（PIN 方式）で簡単に Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		手動接続		手動で Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		グループ オーナー		本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／**オフ**
		デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	ー
			SSID	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。(自分のSSID)／(接続相手のSSID) ／未接続	ー
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	ー
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	ー
			電波状態	電波状態を表示します。	ー
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct™ 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／**オフ**
	NFC			NFC 機能の有効／無効を切り替えます。	**オン**／オフ
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／**オフ**
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	ー
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	**8080**
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	ー
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	ー
	有線 / 無線切替え			有線LAN／無線LANを切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	ー

● RSS

<table>
<tr><th>機能</th><th>設定項目</th><th colspan="3">機能説明</th><th>設定内容（太字：初期設定値）</th><th>参照</th></tr>
<tr><td rowspan="8">RSS</td><td>RSS</td><td colspan="3">RSS を本製品の待ち受け画面に表示させる／表示させないの設定をします。</td><td>オン／オフ</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="3">登録サイト</td><td colspan="5">登録されている RSS サイトを一覧表示します。</td><td rowspan="3">⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メニュー</td><td>URL 登録 / 変更</td><td colspan="2">URL を新たに登録、または登録されている RSS サイトの URL を変更します。</td></tr>
<tr><td>URL 消去</td><td colspan="2">登録されている RSS サイトを消去します。</td></tr>
<tr><td>スクロール速度</td><td colspan="3">待ち受け画面上の RSS 表示が流れる速さを設定します。</td><td>速い／標準／遅い</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td>更新間隔</td><td colspan="3">RSS の情報取得間隔を設定します。</td><td>2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間、手動更新</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td>閲覧 PC 設定</td><td colspan="3">コンテンツの概要画面から、パソコンでウェブサイトの表示をするときに、閲覧 PC 設定画面を表示させる／表示させないの設定をします。</td><td>（PC リスト表示）／閲覧 PC を選択しない</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td>RSS ステータス</td><td colspan="3">RSS の取得状態を確認できます。</td><td>－</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td>RSS 設定リセット</td><td colspan="3">本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>⇒218 ページ</td></tr>
</table>

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒応用編
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 122 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒応用編
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 224 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容を印刷します。	⇒ 224 ページ
	無線LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 224 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒応用編

● 製品情報

機能	設定項目		機能説明	参照
製品情報	シリアル No.		本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 224 ページ
	ファームウェアバージョン	Main バージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します	⇒ 222 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照
初期設定	時計セット	日付	日付を設定します。	（2014.01.01）	⇒ 42 ページ
		時刻	時刻時刻を設定します。	（00:00）	
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス	⇒ 43 ページ
				名前	
	回線種別設定		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS／**自動設定**	⇒ 41 ページ
	ファクス自動再ダイヤル		ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	**オン**／オフ	⇒応用編
	ダイヤルトーン設定		ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／**検知しない**	⇒216ページ
	特別回線対応		特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ PBX ／光・ISDN	⇒214ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照
初期設定	安心通信モード		安心通信モードに設定します。	**標準**／安心（VoIP）	⇒215ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	⇒217ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	⇒217ページ
		RSS 設定リセット	本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	⇒218ページ
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	ー	⇒218ページ
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	⇒219ページ
	その他	通話音質調整	親機や子機での通話中やファクス通信時の回線状況に応じて調整します。	子機通話調整（**設定 1**／設定 2／設定 3／設定 4）／親機通話調整（**設定 1**／設定 2／設定 3）	⇒214ページ
		デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	ー
	表示言語設定		画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English.	**日本語**／英語	⇒応用編
	ディスクプリント位置調整		印刷された画像がディスクからはみ出す場合に、印刷位置を調整します。	ー	⇒パソコン活用編

● サービス（エラーが発生したときにのみ表示されます）

機能	設定項目		機能説明	参照
サービス	データ転送	ファクス転送	ファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスデータを別のファクス機に転送することができます。	⇒190ページ
		レポート転送	ファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクス機で印刷することができます。	⇒190ページ

インクボタン

待ち受け画面の を押した場合や、 【メニュー】、【インク】を順にを押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／ 印刷位置チェックシート	⇒ 180 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒ 179 ページ
インク残量	インク残量を確認します。		⇒ 165 ページ

WiFi ボタン

待ち受け画面の WiFi を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

設定項目	機能説明
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。
PC を使って設定する	パソコンを使って Wi-Fi 設定を行います。
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。
WPS（PIN コード）	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。

ファクスボタン

待ち受け画面の ファクス を押して表示される画面で、ファクスの送受信、閲覧および関連する各種の設定ができます。

設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信 *1	録音		通話中の会話を録音するときに押します。			⇒ 102 ページ
	キャッチ		キャッチホンで電話を受けるときに押します。			⇒ 102 ページ
	電話帳		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	(検索)		⇒ 106 ページ
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去 / 子機に転送	⇒ 120 ページ
				ファクス送信		⇒ 106 ページ
				電話をかける		
	履歴		発信/着信履歴を表示します。※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)	ファクス送信		⇒応用編
				電話をかける		
				設定	電話帳に登録／消去	
	設定変更	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真		⇒ 109 ページ
		原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く		⇒ 109 ページ
		同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加	番号追加	⇒応用編
					電話帳から選択	
					検索して選択	
		みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**		⇒応用編
		カラー設定	相手にモノクロ / カラーのどちらで送るかを設定します。	**モノクロ**／カラー		⇒ 109 ページ
		タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	タイマー送信	する／**しない**	⇒応用編
				指定時刻	ー (現在時刻を表示)	
		とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準／機密／**しない**		⇒応用編

設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信 *1	設定変更	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／**しない**		⇒応用編
		海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		履歴	発信/着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)	ファクス送信		–
				電話をかける		
				設定	電話帳に登録／消去	
		電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	(検索)		⇒ 106 ページ
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去 / 子機に転送	⇒ 120 ページ
				ファクス送信		⇒ 106 ページ
				電話をかける		
		設定を保持する	変更した設定を保持できます。			⇒ 108 ページ
		設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒ 108 ページ
	お気に入り登録		ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 送信先・ファクス画質・原稿濃度・同報送信・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信・海外送信モード			⇒58ページ
受信ファクス *1			受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。	印刷／消去	全て印刷（新着ファクス）／全て印刷（既読ファクス）／全て消去（新着ファクス）／全て消去（既読ファクス）	⇒ 112 ページ
電話帳 *1			電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	(検索)		⇒ 106 ページ
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去 / 子機に転送	⇒ 120 ページ
				ファクス送信		⇒ 106 ページ
				電話をかける		
履歴 *1			発信/着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)	ファクス送信		⇒応用編
				電話をかける		
				設定	電話帳に登録／消去	

*1 みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、ファクス のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

コピーボタン

待ち受け画面の 、【設定変更】を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
設定変更	コピー画質 *1	印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質		⇒136ページ
	記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム		⇒136ページ
	記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／2L 判／ L 判		⇒136ページ
	拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%**	－	⇒136ページ
			拡大	240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4 113% L判 ⇒ ハガキ	
			縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
			用紙に合わせる	－	
			カスタム (25-400%)	－	
	コピー濃度	濃度を調整します。	－ 2 ／－ 1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2		⇒137ページ
	スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー**／ソートコピー		⇒応用編
	レイアウト コピー	複数枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1in1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター (2x1) ／ポスター (2x2) ／ポスター (3x3)		⇒応用編
	両面コピー	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	**オフ**／ 印刷の向き：縦　長辺とじ / 印刷の向き：横　長辺とじ / 印刷の向き：縦　短辺とじ / 印刷の向き：横　短辺とじ		⇒応用編
			あんしん設定	**オフ** / あんしん 1 印刷速度が遅くなる / あんしん 2 印刷が遅く濃度が薄くなる	

設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
設定変更	便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	ー		ー
		インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	ー		⇒応用編
		裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	ー		⇒応用編
		ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	ー		⇒応用編
		透かしコピー	コピー画像に 5 種類のテキストの中から 1 つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL ／重要／ **COPY** ／社外秘／至急	⇒応用編
				位置	A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面	
				サイズ	小／**中**／大	
				回転	-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ 45° ／ 90°	
				透過度	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	
				色	**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄	
		地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱／**中**／強		⇒応用編
	設定を保持する		以下のコピー機能を好みの設定で初期値として登録することができます。 コピー画質・拡大 / 縮小・コピー濃度・レイアウトコピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・地色除去コピー	ー		⇒137ページ
	設定をリセットする		設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー		⇒137ページ
	お気に入り登録 *2		以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙タイプ・記録紙サイズ・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウトコピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー	ー		⇒137ページ

*1 【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。

*2 お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

スキャンボタン

待ち受け画面の を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選んだあとに、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	ー	⇒ 151 ページ
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
Web サービス [*1]	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	⇒パソコン活用編
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

[*1] Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定内容を変更および確認することができます。

設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	スキャンの種類				
				OCR	ファイル	イメージ	メディア	E メール添付
設定変更	本体から設定する [*1]	スキャンの設定を本体から変更できます。	**オフ（パソコンから設定）**／オン	○	○	○		○
	カラー設定 [*2]	カラーを設定します。	カラー／**モノクロ**	○				
			カラー／モノクロ		○	○	○	○
	解像度 [*2]	解像度を設定します。	100 dpi ／ **200 dpi** ／ 300 dpi ／ 600 dpi	○	○	○		○
			100 dpi ／ **200 dpi** ／ 300 dpi ／ 600 dpi ／自動				○	
	ファイル形式 [*2*3]	ファイル形式を設定します。	**Text** ／ HTML ／ RTF	○				
			PDF ／ JPEG ／ TIFF		○	○	○	○
	スキャンサイズ [*2]	スキャンする原稿のサイズを設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判／名刺（90x60mm）	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード	ADF（自動原稿送り装置）にセットした原稿サイズでスキャンします。	オン／**オフ**				○	
	ファイル名	ファイル名を設定します。					○	
	おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。	オン／**オフ**				○	
	地色除去 [*2]	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。	**オフ**／弱／中／強		○	○	○	○
	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・おまかせ一括スキャン・地色除去					○	
	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○	
お気に入り登録 [*1]		PC 名をお気に入りに登録できます。[*2]		○	○	○		○
		以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・ファイル名・おまかせ一括スキャン・地色除去					○	

[*1] 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト ControlCenter がインストールされていない場合は表示されません。

[*2] OCR、ファイル、イメージ、E メール添付では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

[*3] OCR は、【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。（⇒ 151 ページ）

デジカメプリントボタン

待ち受け画面の を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、次ページをご覧ください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="3">設定内容（太字：初期設定値）</th><th>参照</th></tr>
<tr><td rowspan="2">インデックス</td><td rowspan="2">インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。</td><td colspan="3">インデックスシート</td><td rowspan="2">⇒応用編</td></tr>
<tr><td colspan="3">番号指定プリント</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かんたん印刷</td><td rowspan="2">メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。</td><td colspan="3">（サムネイル）</td><td rowspan="2">⇒144ページ</td></tr>
<tr><td>全選択</td><td colspan="2">100枚目までの写真のプリント枚数をすべて 1 枚に設定します。
設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">こだわり印刷</td><td rowspan="2">メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。
補正とトリミングの設定は同時に行うこともできます。</td><td rowspan="2">（サムネイル）</td><td>お好み色補正</td><td>自動色補正
肌色あかるさ補正 *1
色あざやか補正 *1
赤目補正
夜景補正 *1
逆光補正 *1
ホワイトボード補正
モノクロ
セピア
自動色補正＆赤目補正</td><td rowspan="2">⇒応用編</td></tr>
<tr><td>トリミング</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>証明写真プリント</td><td>メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を証明写真用のサイズで複数並べてプリントします。</td><td>（サムネイル）</td><td>写真サイズ</td><td>30x24mm ／
40x30mm ／
45x35mm ／ 50x50mm</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スライドショー</td><td rowspan="2">メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を、画面上で一定間隔で送り、順番に見ることができます。
【開始】を押すとスライド表示を開始します。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライド表示中にプリントすることもできます。</td><td colspan="2">切り替え時間</td><td>**3 秒**／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分</td><td rowspan="2">⇒応用編</td></tr>
<tr><td colspan="3">開始</td></tr>
</table>

*1 画像を補正した結果を基点に± 1 色調の変更ができます。

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷		証明写真プリント	スライド表示中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング		
印刷設定	プリント画質[*1*2]	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**		○	○	○	○	○	○
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	○						
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／**その他光沢**		○	○	○	○	○	○
	記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／2L 判／ハガキ／A4		○	○	○	○	○	○
	プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm／9x13cm／10x15cm／13x18cm／15x20cm／**用紙全体に印刷**		○	○	○	○		○
	自動色補正[*1]	自動で色や明るさを補正します。	する／**しない**			○				○
	画像補正	自動で色補正や赤目補正を行います。	**しない**／自動色補正／赤目補正／自動色補正 & 赤目補正						○	
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	－2／－1／**0**／＋1／＋2		○	○		○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	－2／－1／**0**／＋1／＋2		○	○		○		○
	画質強調	画像の色調や輪郭を補正します。【する】を選ぶと、次の 3 項目が設定できます。	する／**しない**		○	○		○		○
	ホワイトバランス	画像の白色部分の色合いを調整します。	－2／－1／**0**／＋1／＋2		○	○		○		○
	シャープネス	画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			○	○		○		○
	カラー調整	画像のカラー全体の濃度を調整します。			○	○		○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○		○
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○		○
	日付印刷[*1]	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**		○	○	○	○		○
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	－		○	○	○	○		○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－		○	○	○	○		○

[*1] DPOF 印刷の場合は表示されません。

[*2] 【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

クラウドボタン

待ち受け画面の を押すことで、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。
詳しくはクラウド接続ガイドをご覧ください。（クラウド接続ガイドはサポートサイトからダウンロードできます。）

レーベルプリントボタン

待ち受け画面の を押して表示される画面で、記録ディスクのレーベル面にコピー、印刷を行うことができます。

設定項目	機能説明	参照
レーベルからコピー	ディスクレーベルを原稿にして記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
写真からコピー	写真を原稿にして記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
メディアのデータから印刷	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを選んで、記録ディスクに印刷します。	⇒パソコン活用編

子機

電話帳ボタン

を押して表示される画面で、電話帳の登録 / 変更が行えます。

設定項目		機能説明	設定内容	参照ページ
電話帳登録		子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	123 ページ
(登録済みであれば登録名を表示)	変更	電話帳に登録した内容を変更･削除します。	―	123 ページ
	消去			
	転送	電話帳に登録されている相手先を親機に転送します。		⇒応用編

機能ボタン

待ち受け状態で 機能 確定 を押して表示される画面で、録音されたメッセージを聞いたり、各機能を設定できます。

設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
再生／消去			メモリーに保存されているメッセージを再生または消去します。		80 ページ 130 ページ
	留守／会話		留守録メッセージまたは通話中に録音した会話のどちらかを選択します。		
		1 件ずつ	操作する対象 1 件を選択します。	再生／消去	
		全件	全件を対象にします。		
留守番設定		応答切替	留守モード中に流れる応答メッセージを切り替えます。	**固定メッセージ**／留守応答 1 ／留守応答 2	―
		留守応答 1	新たな応答メッセージを2種類登録（再生、消去）することができます。	録音／再生／消去	―
		留守応答 2			
		在宅応答	留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流れる応答メッセージを登録できます。		
		録音時間	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。	応答のみ／30 秒／**60 秒**／120 秒／180 秒	―
		留守録転送	留守モード中に音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する／**しない**	―
		留守録モニター *1	留守録中の相手の声を、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。	**する**／しない	―
鳴動音設定		1. 着信音	着信音を選択します。	**ベル**／アヴェ・マリア／大キナ古時計／ガボット／きらきら星／四季より－春／花のワルツ	56 ページ
		2. 着信鳴分け	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		96 ページ
		3. ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。	**ON** ／ OFF	54 ページ

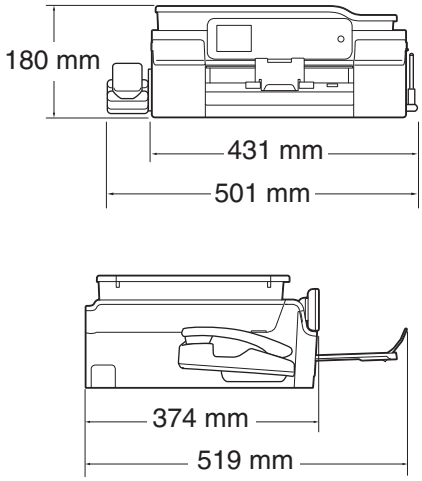
設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照 ページ
通話音質	音質設定 1 ／ 音質設定 2 ／ 音質設定 3 ／ 音質設定 4	通話中の音質を回線状況に応じて調整します。	ー	215 ページ
発信履歴	直近 10 件の発信履歴を表示します。			ー
（履歴一覧画面表示後 機能確定 押下）	1 件消去	発信履歴から 1 件削除します。		ー
	全件消去	発信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	発信履歴から電話帳に登録します。		⇒応用編
着信履歴 *2	直近 30 件の着信履歴を表示します。			ー
（履歴一覧画面表示後 機能確定 押下）	1 件消去	着信履歴から 1 件削除します。		ー
	全件消去	着信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	着信履歴から電話帳に登録します。		⇒応用編
画面コントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 ～ 7 段階（**4**）	⇒応用編
時計設定		現在の日付と時刻を登録します。	ー	43 ページ
子機増設		増設子機の ID 登録を行います。子機増設を親機から行うことを示すメッセージが表示されたら、2 分以内に親機で操作を開始してください。		ー
回線種別		電話の回線種別が設定できます。（通常は複合機本体から設定してください。）	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS	ー

*1 留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。（子機 1 台付きモデルの MFC-J980DN では、別売りの子機を増設してご利用の場合です。）

*2 ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。（本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示されます。）

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式
メモリー容量	128MB
LCD（液晶ディスプレー）	2.7型 TFTカラー LCD（6.8cm/67.5mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 *1	コピー時：　約21W*2 稼動準備時：　約8W*3 スリープモード時：　約2.4W*3 電源OFF時：　約0.2W*3*4
外形寸法	
製品重量 ※インクカートリッジを含む	9.4kg
稼働音	動作時：　50dB（A）（最大）*5
温度	動作保証温度：　10～35℃ 最高印刷品質保証温度：　20～33℃
湿度 ※結露なきこと	動作保証湿度：　20～80％ 最高印刷品質保証湿度：　20～80％
ADF（自動原稿送り装置）積載枚数	最大20枚（用紙坪量：80g/m^2、A4）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：148mm～215.9mm 長さ：148mm～355.6mm

*1 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

*2 ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

*3 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

*4 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。

*5 お使いの機能により数値は変わります。

印刷用紙

給紙	**記録紙トレイ** ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1]、OHPフィルム[*1] [*2] ■記録紙サイズ[*3]： A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、2L判、はがき、往復はがき、Com-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒61ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：100 枚（80 g/m^2 普通紙）
	スライドトレイ ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1] ■記録紙サイズ[*3]： L判、はがき、ポストカード 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒61ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：20枚（0.25mm以下）
排紙	最大50枚（80g/m^2 普通紙）

[*1] 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

[*2] OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

[*3] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 61 ページ「使用できる記録紙」

ファクス

型式	ITU-T Group3
通信速度	最大14,400bps（自動フォールバック機能付き）
最大有効読取幅	原稿台ガラス使用時：204mm （A4原稿読み取り時） ADF（自動原稿送り装置）使用時：208mm （A4原稿読み取り時）
最大有効記録幅	204mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（一色につき8ビット/ 256階調）
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85本/mm • ファイン/ 写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm •「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	250件（200件（電話帳）/ 50件（ダイヤルボタン））
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 *1	最大320枚
メモリー代行受信 *1	最大320枚

*1 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー / モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	204mm （A4原稿読み取り時）
連続複写枚数	スタック/ソート　最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最高1200dpi×2400dpi
自動両面コピー	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、B5（JIS）、A5

デジカメプリント

互換性のあるメディア [*1]		• メモリースティック デュオ™ （16MB－128MB） • メモリースティック PROデュオ™ （256MB－32GB） • メモリースティック マイクロ™ （M2™）（256MB－32GB） （アダプターが必要です。） • マルチメディアカード （32MB－2GB） • マルチメディアカード plus （128MB－4GB） • マルチメディアカード mobile （64MB－1GB） （アダプターが必要です。） • SDメモリーカード （16MB－2GB） • miniSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • microSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • SDHCメモリーカード（4GB－32GB） • miniSDHCカード（4GB －32GB） （アダプターが必要です。） • microSDHCカード（4GB－32GB） （アダプターが必要です。） • SDXCメモリーカード（48GB－128GB） • USBフラッシュメモリー [*2]
解像度		最高1200dpi×6000dpi
拡張ファイル	メディア ファイル フォーマット	DPOF形式（ver.1.0、ver.1.1） EXIF形式/DCF形式（ver. 2.1まで）
	対応画 ファイル フォーマット	写真プリント：JPEG[*3]、AVI [*4]、MOV[*4] メディア保存：JPEG、PDF（カラー） TIFF、PDF（モノクロ）
ふちなし印刷用紙		A4、はがき、L 判、2L判[*5]

[*1] メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

[*2] USB2.0 規格
16MB ～ 64GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

[*3] プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

[*4] モーション JPEG のみです。

[*5] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 61 ページ「使用できる記録紙」

スキャナー

カラー / モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8） （Mac OS X v10.6.8、10.7.x、10.8.x）
WIA 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista®/Windows® 7/Windows®8）
ICA 対応	あり（Mac OS X v10.6.8、10.7.x、10.8.x）
カラー階調	入力：30ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：10ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi （補間）[*2] 最大1200×2400dpi （原稿台ガラス） 最大1200×600dpi （ADF（自動原稿送り装置））
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：最大213.9mm 長さ：最大295mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：最大213.9mm 長さ：最大353.6mm

[*1] Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

[*2] WIA ドライバー（Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
最大印刷幅 [*1]	204mm ［210mm（ふちなし印刷）[*2]］
ふちなし印刷用紙 [*3]	A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、L判、2L判、はがき
自動両面印刷	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、A5、B5（JIS）、はがき

[*1] A4 用紙を印刷した場合。

[*2] ふちなし印刷を設定した場合。

[*3] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 61 ページ「使用できる記録紙」

インターフェイス

USB[*1][*2]	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
LAN[*3]	カテゴリー 5以上の非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ通信、アドホック通信） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct™接続）
NFC	あり

[*1] 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

[*2] サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

[*3] ネットワークの仕様について詳しくは、「ネットワーク（LAN）」（⇒ 258 ページ）をご覧ください。または「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

ネットワーク（LAN）

ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能（Windows® のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティー BRAdmin Light[*1] も使用できます。

[*1] 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティーの最新バージョンをダウンロードして使用してください。（Windows® のみ）

無線セキュリティー	SSID（最大32桁まで）、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）
無線セットアップサポートユーティリティー	AOSS™　対応
	WPS　対応

コードレス子機

使用周波数	1895.616MHz～1902.528MHz
変調方式	時間割多元接続方式
使用可能距離	見通し距離約100m
充電完了時間	約12時間
使用可能時間 （充電完了後）*1	待機状態：約200時間 連続通話：約8時間
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80％
電源	DC3.6V（子機用バッテリー BCL-BT30使用）
外形寸法	44（横幅）×29（奥行き）×163（高さ）mm
製品重量	約150g（子機用バッテリー含む）

*1 子機をお使いの環境によって短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80％
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約1.4W（充電中） 約0.5W（待機中）
外形寸法	75（横幅）×75（奥行き）×32（高さ）mm
製品重量	約125g

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th colspan="3">インターフェイス</th><th rowspan="2">プロセッサー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th></tr>
<tr><th>USB *2</th><th>10/100Base-TX（イーサネット）</th><th>無線 LAN IEEE802.11b/g/n</th><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア（ドライバーを含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="5">Windows®</td><td>Windows® XP Home *1
Windows® XP Professional *1</td><td colspan="3" rowspan="3">プリント
PC-FAX *3
スキャン
リムーバブルディスク（USB 接続時）*4
ネットワークメディアアクセス（LAN 接続時）*4</td><td rowspan="4">32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサー</td><td>150MB</td><td>1GB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® *1</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.3GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 *1
Windows® 8 *1</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003
Windows Server® 2003 R2
Windows Server® 2008</td><td rowspan="2">なし</td><td colspan="2" rowspan="2">プリント</td><td rowspan="2">50MB</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2
Windows Server® 2012</td><td>64 ビット (x64) のプロセッサー</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td>Mac OS X v10.6.8
OS X v10.7.x
OS X v10.8.x</td><td colspan="3">プリント
PC-FAX 送信 *3
スキャン
リムーバブルディスク（USB 接続時）*4
ネットワークメディアアクセス（LAN 接続時）*4</td><td>Intel® プロセッサー</td><td>80MB</td><td>550MB</td></tr>
</table>

*1 WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

*2 サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

*4 リムーバブルディスクとネットワークメディアアクセスは、メモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

2 ページ印刷がうまくできない 209
2 枚に分かれて印刷される（ファクス受信）..... 202

A

ADF（自動原稿送り装置）..... 30
ADF（自動原稿送り装置）からファクス 103
ADF（自動原稿送り装置）でスキャン時に黒い線 ... 210
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする 72
ADF（自動原稿送り装置）の原稿詰まり 175
ADF（自動原稿送り装置）のトラブル 202
Adobe® Illustrator® で印刷できない 210, 211
ADSL のトラブル 195

B

Brother Utilities 4
BRUSB への書き込みエラー 210

C

CD/DVD/BD のセット方法 74
CD/DVD/BD レーベル印刷 20
ControlCenter 22, 27
CPU 260

D

DPOF 145

E

E メール添付 246

I

innobella 269
ISDN 99
ISDN のトラブル 194

L

LAN ケーブル差し込み口 31
L 判 61

M

Macintosh 260
Macintosh 使用時のトラブル 211
microSD カード 141
miniSD カード 141

N

NFC（近距離無線通信）..... 24

O

OCR 246
OHP フィルム 61
OS 260

P

PBX 121
PBX 経由でファクス受信できない 198
PC-FAX 25
PictBridge ケーブル差し込み口 31
PictBridge のトラブル 209
Presto! PageManager のお問い合わせ ..... 裏表紙

R

RSS 27
RSS 設定を元に戻す 218

S

SD メモリーカード 141

T

TWAIN エラー 210

U

USBxxx への書き込みエラー 210
USB ケーブル差し込み口 31
USB フラッシュメモリー 141
USB フラッシュメモリー差し込み口 141
USB フラッシュメモリーのセット / 取り出し ... 141, 142

W

WiFi ボタンの機能 241
Windows® 260
Windows® 使用時のトラブル 210

あ

相手に声が聞こえにくい / 聞こえない 193
相手に声が聞こえにくい / 聞こえない（子機）..... 197

明るさ（デジカメプリント）.....146
明るすぎる（印刷）.....207
アナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない（ISDN）.....194
アフターサービスのご案内 ..... 裏表紙
安心通信モード 215

い

一括スキャン 153
イノベラ 269
インクカートリッジのご注文 271
インクカートリッジの廃棄 164
インクカートリッジを交換 163
インクが乾くのに時間がかかる 209
インクがにじむ（印刷）.....207
インクカバー（インク挿入口）.....30
インク残量チェック 165
インクジェット紙 61
インクボタンの機能 241
印刷位置チェック 181
印刷が明るすぎる / 暗すぎる 207
印刷が汚い 179, 208
印刷が極端に遅い 206
印刷が斜めになる 205
印刷できない 203
印刷できない（Adobe® Illustrator®）.....210, 211
印刷できない（Macintosh）.....211
印刷テスト 180
印刷に規則的な横縞が出る 206
印刷の端や中央がかすむ 208
印刷の汚れ、しみ 207
印刷範囲 63
印刷品質チェック 180
印刷面の白い筋 208
インデックスカード 61

う

薄い（コピー / 印刷） 179

え

液晶ディスプレイ（子機）.....40
エラーメッセージ 183
エラーメッセージ（子機）.....191

お

応答しない 193
お気に入り登録 58
お気に入りの呼び出しかた 60
お客様相談窓口 ..... 裏表紙
お手入れ 156
音が割れる（スピーカー）.....212
おまかせ一括スキャン 153
オンフック 33
音量 53
音量ボタン（子機）.....39, 54

か

カードスロット 141
外出先から操作できない 198
回線種別の設定 41
外線ボタン（子機）.....39
会話録音 80
会話録音データを再生 / 消去する 80
拡大 / 縮小コピー 136
各部の名称とはたらき 30
画質が悪い 157
画質強調 147
画質強調が働かない（デジカメプリント）.....206
画像が明るすぎる / 暗すぎる（印刷）.....207
画像トリミング 147
画像の周りに余白ができる（スキャン）.....210
画像の乱れ（ファクス通信）.....200
紙が詰まったときは（記録紙）.....169
紙が詰まったときは（原稿）.....175
紙づまり解除カバー 30
画面 33
画面の文字が読みにくい 212
カラーコピー 135
カラー調整 147
カラーファクスがモノクロ印刷される 208
カラーファクス受信ができない 199
かんたん印刷 144
関連製品のご案内 269

き

機能一覧 232
機能 / 確定ボタン（子機）.....39
機能設定リセット 217
キャッチ / 着信履歴ボタン（子機）.....39
キャッチホンサービス 91
キャッチホンでファクスを受ける 91
キャッチホンのトラブル 194, 200
キャッチホン・ディスプレイサービス 99
給紙トレイマーカー 31, 63
給紙ローラーの清掃 158
強制リセット 213
切ボタン（子機）.....39
記録紙 61
記録紙サイズの設定（全般）.....70
記録紙サイズ（コピー）.....136
記録紙サイズ（デジカメプリント）.....146
記録紙ストッパー 31
記録紙タイプの設定（全般）.....70
記録紙タイプ（コピー）.....136
記録紙タイプ（デジカメプリント）.....146
記録紙トレイ 31
記録紙トレイにセット 64
記録紙のセット 64
記録紙のトラブル
　記録紙うら面の汚れ 180
　記録紙が重なって送られる 203
　記録紙が重なって送り込まれる 205
　記録紙がしわになる（印刷後）.....207
　記録紙がそろわない 212
　記録紙下端の汚れ 212

記録紙が出てこない（コピー / ファクス受信）...201
記録紙が白紙で排出される（ファクス受信）...201
記録ディスク 74

く

クラウドボタンの機能 250
暗すぎる（印刷）....207
クリア / 音質ボタン（子機）....39
クリーニング（プリンター内部）....158
クリーニング（プリントヘッド）....179
黒い線が出る 157
黒い線（ADF 使用でスキャン）....210
黒い線（コピー、ファクス）....200, 201

け

警告音が鳴る（子機）....198
原稿 71
原稿ガイド 31
原稿が送り込まれない（ADF 使用）....202
原稿が斜めになる（ADF 使用）....203
原稿台カバー 31
原稿台ガラス 31
原稿台ガラスに原稿をセットする 72
原稿詰まり（ADF（自動原稿送り装置））....175
原稿のセット 71
原稿の読み取り範囲 71

こ

公衆電話拒否 97
光沢紙 61
光沢紙が送り込まれない 203, 206
光沢はがき 138
構内交換機（PBX）経由でファクス受信できない ...198
声が大きく聞こえて話しにくい（ISDN）....194
声が途切れる 193
声が途切れる（子機）....196
コールセンター ....裏表紙
子機が温かい 197
子機に何も表示されない 197
子機の清掃 161
子機の増設 223
子機のトラブル 196
子機のバッテリー交換 167
子機を置いたまま通話する 83
故障 192
個人情報の消去（子機）....220
こだわり印刷 248
コピー 135
画質 136
トラブル 198
濃度 137
汚れ 201
コピーに関するご注意 134
コピーボタンの機能 244
コントラスト（デジカメプリント）....147

さ

最近かかってきた相手に電話する 82
最近かけた相手に電話する 82
再ダイヤル / 履歴ボタン 33
再ダイヤルボタン（子機）....38
再ダイヤル（電話）....82
在宅モード 45
再呼出（ベル / メッセージ / 時間）の設定 51
雑音が入る（子機）....196

し

自動印刷する 115
自動受信 110
自動送信 103, 104, 105
自動的に本製品が動き出す（操作なしで）....212
自分の声が響く 193
自分の声が響く（子機）....197
シャープネス 147
写真や動画の画像の一部がプリントされない 209
写真をプリントする（PictBridge）....150
写真をプリントする（デジカメプリント）....144
写真を見る 144
充電器の清掃 161
「充電中」と表示されない（子機）....197
充電できない（子機）....197
充電ランプ（子機）....39
受信したファクスの汚れ 201
受信できない（構内交換機（PBX）接続）....198
受信モードの設定 45
手動受信 110
受話音質（子機）....83
受話音量 53
受話音量が小さい 193
受話音量の調節ができない 192
受話音量（子機）....54
受話器を置いたまま電話をかける 82
受話器（親機）を使用しないときは 166
受話口（子機）....38
仕様 253
使用環境 260
消去（子機の個人情報）....220
消去（電話帳・履歴・メモリー・録音データ）....218
消去（ファクスをメモリーから）....117
使用済み電池の届出 168
初期状態に戻す 217
シリアルナンバーの確認 224
白い筋（印刷面）....208
しわ（印刷後）....207
親切受信 111

す

推奨紙 62
スキャナー（読み取り部）の清掃 157
スキャン 21
スキャン画質 151
スキャンしたデータをパソコンに保存する 21
スキャンしたデータをメディアに保存する 151

スキャンのトラブル 210
スキャンボタンの機能 246
筋（印刷面）..... 208
スピーカー音量 53
スピーカー音量が小さい 192
スピーカー音量（子機）..... 54
スピーカーホンボタン（子機）..... 39
スピーカーホン通話ができない（子機）..... 193
スピーカー（子機）..... 32
すべての設定を元に戻す 219
スライドトレイ 31, 68
スライドトレイにセット 68
スリープモード 57

せ

清掃 156
製品情報 224
接続エラー 210
設定内容リスト 224
設定を保持（コピー）..... 137
設定を保持（デジカメプリント）..... 147
設定を保持（ファクス）..... 108
セットできる記録紙 61
全設定リセット 219
専用紙 62

そ

操作パネル 30, 33
操作パネル（子機）..... 38
送受信できない 198
送信したファクスに印刷される自分の名前と
番号を登録する 43
送信できない（IP 網使用）..... 200
送信できない（電話帳）..... 200
送信の中止 103, 104
送信待ちファクス 118
送話口（子機）..... 39

た

ダイヤルイン 194
ダイヤル回線 41
ダイヤルできない 192
ダイヤルトーン設定 216
ダイヤルボタン 33
ダイヤルボタン（子機）..... 39
ダイレクトクラブ 271
他機器の呼出ベルが鳴る（ISDN）..... 195
タッチパネル操作 36

ち

縮んでいる（ファクス受信）..... 200
着信音 55
着信音が遅れて鳴る（子機）..... 197
着信音が小さい / 鳴らない 192
着信音が鳴らない（ISDN）..... 194
着信音が鳴らない（子機）..... 196
着信音量 53
着信音量（子機）..... 54
着信音を鳴らさず受信 46, 48
着信音（子機）..... 56
着信拒否モニター 98
着信鳴り分け設定 96
着信履歴 94
中央がかすむ（印刷）..... 208
注文 271

つ

通信エラーが増えた（ADSL）..... 195
通信エラーの解消（安心通信モード）..... 215
通話音質調整 214
通話が切れる 193
通話が切れる（子機）..... 196
通話の再生 80
通話の消去 80
通話の録音 80
「ツー」音が聞こえない 193
つながらない（ISDN）..... 195

て

定期メンテナンス 179
ディスクに印刷する 20
ディスクのセット 74
停電 223
停電時（電話）接続端子 31, 223
テキストデータ変換 246
デジカメからプリントできない（PictBridge）..... 209
デジカメプリント 144
デジカメプリントボタンの機能 248
デュアルアクセス 105
電源オン / オフ 37
電源が入らない 211
電源が入らない（子機）..... 197
電源ボタン 37
電話回線診断 216
電話がかけられない 41, 192
電話がかけられない（子機）..... 196
電話帳 102, 120
　消去 218
　消去（子機）..... 220
　登録 120
　登録（子機）..... 123
　リスト 122
電話帳 & ファクスリセット 218
電話帳からダイヤルできない 192
電話帳から電話をかける 79
電話帳からファクス送信できない 200
電話帳転送 122
電話帳ボタン（子機）..... 39
電話帳ボタン（子機）の機能 251
電話帳を使って送信 106
電話帳（子機）..... 123
電話取り次ぎ 84
電話に応答しない 193

電話のトラブル 192
電話番号が表示されない
（ナンバー・ディスプレイ） 194
電話をかける / 受ける 78
電話・ファクスの受けかた 45

と

動画の画像をプリントする 144
動画の画像を見る 144
トールセーバー 50
特別回線対応 214
時計セット 42
トリプル通話 88
トレイカバー 31

な

内緒話モード 83
内線通話 87
内線番号 84
内線 / 保留ボタン（子機） 39
斜めに印刷される 205
斜めに原稿が送られる 203
ナンバー・ディスプレイ機能の設定 52
ナンバー・ディスプレイサービス 93
ナンバー・ディスプレイのトラブル 194, 195

に

にじみ（印刷） 207
入力方法 228
入力方法（子機） 230

ね

ネーム・ディスプレイサービス 93
ネットワーク設定リスト 224
ネットワーク設定リセット 217
ネットワークリモート接続の失敗 211

は

廃棄（インクカートリッジ） 164
排紙ローラーの清掃 159
はがき 61, 68
はがきに印刷する 18
白紙が出る（ファクス受信） 201
端がかすむ（印刷） 208
パソコンから印刷する 16
パソコンから設定を変更する 27
パソコンからファクスを送信する 25
パソコンでファクスを受信する 26
発信元登録 43
発信履歴ボタン（子機） 38
バッテリーカバー（子機） 32
バッテリー交換（子機） 167
バッテリー残量（子機） 40

ひ

ひかり電話のトラブル 195, 199
ビジー状態 210
非通知着信拒否 97
非通知の相手からの着信ができない 195
日付印刷 147
日付と時刻の設定 42
日付と時刻の設定 （子機） 43
「ピッピッピッ」と鳴る（子機） 198
表示圏外拒否 97

ふ

ファームウェアバージョンの確認 222
ファクス
　印刷する 112, 116
　画質 107
　原稿濃度 107
　自動送信 103, 104, 105
　受信 110
　受信のトラブル 199, 201
　消去 114, 117
　設定変更 107
　送受信できない 198
　送信できない（IP 網使用） 200
　送信できない（電話帳） 200
　送信の中止 118
　送信（電話帳） 106
　通信できない（ISDN） 195
　トラブル 198
　メモリーで受信する 116
ファクス受信ランプ（子機） 39
ファクスボタンの機能 242
ファクス無鳴動受信 49
封筒 61
フォルダー保存 246
複数枚送信ができない 200
ふちなし印刷 147
普通紙 61
プッシュ回線 41
プッシュホンサービスを利用する 83
プリント画質 146
プリントのトラブル 203
プリントヘッド 179

へ

ヘッドクリーニング 179
ベル（オン / オフ設定）（再呼出時に相手に流す） 51
ベル（呼び出し回数） 50
ベル（再呼出時間） 51
便利なコピー設定 137

ほ

ポーズボタン（子機） 38
ポストカード 61
ボタン確認音量 53
ボタン確認音（子機） 54
保留音 55

保留ボタン（子機）.....39
ホワイトバランス 147
本製品が表示されない（Macintosh）.....211
「本製品接続エラー」.....210
「本製品はビジー状態です」.....210
本体カバー 31

ま

マイク（子機）.....39
待ち受け画面 34
マルチメディアカード 141

み

みるだけ受信 112, 115

む

無線 LAN レポート 224

め

迷惑電話拒否 90
迷惑電話として番号を登録する 97
迷惑番号指定 97
メッセージが途中で切れている / 録音できない ...198
メッセージの再生 / 停止 / 消去 130
メディア保存 151, 246
メニューボタンの機能 233
メモリー 260
メモリーカードのセット / 取り出し 141
メモリーカードのトラブル 210
メモリー受信 116
メモリー受信したファクスを印刷する 116
メモリー代行受信 115
メモリーを消去する 218
メロディが止まらない 194
メンテナンス 156

も

文字切替ボタン（子機）.....38
文字の入力方法 228
文字の入力方法（子機）.....230
文字化け、文字欠け、水平方向の線 207
文字や画像のゆがみ 206
元に戻す（RSS 設定）.....218
元に戻す（機能設定）.....217
元に戻す（すべての設定）.....219
元に戻す（ネットワーク設定）.....217

ゆ

ゆがみ（文字や画像）.....206
輸送（本製品）.....225

よ

用紙に合わせるが使えない 203
横縞が出る 206
汚れ（印刷）.....207
汚れ（記録紙の下端）.....203, 207
汚れ（コピー、受信したファクス）.....201
汚れ（本製品）.....156
呼出ベル回数 50
読み取り範囲 71

り

リサイクル（電池）.....168
リセット（本製品の強制リセット）.....213
リダイヤルボタン（子機）.....38
リムーバブルディスクとして利用する 27
リモコンアクセスカード 267
リリースボタン 31
履歴 102
履歴を消去する 218

る

留守応答メッセージ 129
留守番機能 126
留守番機能のセット 129
留守番電話応答メッセージ 127
留守モード 45, 129
留守 / 録音ボタン（子機）.....39
留守録メッセージの再生 / 消去 130
留守録メッセージの再生 / 消去（子機）.....131
留守録モニター 128

れ

レーベルプリント 20
レポート印刷 224

ろ

録音データを消去する 218
録音できない 198
録音途中で切れている 198
録音（会話録音）.....80

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：ファクス転送の設定も解除されます。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：ファクス転送の設定も解除されます。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：ファクス転送の設定も解除されます。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。純正品は、弊社公式直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」でもご購入になれます。詳しくは、⇒ 271 ページをご覧ください。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC111BK
イエロー（黄）	LC111Y
シアン（青）	LC111C
マゼンタ（赤）	LC111M
4 個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC111-4PK
黒 2 個パック［ブラック（黒）2 個］	LC111BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

Memo

消耗品などのご注文について

純正消耗品は家電量販店でお買い求めになれます。また、弊社の直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」では、インターネットやお電話によるご注文を承っております。

● インターネットによるご注文

ブラザーダイレクトクラブ　検 索 http://direct.brother.co.jp	公式直販サイト ダイレクトクラブ スマートフォン・携帯電話からは、上記の二次元コードを読み取ってアクセスしてください。

● お電話によるご注文

フリーダイヤル：0120-118-825

（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収･リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q＆A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検索

http://solutions.brother.co.jp/

故障・トラブルかんたん診断

サポートサイト内にある24時間対応の故障・トラブル診断オンラインサービスです。ステップに従って、当てはまる項目を選んでいくと解決策が見つかります。万一故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。

ブラザーサポートナビ24

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ブラザーマイポータル

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

050-3786-7713　ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～金　9：00 ～ 19：00 / 土　10：00 ～ 17：00　日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

- **製品ご購入後 1 年間無償保証いたします。**
  ※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。
- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
  ※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。
- **5日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、5日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。
※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

brother

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1

LER551047 ①
JPN
Printed in China
Version A